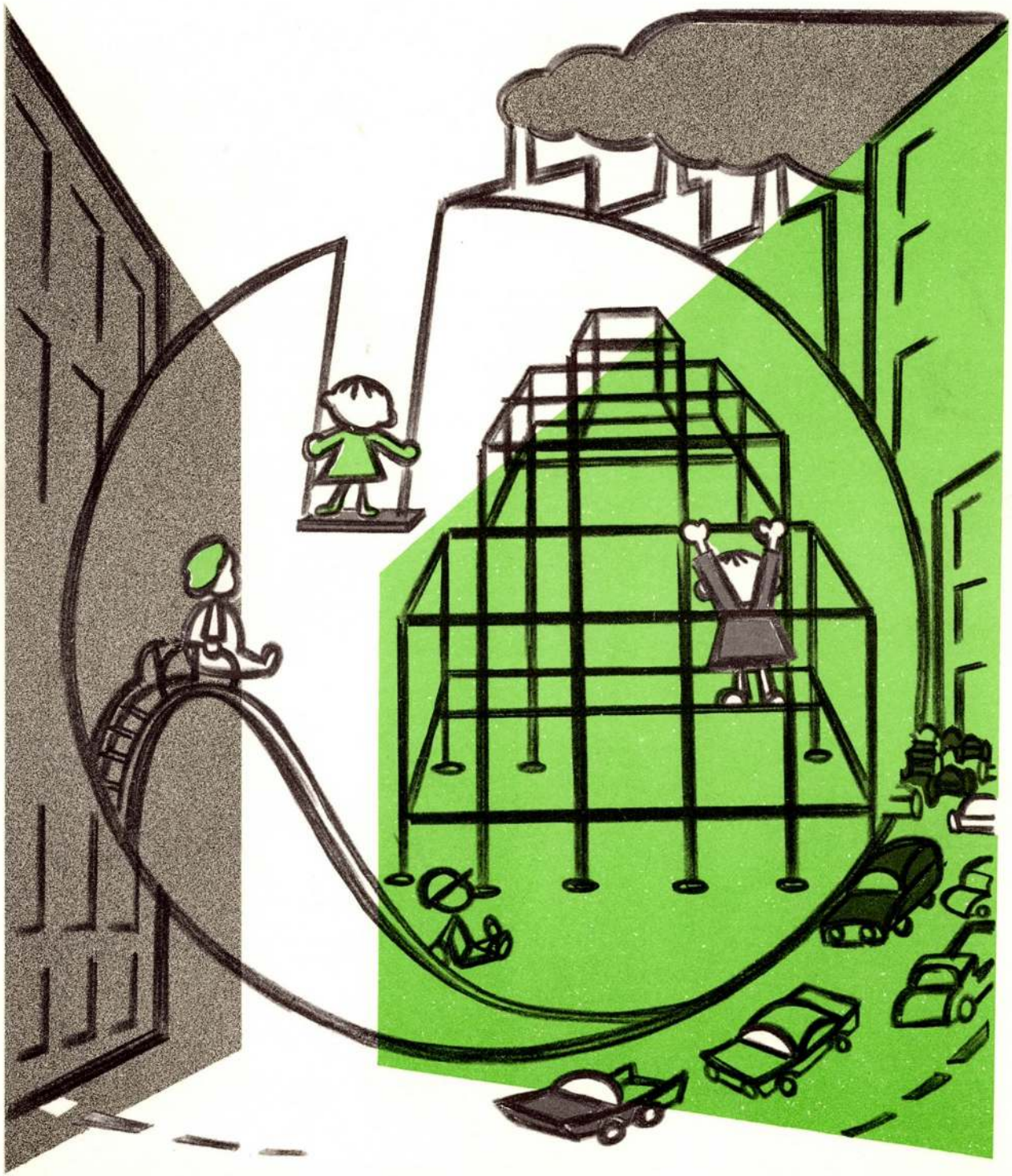
昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和42年4月20日印刷　昭和42年4月25日発行　第48輯第4号（毎月1回25日発行）

建築と社会 '67 4

社会と建築



日本建築協会

ARCHITECTURE AND SOCIETY



高分子化学が生んだ完全防水材
（E・P・Tゴムシート）

三ツ星ベルト ネオ・ルーフィング EB

■“万能合成ゴム”といわれるE・P・T（エチレン・プロピレン・ター ポリマー）ゴムの開発によってつくられたネオ・ルーフィング—EBは、防水の問題をいっきに解決しました

■工法は簡単に、性能は一段と向上しました。
いままでのブチルゴム系、ネオプレン系のものにくらべて耐候性、耐摩耗性、耐破断強度は特にすぐれています。

■建築物の屋根防水、地下防水、地下鉄防水、橋梁防水、など用途の広い完全防水材として好評をいただいています。

三ツ星ベルト
ネオ・ルーフィング工業会

札幌	(株)浜建	TEL (0122)26—5676代
東京	日本綜合防水(株)	TEL (03) 292—2661代
東京	高山工業(株)	TEL (03)251—0161~3 1301~2
東京	(株)三柏商会	TEL (03) 251—7517・8867
東京	(有)金岡興業	TEL (03) 363—4341
静岡	(株)三井工業所	TEL (0542)85—9151
富士	(株)三井工業所富士営業所	TEL (0545)61—1688
名古屋	中央建材工業(株)	TEL (052)251—3541
金沢	北川瀝青工業(株)	TEL (0762)41—1131代
福井	北川瀝青工業(株)福井営業所	TEL (0776)23—1134・8847
富山	北川瀝青工業(株)富山営業所	TEL (0764)21—2218・41—0391
新潟	北川瀝青工業(株)新潟営業所	TEL (0252)45—0981
大阪	(株)久保商店	TEL (06) 364—0206代
大阪	(株)木下謹三商店	TEL (06) 443—0115代
大阪	日本綜合防水(株)大阪営業所	TEL (06) 329—1023代
大阪	高山工業(株)大阪営業所	TEL (06) 364—9015
大阪	ネオ・ルーフィング防水(株)	TEL (06) 341—7608
神戸	石井建材有限会社	TEL (078) 51—5353代
広島	青盛建材(株)	TEL (0822)21—2281~6
岡山	青盛建材(株)岡山営業所	TEL (0862)23—8285~7
福岡	青盛建材(株)福岡営業所	TEL (092) 28—5566~8
福岡	(株)工材社	TEL (093) 38—1468代
松山	(株)山本商会	TEL (0899) 3—621

三ツ星ベルト株式会社

本社　神戸市長田区浜添通4　TEL (078) 67—5071　大代表
支店　東京・神戸・名古屋・福岡・札幌・大阪・金沢

NCS-PCパイル

Pretensioned Spun Concrete Pile

わが国における
最初のPCパイル



日本コンクリート工業株式会社

大阪営業所／大阪市阿部野区天王寺町南２－23 ＴＥＬ（718）代表1881
本　社／東京（573）大代表0361　　営業所／名古屋（581）代表9706



東京神田・小学館ビル

ブラインドを内蔵した　住友の回転式アルミ二重窓

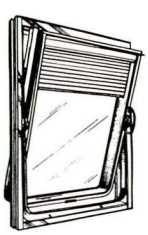
エルミン窓

ビルが変れば窓も変ります

ビルが高層化・マンモス化するにつれて、その窓も変ります。大きなビルの窓には、気密性・遮蔽性・清掃の安易さ・熱損失の多少・採光性能など、あらゆる面から検討され、すぐれたものが要求されます。さらにビルの顔ともいえる窓には、ビルの外装を生かす美しさも忘れることはできません。スイスで生まれたエルミン窓が各方面で話題になり、注目を集めているのも、こういうビルのマンモス化時代に窓の性能が再検討された結果にほかなりません。

◆エルミン窓は ブラインド内蔵・回転式アルミ二重窓です

二重構造と内蔵ブラインド、すぐれた断熱構造及び高い気密性が、抜群の遮蔽性を発揮します。騒音・外気は室内にオフリミット。冷暖房効果もたかめます。外光調整も思いのままです。またエルミン窓は横軸180度回転式ですから、ロックをはずし障子部分を回転させることにより、高層窓の外面も手がるに清掃できます。ブラインドにも埃りがつきません。このように数々の特色を持つエルミン窓は、ホテル病院・学校・寒冷地の住宅など各方面で、時代の要求にこたえた新しい窓としてご好評いただいております。



標準換気位置（約15度回転）

◆エルミン窓には8つの特徴があります

①二重ガラスにより熱損失が少い
②遮音性能がすぐれています
③アルミ形材に挿入された断熱材により熱伝導が少ない
④水密・気密が完全です
⑤ガラスにも枠にも結露を生じません
⑥ブラインドが内蔵されているので冷房負荷をへらします
⑦横軸180度回転し内部から外部ガラスの清掃が可能です
⑧大窓にも適します
エルミン窓は住友軽金属のすぐれたアルミ形材を使用しています

製造・販売・施工

日本エルミンサッシ株式会社

本　社　東京都中央区日本橋江戸橋3−7(第2三木ビル)　電(272)1841代表
営業所　大阪市西区京町堀1−125(東洋ビル)　電(441)1979直通

住友軽金属工業株式会社

日本建築協会会告

創立50周年記念事業

◀ 日本建築協会昭和42年度役員選任

昭和42年３月22日開催の定時評議員会において副会長１名，理事15名，常務理事１名の改選を行ない，次のとおりそれぞれ選任されましたので，ここに会告申し上げます。

	新任（○印重任）	留任
会長		東畑謙三君（東畑事務所）
副会長	銭高輝之君（銭高組）	塚本猛次君（日建設計） 鷲尾健三君（大阪大学）
理事（技術）	長沢徹夫君（竹中工務店） 中原茂君（安宅エンヂニヤ） 橋本忠保君（住宅公団） 堀内三郎君（京都大学） ○政岡基次君（政岡土地）	岡橋作太郎君（日建設計） 佐野正一君（安井事務所） 西村栄一君（大阪市） 長谷川哲之助君（近畿地建） 後藤典夫君（大阪府）
〃（総合）	○大林芳郎君（大林組） ○白井周二君（清水建設） 竹中錬一君（竹中工務店） ○藤木正一君（藤木工務店）	浅沼猪之吉君（浅沼組） 鴻池藤一君（鴻池組） 松村雄吉君（松村組）
〃（電気）	○佐藤太君（近畿電気）	梶本秀尾君（八千代電設） 菅谷三郎君（大阪電気暖房）
〃（管工）	尾亀清四郎君（三晃商会） 南長吉君（斎久工業）	伴一郎君（西原衛生）
〃（建材）	○横田喜一郎君（工英社）	田中政二君（大島応用） 安田誠一君（安田レール）
〃（京都支部）	芳山保蔵君	
〃（兵庫支部）	中川文雄君（置塩事務所）	
常務理事	○福中定三郎君（協会事務局長）	
監事	五十嵐芳雄君（大林組）	海上静一君（海上事務所）

なお，評議員の互選によって正副議長が次のとおり選任されました。

評議員会　議長　神谷新一君（竹中工務店）

同　副議長　森川喜代之助君（森川建築事務所）

◀ 創立50周年記念・懇親ソフトボール大会

日時　５月11日（木）集合・午後10時→解散・午後６時30分

集合所　大阪中央公会堂裏・京阪観光バス

会場　関西電力総合運動場

参加資格　日本建築協会41・42年度役員・委員

チーム構成　○官公庁・公団・公社チーム（カンコーズ）
○建築事務所・会社営繕チーム（ハンサムズ）
○建設チーム（ビルダーズ）
○学校・設備・建材チーム（スナオーズ）　（　）内はチームの愛称

試合方法　勝抜試合，３試合で優勝チームを決定いたします。試合は規定時間90分で終了し勝敗を決定いたします。

賞　優勝チーム賞，ファインプレイ賞，ホームラン賞，敢闘賞，珍プレイ賞。参加者全員に参加賞をお渡しします。

懇親会　試合終了後，スポーツハウスで賞品授与と懇親会を催します。

◀ モントリオール万国博視察団役員（50音順・略敬称）

４月５日於大阪科学技術センター８階小ホールの結団式で次の通り役員が決定いたしました。

視察団は，５月24日羽田空港より出発します。帰国は６月４日です。団員は104名

団長　高橋慶夫（大阪建築事務所社長）
顧問　西山卯三（京都大学教授）
団長代理　吉田安三郎（鹿島建設・常務取締役）
副団長　岩崎甚太郎（日本建築協会・参与）
　島田啓太郎（清水建設大阪支店・参与）
　中原茂（安宅エンヂニヤリング・取締役）
事務局長　谷口尚武（大林組・常務取締役）
局員　三輪泰司（地域計画建築研究所）
〃　吉野正治（鹿児島大学助教授）
〃　好川博（日建設計工務）
〃　大田進一（大林組）

班長　今西茂雄（今西建築デザインルーム）
　鈴木洋也（東畑建築事務所）
　祖川鶴市（リンレイ）
　戸田尚作（今西組）
　内藤一真（竹内建築事務所）
　西岡武治（西岡建築事務所）
　能勢次郎（能勢建築事務所）
　武曽一郎（清水建設大阪支店）
　三木敏男（奥村組）
　山本純孝（安井建築設計事務所）

□お知らせ□記念事業特別見学の内，阪神の新建築見学会の企画は都合で取止めました。

◀ 本会物故会員のお知らせお願い

創立50周年記念行事の一つとして来る５月13日，中之島の中央公会堂において物故会員の慰霊祭を行ないます。物故会員については本会に通知もれの方も多数あり，またご遺族の住所変更などのため連絡できない方々もございますので，会員で物故された方をご存知の方は，至急下記についてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

１．物故会員氏名，および死亡年月日

１．ご遺族の住所氏名

◀ 創立50周年記念事業資金受領報告・その3（4月7日迄分）

50周年記念事業資金を下記のとおり受領いたしました。厚くお礼申し上げます。

記

日建設計工務株式会社殿	100,000円
株式会社東畑建築事務所殿	30,000円
株式会社安井建築設計事務所殿	30,000円
株式会社塩路建築事務所殿	10,000円
吉田建築事務所殿	5,000円
沢田建築事務所殿	1,000円
株式会社富松建築設計事務所殿	1,000円
有限会社三谷建築設計事務所殿	500円
株式会社ミラノ工務店殿	20,000円
野村建設工業株式会社殿	10,000円
株式会社北山組殿	3,000円
株式会社辰村組殿	3,000円
安宅エンヂニヤリング株式会社殿	2,500円
株式会社笹川組殿	1,000円
株式会社中井総組殿	1,000円
日成建設株式会社殿	1,000円
株式会社木村工務所殿	500円
清水建設株式会社広島支店殿	500円
西日本建設業保証株式会社殿	100,000円
株式会社研文社殿	30,000円
日本建築協会東海支部殿	20,000円
小俣シャッター工業株式会社殿	10,000円
株式会社神治屋殿	10,000円
株式会社大仏殿	10,000円
株式会社満点製作所殿	5,000円
株式会社川岸窯業商店殿	5,000円
日本エレベータ工業株式会社殿	5,000円
株式会社アイ・エム商会殿	3,000円
高陽スレート工業株式会社殿	3,000円
有限会社野上商店殿	3,000円
淡陶株式会社殿	2,500円
ダイケンサッシ株式会社殿	2,500円
日本瀝青工業株式会社殿	2,500円
マルエス工業株式会社殿	2,000円
株式会社タテバヤシ商店殿	2,000円
大阪アルミニウム株式会社殿	2,000円
島野商事株式会社殿	1,000円
株式会社釘安鉄工所殿	1,000円
日本電気硝子株式会社殿	1,000円
株式会社中央写真殿	1,000円
東光電気工事株式会社殿	20,000円
太洋電設工業株式会社殿	20,000円
三宝電機株式会社殿	10,000円
東芝商事株式会社殿	10,000円
新生電業株式会社殿	5,000円
宏電工業株式会社殿	5,000円
株式会社野里電気工業所殿	5,000円
株式会社キリン商会殿	5,000円

日本電気装備株式会社殿	5,000円
株式会社三興社殿	5,000円
松重電機株式会社殿	5,000円
大栄電気株式会社殿	3,000円
阪急電気工事株式会社殿	2,000円
株式会社星屋電気商会殿	1,500円
工藤電気株式会社殿	500円
利昌工業株式会社殿	500円
新晃工業株式会社殿	25,000円
マツダ工業株式会社殿	10,000円
株式会社荏原製作所殿	5,000円
株式会社大鳥居工業所殿	3,000円
株式会社小向商会殿	3,000円
東洋空気調和株式会社殿	1,500円
東畑謙三殿	100,000円
中国支部役員外一同殿	20,000円
大林芳郎殿	10,000円
岡本全男殿	10,000円
小崎修殿	10,000円
富家宏泰殿	10,000円
水野喜一郎殿	10,000円
井上福蔵殿	5,000円
浦辺鎮太郎殿	5,000円
汲川圭司殿	5,000円
栗林一馬殿	5,000円
小林清殿	5,000円
田中治雄殿	5,000円
伴野貞三殿	5,000円
藤島哲三郎殿	5,000円
光井良一殿	5,000円
小栗賛吾殿	4,000円
梅野正春殿	4,000円
山下宗一殿	4,000円
秋月正兵殿	3,000円
井崎梁次殿	3,000円
井上鴻太朗殿	3,000円
市川繁男殿	3,000円
宇治田政雄殿	3,000円
小田島兵吉殿	3,000円
沖田誠一殿	3,000円
神谷新一殿	3,000円
河東義方殿	3,000円
北野誠造殿	3,000円
小西岬殿	3,000円
児島正積殿	3,000円
設楽貞三殿	3,000円
島田正己殿	3,000円
菅谷知己殿	3,000円
田淵誠也殿	3,000円

辻本喜次殿	3,000円
富松助六殿	3,000円
中村金三殿	3,000円
能登路享之殿	3,000円
丸尾岩市殿	3,000円
宮飼克二殿	3,000円
薮本芳一殿	3,000円
田靡勝利殿	2,500円
手島政男殿	2,500円
松本大平殿	2,500円
八十島健二殿	2,500円
山田義行殿	2,500円
安藤芳雄殿	2,000円
井手正雄殿	2,000円
一円俊郎殿	2,000円
市川宏殿	2,000円
今林彦太郎殿	2,000円
今西寿雄殿	2,000円
岩下久哉殿	2,000円
大森一太郎殿	2,000円
相原弁一殿	2,000円
辛木貞夫殿	2,000円
神崎文次殿	2,000円
木下晴一殿	2,000円
貴志満二殿	2,000円
黒田忠哉殿	2,000円
桑山音吉殿	2,000円
古林義敦殿	2,000円
坂井茂信殿	2,000円
佐々木保殿	2,000円
佐々木米太郎殿	2,000円
島田良馨殿	2,000円
鈴木洋也殿	2,000円
田中義光殿	2,000円
谷川政夫殿	2,000円
中原茂殿	2,000円
仁張市朗殿	2,000円
西沢藤生殿	2,000円
藤原巧殿	2,000円
前川敬蔵殿	2,000円
政岡基次殿	2,000円
松永崇志殿	2,000円
松森修殿	2,000円
山本康雄殿	2,000円
山本耕一郎殿	2,000円
山本茂殿	2,000円
柳初市殿	2,000円
渡部圭吾殿	2,000円
伊藤幸一殿	1,500円
奥山清治郎殿	1,500円
鈴木久殿	1,500円

添田正一殿	1,500円
浜口幹三郎殿	1,500円
原川一巳殿	1,500円
柳田癸巳夫殿	1,500円
飯塚源吉殿	1,000円
池田宮彦殿	1,000円
池田達雄殿	1,000円
石田信夫殿	1,000円
岩佐直則殿	1,000円
上田弘殿	1,000円
岡村忠一殿	1,000円
奥田正勝殿	1,000円
奥戸大蔵殿	1,000円
犬伏武芳殿	1,000円
小笠原祥介殿	1,000円
小栗賛吾殿	1,000円
小阪元章殿	1,000円
香井哲嵓殿	1,000円
樫本清殿	1,000円
金多由紀子殿	1,000円
勝浦覚殿	1,000円
桐本楠雅殿	1,000円
近藤幸平殿	1,000円
佐藤亮殿	1,000円
坂爪友宣殿	1,000円
坂野秀雄殿	1,000円
坂本松男殿	1,000円
作間日出生殿	1,000円
島田宗吉殿	1,000円
清水和弥殿	1,000円
田中良太郎殿	1,000円
竹林清殿	1,000円
竹内孝殿	1,000円
谷口尚武殿	1,000円
遠山勇吉殿	1,000円
中川文雄殿	1,000円
中村堯殿	1,000円
中村信夫殿	1,000円
七尾健三殿	1,000円
二宮清殿	1,000円
西田康治殿	1,000円
能登和男殿	1,000円
八田実殿	1,000円
宝来佐市郎殿	1,000円
松下濤一郎殿	1,000円
松尾陽三雄殿	1,000円
松村志津男殿	1,000円
増野有蔵殿	1,000円
水野金市殿	1,000円
水野潤三殿	1,000円
永井俊久殿	1,000円
宮田礼彰殿	1,000円
村越甫彦殿	1,000円
元木貞次殿	1,000円
森粛之殿	1,000円
森岡武夫殿	1,000円
吉井正昭殿	1,000円
山口吾郎殿	1,000円
山出敬二殿	1,000円
吉田正次郎殿	1,000円
吉田国男殿	1,000円
渡辺道輝殿	1,000円
鷲尾九郎殿	1,000円
浅野清殿	500円
井上昭夫殿	500円
井河好殿	500円
稲垣皎三殿	500円
稲津年平殿	500円
植田正一殿	500円
内田成之殿	500円
小川地喜貞殿	500円
小田武司殿	500円
岡本俊輔殿	500円
鍛治千代松殿	500円
金谷通殿	500円
鎌田清二殿	500円
亀井晃治殿	500円
熊谷義信殿	500円
才治学殿	500円
逆瀬淑殿	500円
城戸武男殿	500円
須賀栄一殿	500円
須賀豊治郎殿	500円
鈴木忠五郎殿	500円
鈴木芳雄殿	500円
住岡通成殿	500円
平進悟殿	500円
竹内さく殿	500円
竹花末春殿	500円
出口守殿	500円
徳永正三殿	500円
友本久嗣殿	500円
仲井俊博殿	500円
中川知信殿	500円
中村要次殿	500円
西川幸一殿	500円
西浜英明殿	500円
藤井正雄殿	500円
藤中虎三殿	500円
堀啓一殿	500円
松原正男殿	500円
松村健次殿	500円
三村胖殿	500円
宮秋利厚殿	500円
宮内孝雄殿	500円
宮内飲殿	500円
森本英一殿	500円
山川忠良殿	500円
山本剛殿	500円
柳田正毅殿	500円
好川博殿	500円
吉武太郎殿	500円
合計	1,066,000円
累計	4,965,500円

◀ 日本建築協会昭和42年度収支予算

社団法人　日本建築協会

去る3月22日開催の定時評議員会におきまして下記の通り昭和42年度収支予算が承認されましたので，ここにお知らせします。

一　般　勘　定

収　入　の　部

科　目	金　額	費　目	金　額
会費収入	16,924,000	正会員	9,600,000
		団体会員	6,400,000
		地方会員	504,000
		准会員	420,000
事業収入	46,635,000	雑誌収入	15,800,000
		講演講習会収入	3,335,000
		集会収入	1,720,000
		契約約款売上収入	900,000
		図書出版収入	15,395,000
		データシート収入	5,940,000
		住宅相談所収入	2,500,000
		雑	1,045,000
		(会員名簿収入)	0
雑収入	30,000	雑収入	30,000
合　計	63,589,000		63,589,000

支　出　の　部

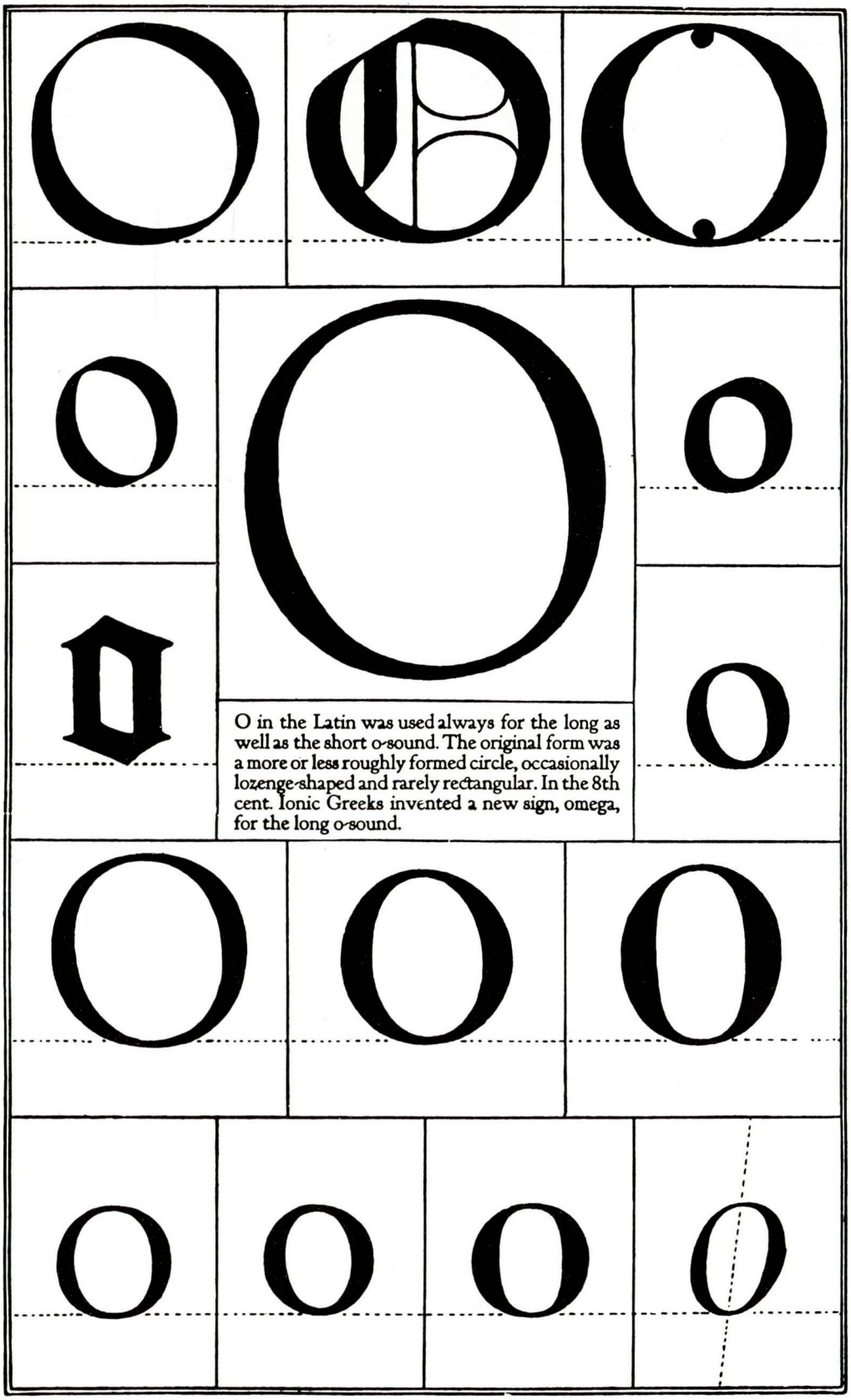
科　目	金　額	費　目	金　額
事業費	45,828,000	雑誌費	16,940,000
		講演講習会費	2,676,000
		集会費	1,920,000
		図書出版費	14,240,000
		データシート出版費	5,652,000
		調査費	200,000
		住宅相談所費	2,300,000
		雑	1,900,000
		(会員名簿発行費)	0
会議費	780,000	総会評議員会費	200,000
		理事会費	80,000
		部会費	50,000
		常設委員会費	420,000
		特別委員会費	30,000
支部費	574,000	支部交付金	474,000
		支部補助費	100,000
事務費	2,248,000	電話料	360,000
		通信費	12,000
		旅費交通費	480,000
		集金費	832,000
		印刷物費	240,000
		文房具費	120,000
		雑費	204,000
給与	9,388,000	給料	6,868,000
		超勤手当	300,000
		賞与	2,220,000
厚生費	740,000	健康保険料	240,000
		厚生年金保険料	156,000
		失業保険料	84,000
		労災保険料	20,000
		職員福利費	240,000
賦課金	35,000	賦課金	35,000
会館勘定繰入金	1,700,000	会館勘定繰入金	1,700,000
退職手当引当金	800,000	退職手当引当金	800,000
償却金	31,000	什器償却金	31,000
予備費	1,465,000	予備費	1,465,000
合　計	63,589,000		63,589,000

会　館　特　別　勘　定

科　目	費　目	金　額
収入の部		
繰入金	第二繰入金	1,700,000
貸室料	貸室料	1,590,000
雑収入	雑収入	20,000
	計	3,310,000
支出の部		
支払利息	借入金利子	315,000
経費	電気料	135,000
	瓦斯料	156,000
	水道料	12,000
	借地料	725,000
	火災保険料	16,000
	公課	180,000
	什器購入費	200,000
	修理費	250,000
	給与	300,000
	雑費	240,000
償却金	建物償却金	587,000
	什器償却金	92,000
	計	3,208,000
差引剰余金		102,000

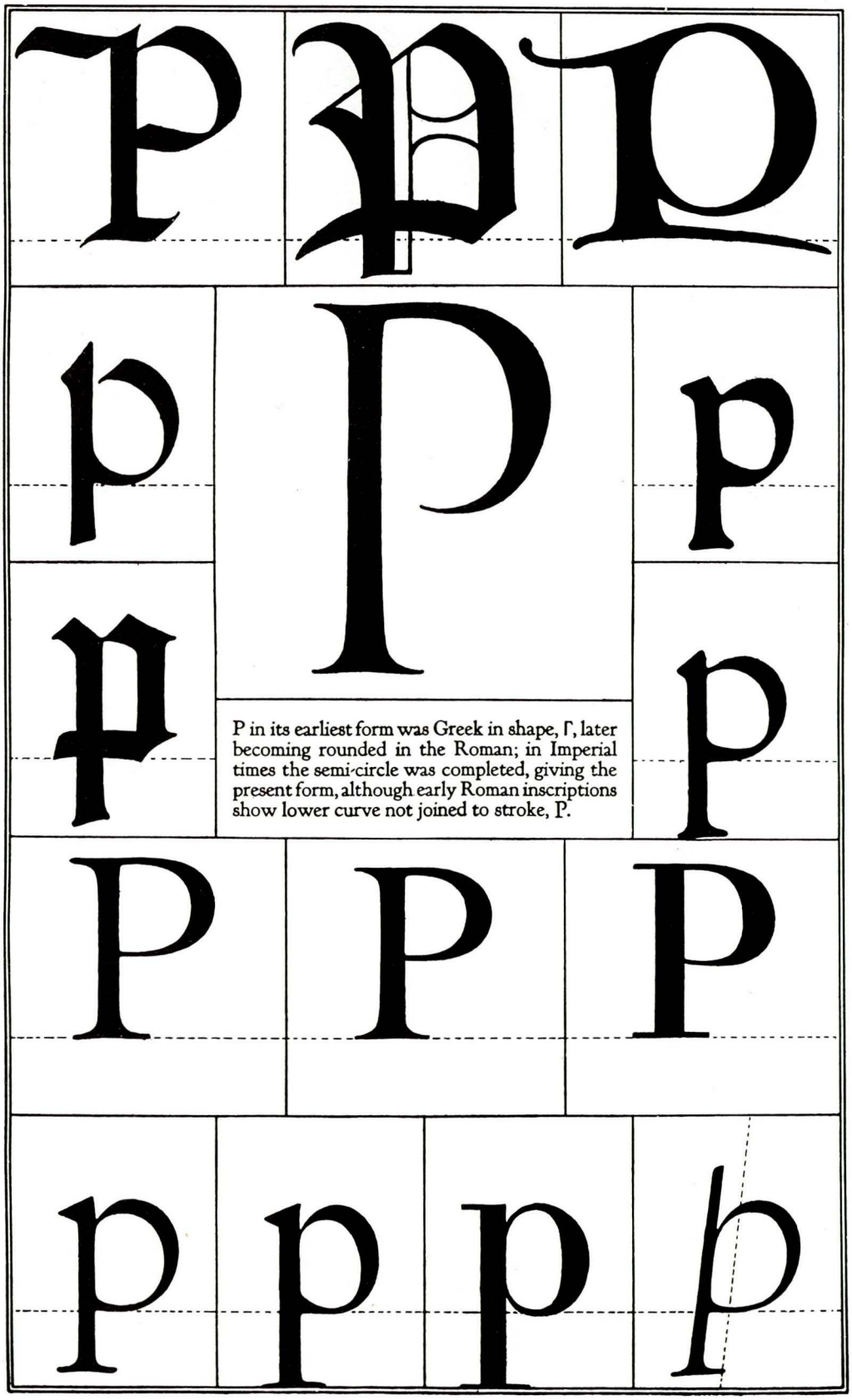
レタリング

O



O．Oはラテン語では短いO音と同じく長いO音にも用いられた。原型は多少いびつな円で、しばしば菱型であり、長方型のような型になることは殆どなかった。8世紀になって、イオニア系ギリシア人が長いO音として新しい記号オメガを発明した。

きりとり線



P．Pの最初はΓの型をしたギリシア文字であって、後にローマ字で丸みがつけられた。皇帝時代に半円が完成され、現在の型となった。もっとも、初期のローマの碑銘では曲線の下部がたて棒に接触せず、Pのようになっている。

きりとり線

松村ビル

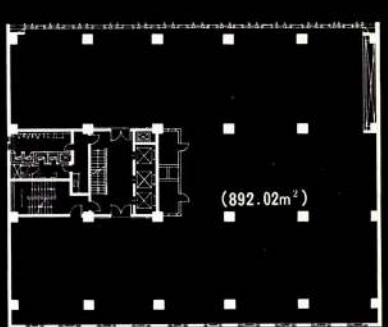
設計施工　株式会社 松村組



保証金のいらないオフィスビル

京阪・地下鉄《天満橋》駅まえ

3階～9階
貸事務室



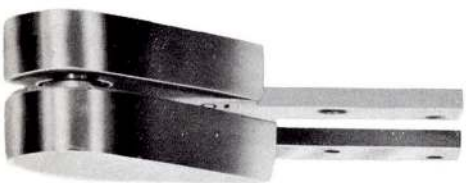
お問合せは

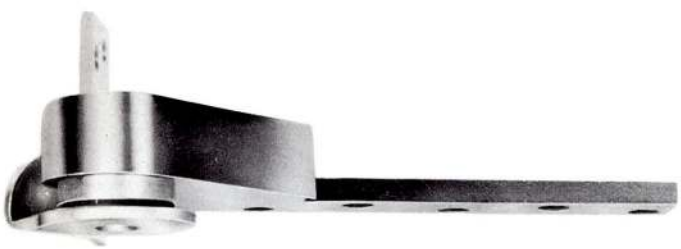
株式会社 松村組 不動産部へ　TEL 942—5421

サンエイ

●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

立枠付 ピボットヒンジ





■ 本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に**防錆塗装**をしております。

■ 焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にＳＵＳ27（18.8）**ステンレス製ヘアーライン仕上**の化粧カバーを付けてあります。

■ 回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。

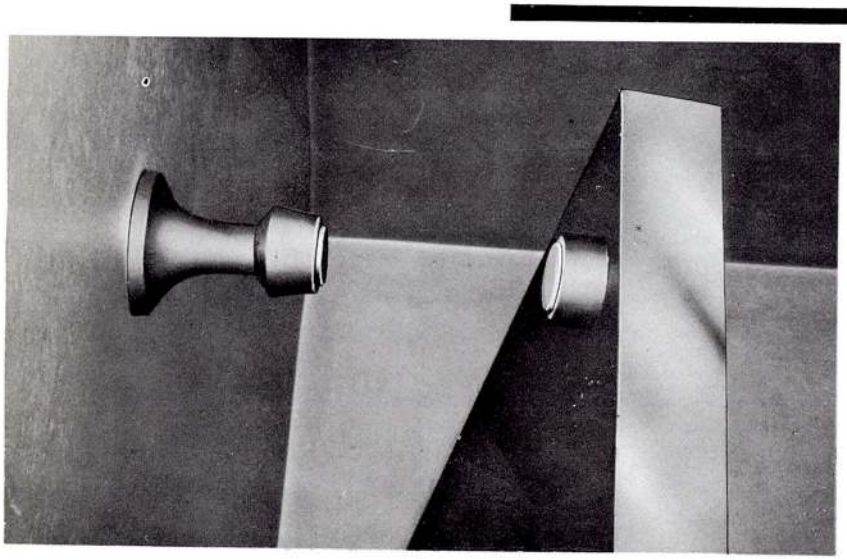
■ 別製の設計製作をも歓迎致します。

■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら抵触致しておりません。

住友の永久磁石を使った〈新しいドアー・ホルダー〉

サンエイ

マグダー



＊軽快なワンタッチ

従来のゴム戸当りと違って、ワンタッチで軽く接触するだけで、ホールドします。

＊強い磁気力

磁気力が強力なため、風力などであふられて離れるようなことは全然ありません。

●設備場所を床にお求めの場合、**床用デザイン**のものも用意しております。

555

三榮建材工業株式会社

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（751）　３６５３～５

読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には粗品進呈いたします。

□ 農村建築の特集を □

農村建築の特集を希望します。

（犬山市南徳明町209　南部　薫）

□ 久保幸一君の死を悼む □



日本アスファルト同業会の創設者であり，理事長あるいは理事として今日の確固たる団体に育成された功労者でもある，株式会社久保商店の社長久保幸一君は，去る4月1日突如脳溢血で永眠された。まことに哀惜痛哭の極みである。享年70才。葬儀は去る4月6日大阪市北区太融寺において数百人の会葬者の許，いとも厳かに行なわれ多数の弔電弔辞が読み上げられた後，涙の内に焼香が行なわれた。君は山口県の生まれ，幼にして大望を抱き大阪に出でて建設業に志し，昭和の初め久保家と縁組み，同時に株式会社久保商店を創立。建設ことにアスファルト防水工事に専念。その経営と発展に異常の努力を払う傍ら，同業会ならびに西日本アスファルト事業協同組合等々，幾多の建設業団体に関係され，建設業界に残された功績は極めて顕著なものがある。同業会長より感謝状受理，紺綬褒彰の受賞，知事の表彰，大臣よりの表彰，黄綬褒彰の受賞，等々ことに永眠と前後して従六位勲五等を叙せられた点より押して，近代稀有の功労者であることが証される。

（富士アスファルト販売KK代表取締役　**長野法真**）

□ 建設の苦しい面の記事を □

50周年記念号を見て

協会の創立50周年記念号を見て思い出すまま少し書いて見たいと思う。

座談会は美点だけを挙げている。もちろんそうあるべきものだが，記事は主として建築企画面，設計 デザイン 面を 強調 していたことも事実。建築は設計・計画・企画だけでは，実際の建築物はできない。建築技能・労務・労力そして経済力を加味しなくて不可能なのである。建築技能と建築労務の研究が見られないということはどうも不可思議でならない。

これが記事に表現されている。職人の談義に類する記事が全く見当らないことでもある。ということは，建設工事のハデな面，美しい面だけの記事で，暗い面，苦労の面，失敗の面の記事がない。

私はこれからの記事に，建設の苦しい面，失敗の告白の面を希望する。

とんだ苦言を呈してすみません。

（大阪市浪速区元町1丁目762　建設資材研究所長

鈴木忠五郎）

□ 明治建築土木史年表・関西編（その4）（自明治11年5月17日。至同年6月22日） □

明治

11年5月17日　西京音羽山清水寺では，昔から祈願の成否を賭けて参詣人が大舞台から飛下りる風習があり，危険なので，寺では高欄の外へ忍び返しを設けていたが，この日卅台の男性一人がまた飛下り，忍び返しに着物の裾が引掛り頭から落ちて重傷。

〃　〃　20日　京都仁和寺。堺県法隆寺。薬師寺。西大寺。招提寺等。真言宗・律宗の十ケ寺は，かねて西部と称して独立。管長も別置したいと内務省に出願していたが，暗殺された大久保利通内務卿に代ったばかりの伊藤博文内務卿これを許可す。

〃　〃　21日　華族学校（学習院）の立花校長熱海温泉に静養し，学内大試験延期という。

〃　〃　〃　大分県下の旧習に子供ができるまで妻を入籍しない風習強く，戸籍処理上改善されたという。

〃　〃　〃　三重県庁新築落成近付く。西洋造りで費用に約1万円を要したという。

〃　〃　23日　大阪府下道修町4丁目に第二十六国立銀行設置さる。

〃　〃　25日　前年9月の台風で倒れた山梨県製糸場。練化（瓦）造りで新築，開業式行わる。

〃　〃　28日　信州松本深志町に新築された常磐座に，善光寺参り中の東京役者秀調・九蔵出演。

〃　〃　31日　京都府下京玉蔵町に第四十九国立銀行設立さる。

〃　6月2日　天皇の写真をかねて各府県に下賜してあったが，更に一層大きな物を下賜し，官員の任・拝命などはその前でやることになった。戦時中全盛の〝御真影〟の元祖のようなものか。

〃　〃　〃　布引の滝で有名な兵庫県吹合村滝紛寺の住職。自宅脇に教場建設を願出る。

〃　〃　4日　兵庫県庁。人民溜所新築費用849円50銭9厘支出。今の公民館のようなものか。

〃　〃　〃　堺県下牧岡神社の拝殿新築。その費用1,950円余という。

〃　〃　5日　神戸，新潟，長崎などの開市場（外国貿易開港場）では従来，外人に家を貸す家主は，契約の都度契約の案文を監督官庁に届けなければならなかったが，今後は貸渡し・立退きのとき，その旨だけを届出ればよいことに改められる。

〃　〃　〃　宇治県社の神事。伏見街道藤の森神社例祭，双方合せて死者一人。重傷数人出る。

〃　〃　7日　鹿児島市内西南戦争の打撃からようやく立直り，商店の新築相次ぐ。もっとも繁昌したのは劇場と料理茶屋だったが，反面物価も昂騰し，生活苦から官林を盗伐して露見し，除族の処分を受ける士族も続出した。

〃　〃　9日　越前坂井港の港口改修案成る。費用見積りは4万円。内官費4千円。県税5千円で残りの3万1千円はすべて地元民の醵出金に拠ることとなる。

〃　〃　〃　真宗東派の別院を上海に建てることになり，名古屋京町通り茶屋町2丁目の大工棟梁伊藤平右衛門が5千円で請負う。ただし，瓦・石の運搬費は別途計上。

〃　〃　11日　先に焼失した三州鳳来寺薬師堂復興のための信徒の醵金 3,500円に達す。

〃　〃　〃　外務省へ各国公使集合し，コレラ予防法制定を議す。

〃　〃　12日　明治10年冬以来滞在中の山階宮晃親王は京都永住を決意。宮内省はそのための邸宅に，先に買上げてあった上京土手町通夷川上る末広町木戸孝允旧邸をあてる。

〃　〃　13日　陸軍卿陸軍中将山県有朋大坂砲兵廠へ出張。野津東京鎮台司令官陸軍卿代理となる。

〃　〃　〃　電信線。彦根分局より福井・金沢経由新潟まで延長工事の仮標が建設さる。

〃　〃　〃　内務省地理局内に作業課を新設。

〃　〃　14日　東京のある大店が制度を改革し，諸国の出店を廃して代りに大坂に中店を置いて業務を総轄すると噂され，三井か鹿島らしいといわれたが，後三井ははっきり否定された。

〃　〃　15日　東京の盛り場に共同射的が流行り，陸軍も各鎮台に射的場を建設することにす。

〃　〃　16日　先に大坂難波新地六番町に写真店を開業した石川一口は，更に庭前に東京からお岩稲荷を勧請し，園内に四谷怪談の植木人形を設らへ，大いに同業者から客を凌ったという。

〃　〃　〃　大蔵卿大隈重信。省内に常平局を開設することを各府県に通達。これに伴い従来出納局で扱っていた米穀に関する事業を一切同局の所管に移す。

〃　〃　〃　大隈大蔵卿。大坂難波米廩（米穀倉庫）を常平局出張所とする。

〃　〃　18日　明治天皇。東海道三保の清見寺へ行幸計画伝へらる。その後北陸東山道を巡幸。

〃　〃　〃　大坂浪花橋前豊国神社新築工事。この頃は石垣の積上工事が行われていた。

〃　〃　22日　内務省土木局。帰国する外人教師を芝離宮に招いて饗応する。この前日には内務省衛生局も外人教師を上野精養軒に饗応している。（東京都北区神谷2ノ22ノ13　須藤欣二）

東・西アス協組 統一年限仕様確立

強力ギルソイド アスタイト防水

■東アス・西アス両協組の連合を契機として全国統一の年限仕様としました。
■防水工事には最も信頼できるアスファルト防水として定評ある本協組仕様をご採用下さい。
■実績を誇る良心的な全国５０社の組合員が、ご用命をお待ちしています。

年限仕様（抜すい）

1　砂利撒屋上防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/m²	単価 円/m²	建物の例
GC-210	1/100～1/12	コンクリート	12	砂利撒（屋上支給）	95	840	鉄筋住宅 事務所 工場等
GC-215	1/100～1/12		15		100	1,100	共同住宅 事務所 倉庫工場等

2　露出屋根防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/m²	単価 円/m²	建物の例
SC-210	1/25以上	コンクリート 鉄骨造 木毛(片)セメント板 PC版	10	砂付シルバライト吹付又は彩色砂付	11	780	体育館 鉄筋住宅 映画館等
SC-215	1/25以上（面積中小）		15		14	960	共同住宅 学校 工場等
SC-215A	1/25以上（面積大）		15		14	1,240	重要度の高い発電所 食糧倉庫等
SG-12	1/25以上		12	アスファルトシングル	15	1,280	共同住宅 体育館 倉庫工場等
AC-210	1/25以上		10	アルミン	9	980	鉄筋住宅 工場 体育館等

3　歩行用屋上防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/m²	単価 円/m²	建物の例
PC-210	1/100～1/12	コンクリート	12	豆砂利コンクリート 90mm厚	249	660	店舗付住宅 車庫 娯楽場等
PC-215	1/100～1/12		15	1：3：6コンクリート 90mm厚	249	920	学校・ホテル 公民館 事務所等
PC-220	1/100～1/12		20	クリンカータイル	164	1,180	事務所 営業倉庫銀行 図書館等
PC-225	1/100～1/12		25	シンダーコンクリート80mm厚 クリンカータイル	274	1,340	発電所・学校 百貨店・病院等

4　室内地下防水

仕様番号	勾配	下地材	耐用年限	押え方法	重量 kg/m²	単価 円/m²	建物の例
ID-201		コンクリート				810	便所 厨房 浴室
BH-201						1,040	地下室床
BV-201						1,280	地下室壁

（注）歩行用屋上防水の単価は防水層のみ

責任施工組合員名簿

（東アス協組員）

地区	組合員名	電話
北海道	（株）浜建	札幌（26）5676
	平産業株式会社	札幌（25）7181
	（株）札幌建材社	札幌（73）代表1131
	（株）亀田建材社	小樽（３）代表2181
東北	（株）山形建材	山形（２）代表8161
	有馬アスファルト商会	仙台（23）2663
	（株）互幸商会	仙台（25）代表7671
中部	八木商事株式会社	新潟（22）3218
	北川瀝青工業（株）新潟営業所	新潟（45）3526
	羽多野産業株式会社	松本（３）8001
	坂田工業株式会社	長野（３）2459
	桜井建材産業株式会社	静岡（54）6211
	協同建材株式会社	浜松（54）5461
関東	井上瀝青工業株式会社	東京（541）代表1974・0964
	桑原建材株式会社	東京（368）6973・8794
	（株）小島工務店東京営業所	東京（821）1050
	高山工業株式会社	東京（251）0161～5
	中村瀝青工業株式会社	東京（892）代表0131～6
	（株）三柏商会	東京（251）8867・7517
	（株）山忠	水戸（２）代表9151
	日本ガンツ工業（株）千葉営業所	千葉（82）2430
	田島応用化工株式会社	東京（866）代表6101

（西アス協組員）

地区	組合員名	電話
近畿	（株）久保商店	大阪（364）代表0207
	（株）木下謹三商店	大阪（443）代表0115
	（株）井上浄夫商店	大阪（441）8531～5
	（株）大和商店	大阪（631）6221～4
	内外工業株式会社	大阪（641）3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪（371）6555～7
	日本瀝青工業（株）大阪支店	大阪（361）5496～8
	高山工業（株）大阪営業所	大阪（364）9015
	石井建材有限会社	神戸（51）5353
	（株）中出商会	神戸（55）4630・4650
	（株）タテバヤシ商店	京都（81）0871～2
	田島応用化工（株）大阪営業所	大阪（441）代表5951
東海	岡田建材株式会社	名古屋（571）7461～4
	（株）名建商会	名古屋（261）3671～3
	高橋建材店	名古屋（231）3295・3431
	日東物産株式会社	名古屋（261）2501代表
北陸	北川瀝青工業株式会社	金沢（41）1131～5
	北川瀝青工業（株）富山出張所	富山（21）2218（41）0391
	北川瀝青工業（株）福井出張所	福井（23）8847
	（株）小島工務店	高岡（３）2463
中国・四国	青盛建材株式会社	広島（21）2281～7
	青盛建材（株）岡山営業所	岡山（23）8285～7
	（有）小野甚商店	岡山（22）4272（24）3574
	（株）浜原豊商店	尾道（22）2760・7812
	（株）浜原豊商店防府営業所	防府（２）3611～2
	古市断熱工業株式会社	高松（61）5034
	正和商事株式会社	松山（２）8161～5
九州	青盛建材（株）福岡営業所	福岡（28）5566～8
	高稲工業株式会社	長崎（４）1726・1098
	高稲工業（株）北九州営業所	小倉（53）6337～9
	高稲工業（株）熊本出張所	熊本（52）1029・9464
	高稲工業（株）大分出張所	大分（２）3877（３）1333
	石素産業株式会社	福岡（53）5761～2

建設省東計65号認可　**東日本アスファルト事業協同組合**
建設省阪建22号認可　**西日本アスファルト事業協同組合**

東　京・千代田区岩本町３の11の13田島応用内　ＴＥＬ代表（866）6101
大　阪・大阪市西区京町堀１の７４　ＴＥＬ代表（441）5951
札　幌・ＴＥＬ（22）６０３８　　福　岡・ＴＥＬ（28）２８０７
仙　台・ＴＥＬ（22）６４１３　　広　島・ＴＥＬ（21）２２８１
名古屋・ＴＥＬ（571）６３６１　　岡　山・ＴＥＬ（24）２６９２

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

■日本建築協会創立50周年記念式典・表彰式・祝賀会

去る3月30日，大閤園において標記記念式典と表彰式ならびに祝賀会が盛大に開催された。記念式典では東畑会長の式辞，建設大臣，日本建築学会長らの祝辞をうけ，つづいて表彰式に移った。

建築協会に功労のあった歴代会長，創立委員，歴代副会長，名誉正会員，多年役員，多年評議員，多年委員，講習会講師，図書出版委員，展覧会委員，多年支部役員，会員グループ，工高生デザインコンクール審査員，後援団体，「建築と社会」誌出版図書印刷会社，「建築と社会」誌多年広告掲載会社，多年勤続事務局長，多年勤続職員，多年勤続事務局嘱託ら約200名に，感謝状と記念品が贈呈された。



表彰式後，パーティ場で祝賀会が開催され，塚本猛次記念事業委員長のあいさつ，木遣音頭の余興や祝辞があって，最後に万才三唱して閉会した。参加者250名。

■関西の建築50年回顧展

3月30日より4月4日まで，大阪・阪神百貨店2階の丸善画廊において，標記回顧展が開催



された。これは，日本建築協会の50周年記念事業のひとつとして，一般市民を対象として開催されたもので，建築と社会50年の歩みの年表，建築からみた大阪の今と昔（大阪府庁舎，大阪市庁舎，通天閣，心斎橋などの新旧写真），大阪の古い建築と新らしい建築，さらに，片岡安，武田五一，池田実，波江悌夫，設楽貞雄，尾崎久助，長谷部鋭吉，安井武雄氏らの物故会員の遺作遺品など展示して，市民に建築50年の歴史を通じて啓蒙を与えた。参観者6,790人。

■東京の新建築見学会

日本建築協会50周年記念事業のひとつとしての特別見学会の皮きりが東京の新建築をみる会であった。すなわち，3月22日と23日に，造営中の新宮殿，霞ケ関3丁目特定街区超高層ビル，千代田生命本社，国立劇場，赤坂離宮を3班に分れてそれぞれ見学した。参加者は約150人。



赤坂離宮の見学

■鋼構造新規準講習会

日本建築学会では，標記講習会を来る6月29日より7月27日まで東京，名古屋，大阪，岡山，金沢，新潟，高松，松山，広島，山口，福岡，札幌，釧路，仙台，横浜の各地で2日間づつ開催する予定である。テキストは鋼構造設計規準案，ＪＡＳＳ6鉄骨工事仕様書，鋼管コンクリート構造計算規準・同解説を使用の予定。テキスト代，会員は1,500円。

■波形石綿スレート，石綿セメントボードＪＩＳ一部改正

石綿スレートは最近内装不燃化の担手として脚光を浴び，特に室内天井に使用されてきたことは注目される。波形石綿スレート，石綿セメントボードの両規格は3年目毎に見直しを行なってきたが，このたび若干の改正があった。

○波板の改正点

規格値の修正は殆んどなく，着色，化粧の波板について参考規程ができた。

○ボードの改正点

厚さをモデュール寸法とし，平板は6mm，9mmの2種類から5mm，6.3mm（6と呼んで差支えない）8mmの3種類とした。

平板材質に加工した下見板について参考規程ができ，フレキシブル板，平板について透水試験が加わり，着色化粧板について参考規程ができた。近く関係業界より衆知徹底のため改正ＪＩＳ規程が発送される予定である。

■「住宅団地に建つ鋼構造高層アパート」設計競技入賞者決定

（社）鋼材倶楽部では昨年秋以来，高層建築における鉄骨造の健全な普及促進をはかるため「建築の工場生産性と鋼材の合理的かつ進歩的な利用に対する新提案」による標題の設計競技募集を実施してきたが，その応募作品（88点）について，当倶楽部「設計競技審査委員会」（委員長仲威雄東京大学教授）において厳正な審査を重ねた結果，去る3月3日，下記のとおり各等級の入賞者（13作品）の決定をみた。

なお，入賞作品については授賞式会場に展示し，さらに東京，大阪等各地で展示会を開催される予定。

1等〔合作〕
代表者　野田　七郎(47才)（竹中工務店設計部）

2等〔合作〕
代表者　村山　裕一(28才)（竹中工務店設計部）

2等〔合作〕
代表者　山下　信夫(34才)（大林組本店設計部）

3等〔合作〕
代表者　佐藤　寛二(46才)（竹中工務店設計部）

3等〔合作〕
代表者　竹村　吉高(38才)（大林組本店設計部）

3等〔合作〕
代表者　野坂　孝(29才)（早稲田大学建築学科武基雄研究室）

佳作〔合作〕
代表者　荒　弘重(38才)（清水建設）

佳作〔合作〕
代表者　井口　洋佑(34才)（東京理科大学）

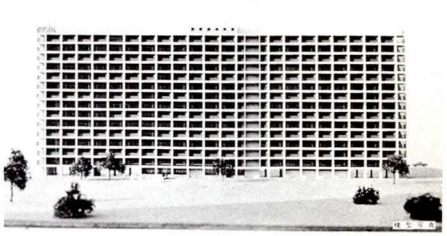
佳作〔合作〕
代表者　塩野　功(25才)（早稲田大学大学院在学中）

佳作〔合作〕
代表者　田島　孟(30才)（増沢建築設計事務所）

佳作〔合作〕
代表者　古田　敏雄(32才)（清水建設設計部）

佳作〔合作〕
代表者　湯川　優(42才)（藤田組設計部）

佳作〔合作〕
代表者　吉家　光夫(55才)（大成建設設計部）



1等入賞作品

すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



壽本舗かねてつ共同ビル

設計　日建設計工務株式会社
施工　住友建設株式会社
使用場所　外壁

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
　　電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区京町堀通１ノ125(東洋ビル)
　　電話　大　阪（443）代　表　７　７　４　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
　　電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



217. 京都大学結核研究所病棟管理室

設計：京都大学施設部
施工：清水建設K.K.
a．京都市左京区聖護院川原町
京大病院構内
b．982.8m²
c．5,059.60m²
d．RC、B1、5F(躯体工事のみ)
e．昭和40年12月～昭和41年3月



218. 森田ポンプ本社社屋

設計：K.K.東畑建築事務所
施工：清水建設K.K.
a．大阪市生野区腹見町
b．437m²
c．1,822m²
d．RC，B1，4F，P3
e．昭和40年7月～昭和41年5月
消防自動車テスト用の塔屋を持つ



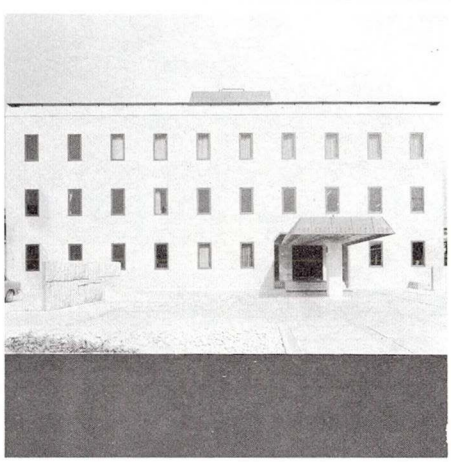
219. 県信ビル

設計・施工：鹿島建設K.K.
a．高松市亀井町9－5
b．448.43 m²
c．3,307.304m²
d．鉄骨鉄筋コンクリート造
e．昭和40年10月～昭和41年10月
外壁コンクリートパネル張り



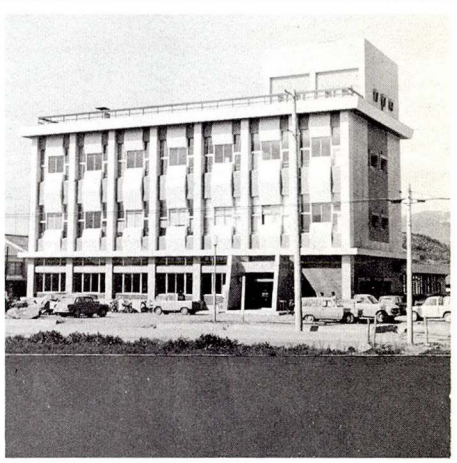
220. 兵庫県立洲本実業高等学校体育館

設計監理：兵庫県建築部営繕課
施工：K.K.柴田工務店
a．洲本市宇山
b．1,326m²
c．1,565m²
d．S＋RC，2F
e．昭和41年1月～昭和41年9月



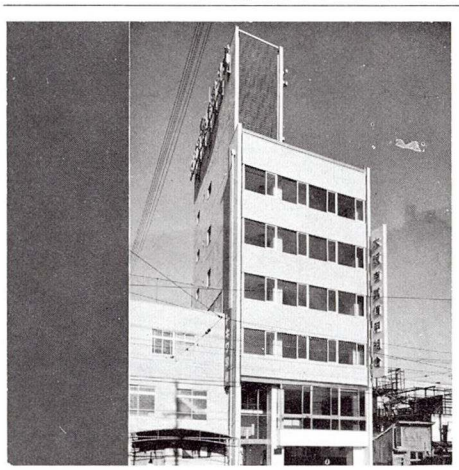
221. 丸善株式会社

設計：吉村建築事務所
施工：戸田建設K.K.大阪支店
a．京都市中京区室町通り竹屋町
c．1,845m²
d．RC，3F
e．昭和41年6月～昭和42年2月



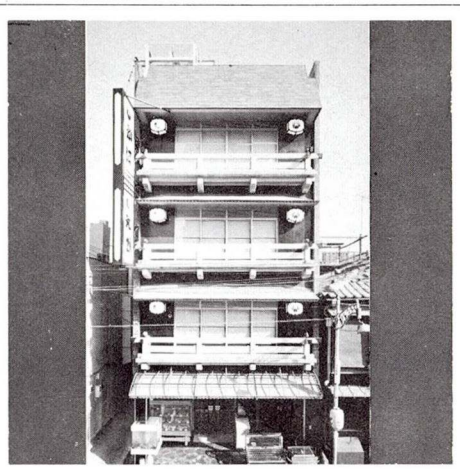
222. 紀南農業協同組合会館

設計：中西建築事務所
施工：K.K.天光組
a．和歌山県田辺市湊1384
b．822.05m²
c．1,597.77m²
d．RC，3F，一部軽量鉄骨造
e．昭和41年3月～昭和41年12月



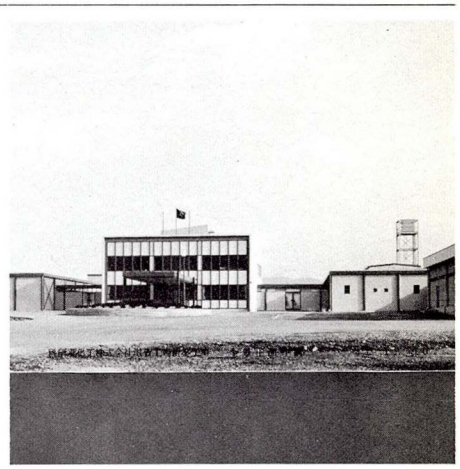
223. 大阪商業信用組合 上本町支店ビル

設計：K.K.東畑建築事務所
施工：K.K.銭高組
a．大阪市南区上本町2丁目
b．143m²
c．1,050m²
d．RC，B1，6F，P2
e．昭和41年1月～昭和41年9月
1階に駐車場、2階に営業室、3階以上に事務室を取る。



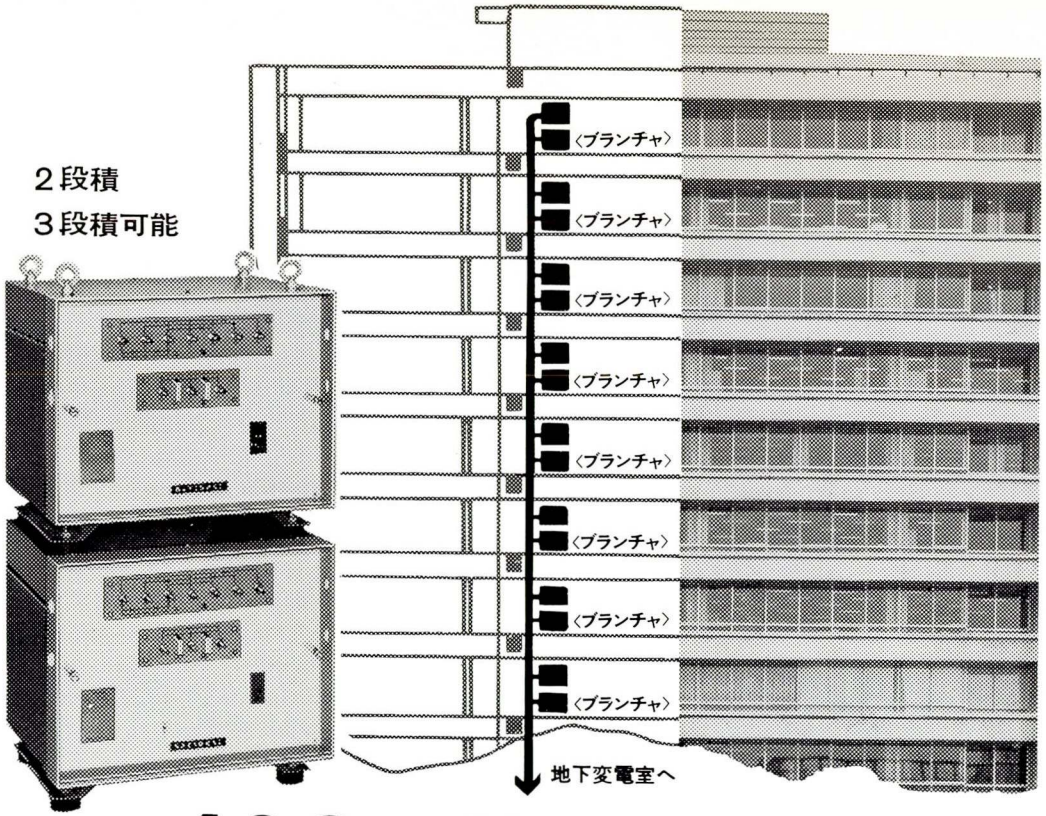
224. 道楽

設計：三座建築事務所
施工：K.K.松村組
a．大阪市北区曽根崎新地2丁目
b．96.99m²
c．525.73m²
d．RC，B1，5F
e．昭和41年10月竣工
山除の地方色を盛込んだ料理飲食店



225. 科研薬化工株式会社 滋賀工場

設計・施工：戸田建設K.K.
a．滋賀県栗田郡瀬田町
c．7,540.5m²
d．S，1F
e．昭和41年4月～昭和42年2月



大形ビルなどの400V級配電方式に…

ナショナルトランス〈ブランチャ〉

電源分岐室用乾式変圧器（実用新案・意匠・商標）申請中

■400V級配電の変圧器です。

＜ブランチャ＞は、400V級配電を100V級200V級に円滑に降圧。三相200V級と単相100・115Vの同時使用ができますのでビル・工場・学校・病院などの400V級配電方式の合理化に大きく貢献します。

■積重ね式が特長です。

分岐室を有効に使用するため、難しい条件の積重ね式と結線方式の技術を解決、インピーダンス電圧と位相角を合せて、異種容量〈5KVAと10KVA〉及び〈20KVAと30KVA〉の並行運転ができます。

■諸経費も割引されます。配電方式の合理化により材料費・工事費が減少。また、小形で取扱いが簡単なため設備費・保守費も大へん経済的です。

三相・乾式（H種絶縁）**・二巻線変圧器　容量 5・10・20・30・50KVA**
一次電圧　440V（60%）　415V（50%）　二次電圧　210V－105V
結線方式△－Yノーヒューズブレーカ、防震ゴム取付可能

ナショナル
松下電器

●お問合せは

札　幌（24）9271	東　京（453）3111	富　山（21）8561	名古屋（951）6211	広　島（41）5111	小　倉（53）5221
仙　台（25）8111	横　浜（68）0743	金　沢（61）2125	大　阪（362）5151	高　松（2）1194	鹿児島（3）0671
宇都宮（3）3235	静　岡（54）1241	新　潟（45）6386	神　戸（39）8011	福　岡（28）3331	



クラスメート

23 〔大阪市立都島工業昭和14年卒〕

前列左より（敬称略）
荻田逸三（㈱近畿建設　常務取締役営業部長）
吉田忠慈（㈱フロアー商会　社長）
奥野武雄（㈱鴻池組　副参事）
川崎敬三（㈱近畿建設　取締役社長）
後列左より
藤浪敬次（住友電気工業㈱　建築課長）
浅井貞治（㈱双星社竹腰建築事務所　代表取締役）
森脇慶太郎（㈱近畿建設　総務部長）

大阪南の随園にて

支那事変も泥沼にいり軍事的な要求から，建築技術者の卵を3カ月繰上げて仮卒業の形でそれぞれの就職先で1月から働かされた第一陣が昭和14年卒業のわれわれです。クラスメートを建立会といっています。

出来のよい，正直者はお国のために早く靖国の神様になり，今日まで生き永らえている男子たちは一くせも二くせもあるならずもの揃いです。

川崎　フィリッピン戦線の生き残り小尉であり，都島の英語で部隊長の通訳を勤めた心臓男だけに同窓生を5人もかかえこんで円満にやっている近畿建設の社長です。

荻田　卒業のとき，ドイツ大使から賞をもらっただけに，川崎君の会社の知将です。

森脇　学校の頃は天六近くの喫茶店の女の子を随分泣かせた軟派でしたが，その頃の経験からか人心の収攬に巧であり，T定規を捨て近畿建設の総務部長とは適任です。

奥野　三つ子のカタパンは直らず鴻池組の組合長から工務担当となり，最近はゴルフに精進中とか。

吉田　同窓会にも着流しでゾロリ，あっぱれな南街の旦那です。夫婦相和してフロアー商会というビルサービスでもうけ心配はただ一つ税金だけという結構な方です。

藤浪　卒業後，住友電工に入社し，ここまで来いと停年をさす人事課長の教えのままに昔の秀才今日も脈々としており，現在は本社の建築課長さんです。

浅井　住友本社から戦後，双星社竹腰建築事務所に移り竹腰先生のご指導のもと，会社の経営に腐心しています。　（浅井記）



豊富な品種と
精密さ、堅牢さ、美しさ、
をそなえたユニロックは
信頼の出来る錠(ロック)です。

有名ビル・ホテルで採用されているのは
完全な品質管理と半世紀にわたる
鍵づくりの技術を高く、評価されて
いるからです。

建設省・日本住宅公団・各府県市庁
有名建築設計事務所ご指定



GOAL IS THE FINEST NAME IN LOCKS AND HARDWARES

株式会社ゴール

本社・工場／大阪市東淀川区三津屋北通4－30 TEL(三〇二)一七七一
九州工場／佐賀県神埼郡三田川町 TEL(神埼)三一七七
営業所／東京・名古屋・札幌・仙台・静岡・金沢・広島・高松・福岡

建築の眼

浦辺鎮太郎
浦辺建築事務所長

金多潔
京都大学教授・工博

矢野豊作
KK藤木工務店常務取締役

桜川貞雄
東洋陶器KK顧問

1月号より6月号まで上記の四人の執筆者で担当してもらいます。

■三笑主義由来

今は故人である岩田宙造博士が席を立ちかけて，フト手帳を取出し，大原総一郎氏に向って『人類は歩くことは完成した。これからは笑いを完成しなければならない』とおっしゃった。

日本法曹界の第一人者の最晩年の心境として聞くのもよいが，達識達服の人類の一人の言として，筆者は強いショックを受けた。と申すのは，生来，生一本（キイツポン）の技術者気質で，コワイモノ知らず，おまけに明治生まれの愚直が添っている筆者は，人に接しても腹の立て通しで，とても笑いの完成どころの騒ぎではなかった。これではいかんと気がついて心境もカツ然としたが，この心境では行きつくところが三笑主義。

ムツカシイ理屈はわからないが，万博の「人類の進歩と調和」にもこの岩田博士の理想が幾分でも盛りこんで行けないものであろうか？

（U）

■協会創立50周年を祝う

この拙文が活字となって読者諸賢のお目にふれる頃は本会の創立50周年を讃える祝賀会もすんでしまっているので，いささか時期を失するようであるが，いま，原稿を書いている時点は祝賀会の1カ月も前なので，表題のお祝いの言葉を述べることお許し願いたい。

一口に50年といっても長いもので，その間会誌が毎月定期的に出るものとすれば600冊にもなる勘定である。私共がこの欄を担当しているのが6冊分であるからちょうどその1％に当ることになる。この原稿も折にふれて書いているからよいようなものの，50年もの間，定められた期限に遅れぬよう盛たくさんの内容をもった記事や論説をうまくまとめて次々と発行される会誌編集のご努力もさぞたいへんなことであろうと，全く頭の下がる思いがするのである。

本会ならびに「建築と社会」の今後ますますご発展になることを祈って，今回はご挨拶までといたします。

（K）

■怖いもの

昔から怖いものは〝地震，カミナリ，火事，オヤヂ〟ということになっていたが，当節はオヤヂはあまり怖くなくなっているようだ。ところで，建築屋の怖いものはといえば，〝地震，アマモリ，火事，オクサン〟（いささか語呂がわるいが）が筆者の実感である。

地震や火事については怖いことは怖いが，先輩の永年の研究のおかげで対策も比較的ハッキリしていて扱いやすい。雨漏りと奥さんは一見やさしそうだが，相手はなかなか複雑で案外に難物である。一度こじらすと手直しにえらく手間がかかる。雨漏りは構造体，下地，防水層，養生などを相関的に考えなければならぬが，頭のいたい問題が多い。奥さんを〝怖いもの〟にご登場願って恐縮だが，住宅建築の場合，若い設計屋など奥さんに振りまわされることしばしばで，工事にかかるとき，大工がまず聞くことは〝むつかしい奥さんとちがいまっか〟。はなはだコワイ存在らしい。

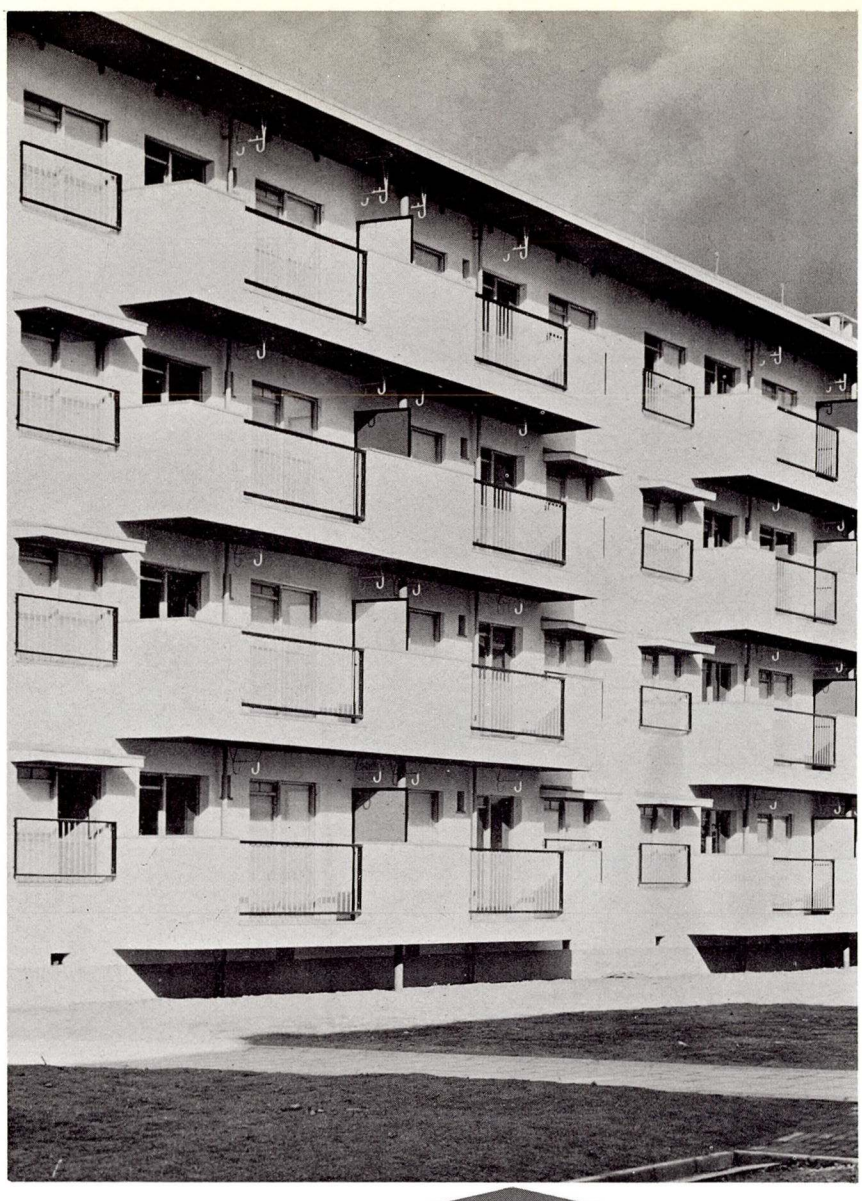
（Y）

■恐水病

わが国の和風水洗便器はいわゆる洗出し式で，便を器底に一たんためて置き，十分においと別れを惜しみ，最後に水で流す式である。これに反し欧米のものは初めから便を水中に落し込み，臭気とはその瞬間に別れ，用達後流すようになっている。これはわが国の水洗便器の生立を調べればわかることだが，欧米の水没式だとおつりが来る——これは多分に観念的であの水気の多いくみ取便所の苦い思い出がそうさせるのだが，筆者はこれを恐水病といっている——というわけであいう形を生み，今なおあれでなければいけないように思い込み，水洗にしたって少しくらいは臭いものだと平気に割切っている。しかし水洗にする以上臭気とも絶縁されなければウソである。われわれの所ではインク交換といって，水洗便器の検査において，1回の洗浄で赤インクの色が全く見えなくなるのを条件としている。したがって留水はきれいなもので，欧米では子供がここで水遊びしても親は平気だ。

（S）

住宅

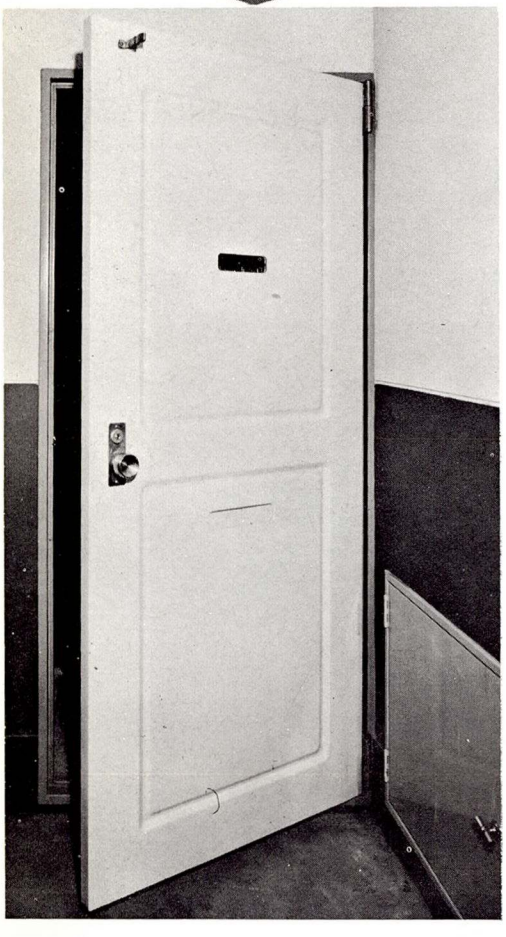


きんき

● 400,000枚の生産実績を誇る

プレスドア

防火ドアー



住宅用として開発

きんき アルミサッシ

〔KJ指定メーカー〕

製造元 **近畿車輛株式会社**

本社建材工場　大阪府布施市橋本1番地の1　電話大阪(782)1231代表
所沢建材工場　埼玉県所沢市大字所沢1415番地　電話所沢(22)5101代表

販売元 **近畿工業株式会社**

本　　社　大阪市北区梅ケ枝町108番地　新梅ケ枝町ビル　電話大阪(363)3371代表
東京支店　東京都千代田区神田岩本町2番地　共同ビル　電話東京(254)2051代表
名古屋支店　名古屋市中村区平池町4丁目48番地2　電話名古屋(551)2522・8655
福岡事務所　福岡市大名町2丁目9番地　上野ビル　電話福岡(76)3556～7

御一報次第カタログ拝送します。

ARCHITECTURE AND SOCIETY

建築と社会

Vol.48 第4号

表紙：都市と建築と人間シリーズ
その4.　こどもの施設

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷　淳

©

■1967年・第48集・4月号・目次

会　告　日本建築協会会告……3
レタリング　O, P……7
読者の頁……11
建築と社会ニュース……13
スケッチブック　最近竣工の新建築9点……15
クラスメート　23. 大阪市立都島工業　昭和14年卒（浅井貞治，川崎敬三ほか）……17
建築の眼　担当：浦辺鎮太郎・金多　潔・矢野豊作・桜川貞雄……19
海外写真　欧米建築写真旅日記5・ある別荘の舗石（フォンテンブルー・パリ郊外）
……撮影：徳永正三……23
作品作風　竹中育英会大阪学生寮……設計施工：㈱竹中工務店……24
米井邸……設計施工：㈱竹中工務店……26
兵庫県立整肢施設のじぎく園……設計監理：兵庫県建築部営繕課
施工：東海興業㈱……28
星久ビル……設計施工：㈱竹中工務店……32

社会と建築特集
1社会人のみる建築観
私の見る建築観――建築家へのプロポーズ――……原口忠次郎……36
わが建築観……工藤　友恵……38
合理性と伝統美のある住まいを――これからの建築に思う――
……松下幸之助……40
建築と社会的美観……堀田　庄三……42
新社屋に夢多し……日比野恒次……44
私の見る建築観……佐伯　勇……46
再開発地域の住民として――社会人のみた建築・都市計画――
……野辺　順一……48
2社会と建築とのつながり
社会と建築とのつながり――新らしい「地域の計画科学」を！――
……新建築家集団（NAC）……50
3アンケート：わが日本建築協会の将来のビジョン……57
回答者：山本純孝・猪沢徳忠・石川久男・島村　昇・宮飼克二
山本耕一郎・谷山昌之・藤木工務店HK・古林義敦・一井栄一
西村栄一・川島繁三・政岡基次・鹿島建設グループ
長谷川哲之助・岩下久哉・近藤義雄・TH生……57

建設業界史話　建設業界史話の初めに……宮村　次郎……65
1.　雷門の提灯――屋根屋三右衛門のこと――……宮村　次郎……66
技術の頁　55. 材料部門：合成ゴム防水について
……建材委員会（担当：伊藤　幸一）……68
月報　日本建築協会月間の動き（昭和42年2月分）……76

編集人　松井昭光
印刷　昭和42年4月20日
発行　昭和42年4月25日
発行人　福中定三郎
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3―37
電 大阪231―9648
振替口座 大阪39975
印刷者　網野栄
印刷所　（株）研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361―2091
売価　1部　300円・送料共

KENTIKU TO SHAKAI No. 4 Vol. 48, April 1967

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: J. Sugaya

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price* ¥300

CONTENTS

Lettering: Alphabet O, P 7

Column for Readers 11

News for Architecture and Society 13

Column of New Buildings 15

Class-mates 17

Essayes ("Kentiku no Me") ..... 19 — by *S.Urabe, K.Kaneda, T.Yano, & S.Sakuragawa*

Photograph: The Paving Stones of "Palace de Fontainebleau" near Paris ..... 23 — Photo: *Masami Tokunaga*

WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED

Osaka Dormitory for Takenaka Scholorship Society ..... 24 — Design & Construction: Takenaka Komuten Co., Ltd.

Mr. Yonei's Residence ..... 26 — Design & Construction: Takenaka Komuten Co., Ltd.

Hyogo Prefectural Rehabilitation Center "NOJIGIKU-EN" ..... 28 — Design & Supervision: Hyogo Prefectural, Architectural Division Construction: Tokai Kogyo Co., Ltd.

Hoshihisa Building ..... 32 — Design & Construction: Takenaka Komuten Co., Ltd.

SPECIAL FEATURE OF SOCIETY AND ARCHITECTURE

1 **Architecture conception observed by the community**

My observation toward Architectural conception ——Propose to the architect—— ..... 36 — by *Chujiro Haraguchi*

My. architectural conception ..... 38 — by *Tomoe Kudo*

Home with rational and traditional beauty ——Esteem to future architecture—— ..... 40 — by *Konosuke Matsushita*

Architecture and social beauty ..... 42 — by *Shozo Hotta*

Numerous dreams in a new office ..... 44 — by *Tsuneji Hibino*

My observation toward architectural conception ..... 46 — by *Isamu Saeki*

As an inhabitant of a redevelopment area
——Architecture and city planning observed by the community—— ..... 48 — by *Junichi Nobe*

2 **Relation between society and architecture**

Relation between society and architecture——New Regional Planning Science—— ..... 50 — by *New Architects' Circle*

3 **Questionaire: Future vision of our Architectural Association of Japan** 57

HISTORICAL STORY OF THE CONSTRUCTION FIELD 65

1. Paper lanturn of "KAMINARI-MON" and roofer, *Sanuemon* ..... 66 — by *Jiro Miyamura*

COLUMN OF ENGINEERING

Concerning systhetic rubber waterproofing ..... 68 — by *Koichi Ito*

BULLETIN 3, 76

欧米建築写真旅日記 5

写真と文　徳永正三



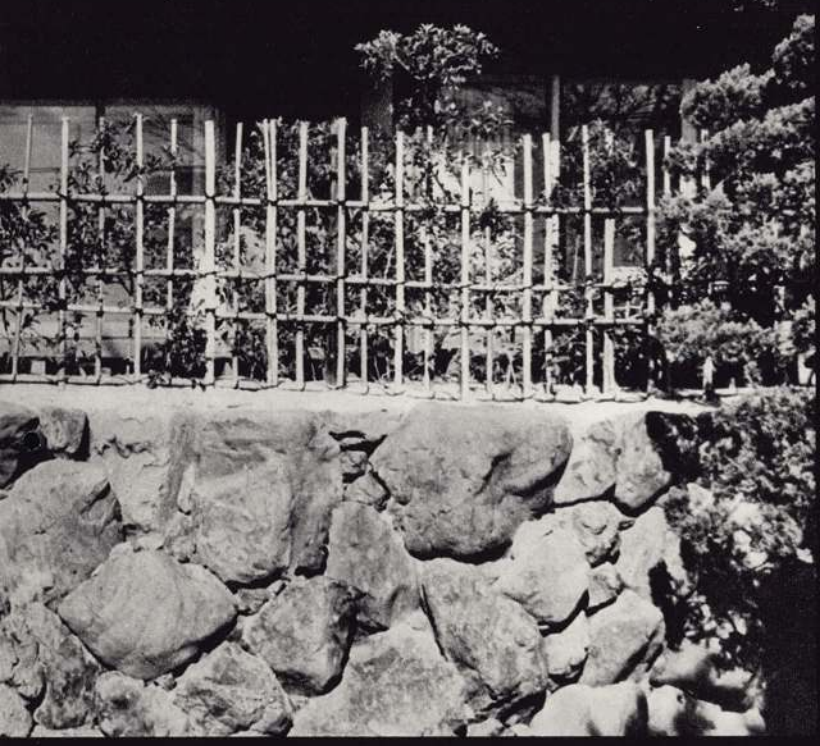
ある別荘の舗石（フォンテンブルー・パリ郊外）
ナポレオンが最盛期において、狩猟や宴会にその栄華をつくしたと伝えられているフォンテンブルーにある別荘・前庭の舗石張りは、その丁寧な仕事振りに感心させられ、クラフトマンシップの真髄を伝えるものと思う。

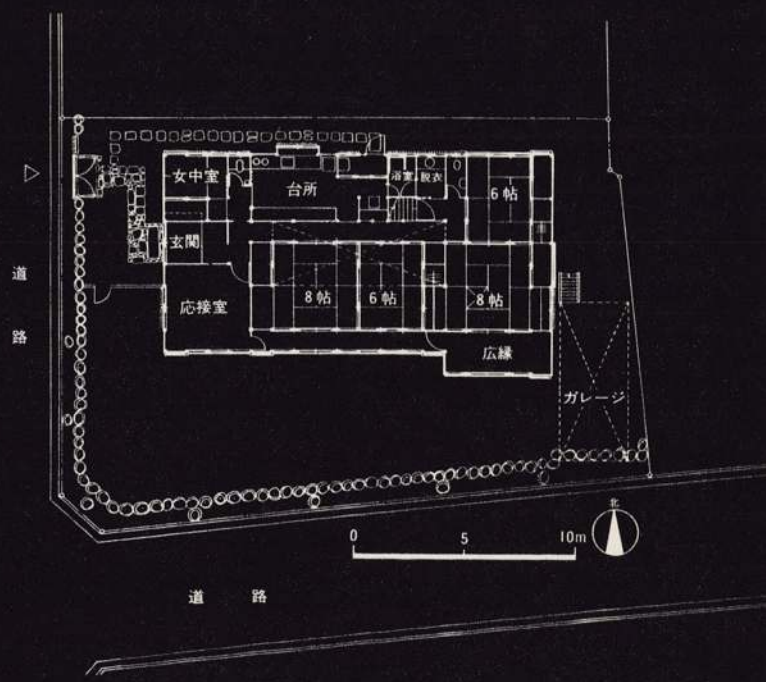


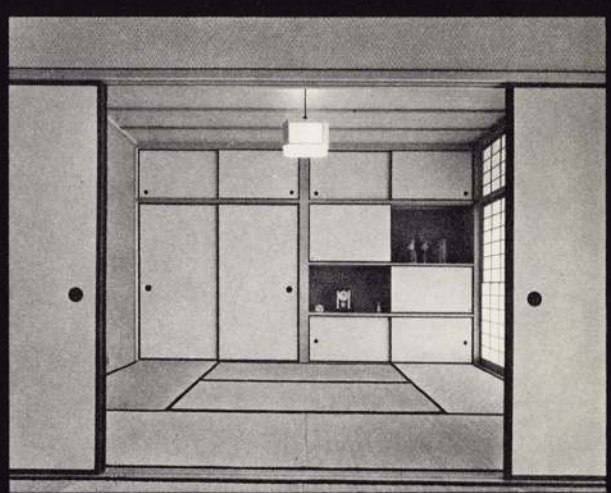
米　井　邸

設計施工	株式会社竹中工務店
所在地	京都市右京区常盤山下町5
敷地面積	431.45m²
延面積	177.76m²
構造規模	木造　平家建
工期	着工　昭和41年4月26日
	竣工　昭和41年11月25日









■設計者のことば

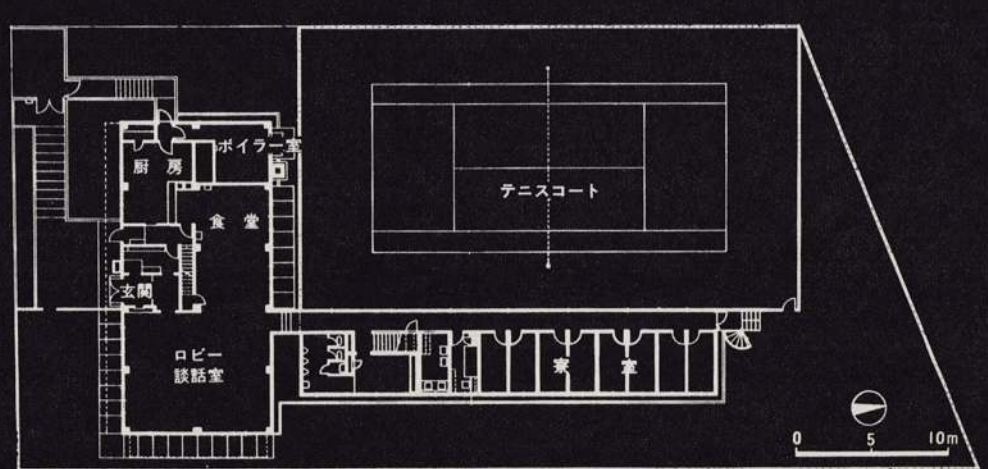
市街のはずれ、双ヶ丘の西裾に在る常盤は、静かな環境が保たれた数少い住宅地の一つであり、春には桜が咲き乱れる美しい処である。以前からこの地に住んで居られたが、在来の住居はご子息に譲られ、隣接した敷地に新しいお住いを持たれたのである。建築主の住いに対する永い経験から生れ出た種々の条件や要求から、機能や合理性を活かすことはもちろんであるがそれのみでは成立しない。古くから伝わる日本の伝統、永い月日を経て築き上げられた民族の智恵は、なお今日に受け継がれている。個々の創造もさることながら、我々祖先が残してくれたそれ等の大きな遺産に立脚しながら積み上げて行くことを忘れることはできない。この建物は大きく覆った一つの瓦屋根の内に纏めてみたが、越屋根を一つ設けることに依って屋根裏の空間も、充分納戸として利用でき、夏の暑い熱気を遮断し、家屋全体の換気も計られたし、庭木の梢越しにもれる灯は、一層雰囲気を醸し出すことができた。その他、竪格子や、杉の舞良戸、飛鳥模様の鬼瓦、各所で用いた麻模様や小菊模様の和すき紙は、鎌倉初期の木版を淡墨で摺ったものだが、これらの持味は古くからありながらも、感覚としては、非常に力強く、モダンであることを改めて認識させられたのである。ここにお住いのご家族が、建物と共にいつまでも幸せであられるようにと祈りながら。

（文責　寺嶋繁久）

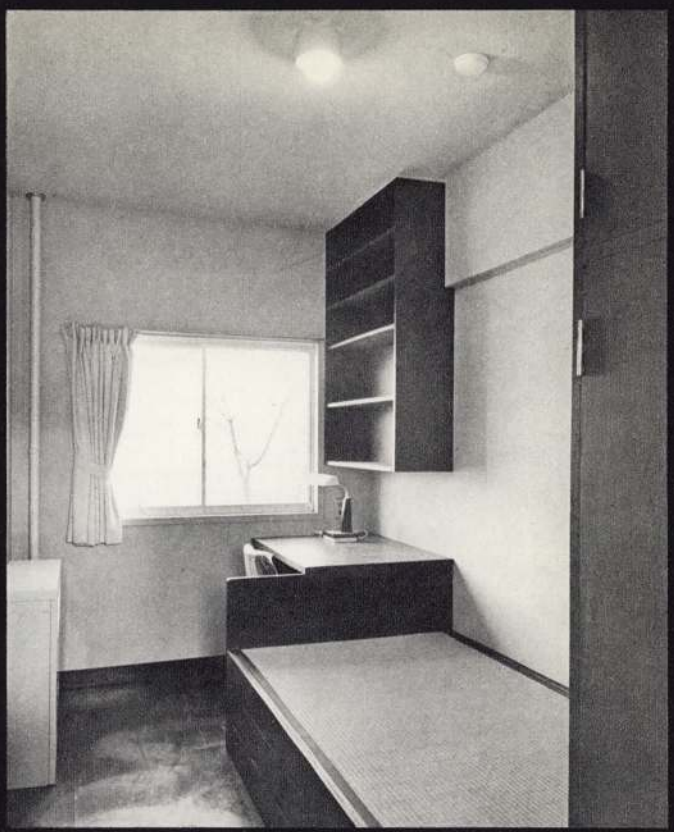
竹中育英会大阪学生寮



設計施工　株式会社竹中工務店
所在地　茨木市大字福井387の4
敷地面積　1691.66m²
建築面積　391.78m²
延面積　1,027.60m²
構造階数　鉄筋コンクリート造　4階
高さ　軒高　11.350m
　　棟高　12.000m
工期　着工　昭和41年4月1日
　　竣工　昭和41年11月30日
外装／屋根：コンクリート打放し着色仕上　壁：コンクリート打放しMパウダー吹付　サッシュ：アルミニューム
内装／床：パーライトタイル　壁：モルタルコテ押えL.E.P 寮室コンクリート打放し及びシポレックスL.E.P　天井：プラスターボードO.P 寮室コンクリート打放しパウダー吹付







寮　室



ロビー

■設計者のことば

この寮は竹中育英会の育英資金を受ける学生の宿舎であり、また心身を鍛練する修養の場でもある。
大阪、京都の約中間茨木に位置し、東は用水池に臨み閑静な丘の上に建っている。
奢侈や贅沢は絶対許されない。質実剛健でなければならない。また一面暖い憩の場ででもなければならない。
学生の管理は舎監に依ってなされ、社会人としてのしつけが教え込まれる。日本間は単なる集会場として使われるばかりでなく作法を教える場所ででもある。食堂も食事のマナーを教える場ともなるのである。
学生が何ものにもわずらわされずに勉強できるよう各寮室は、暖房付、洋式個室とした。ロビーはオープンとして、学生のくつろぎの場所とした。またその一偶には読書コーナーをも設けた。敷地の一部にはテニスコートを設け体育にも留意されている。
床は茶褐色一色、壁天井は薄クリーム色一色で統一をとり、気品と清楚なムードを作るよう努力した。
また建設費をできるだけ低廉ならしめるよう努力した。共用棟はラーメン構造、寮室棟は壁式構造とし、外壁は打放し、吹付仕上とし、また寮室の壁天井もシポレックスまたは、コンクリート打放しの上直接吹付仕上とした。（佐々木明夫記）

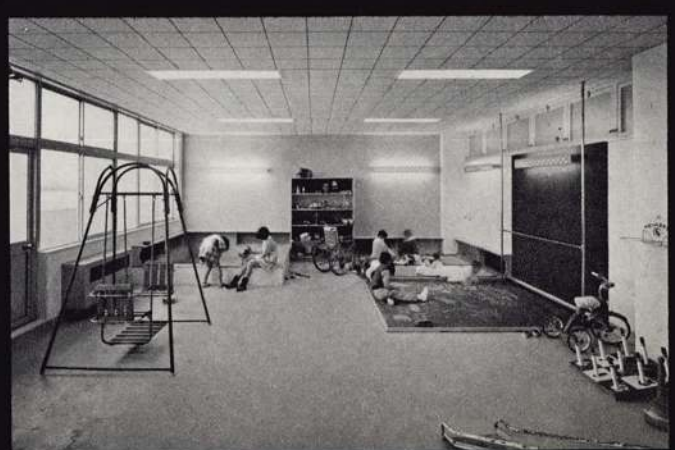
兵庫県立整肢施設　のじぎく園





本館1階　エントランスホール

本館3階　研究部分



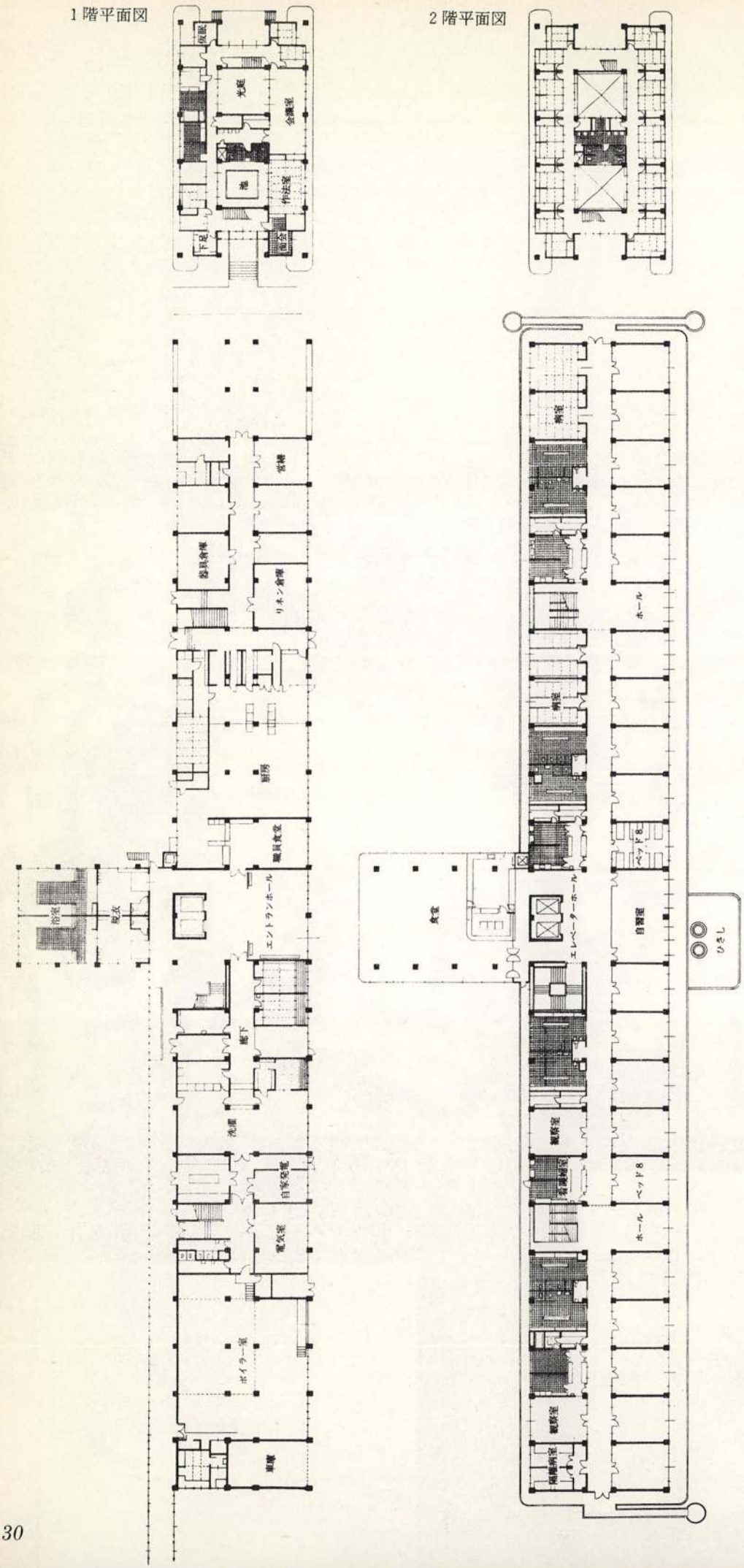


本館２階　病室

本館１階　浴室

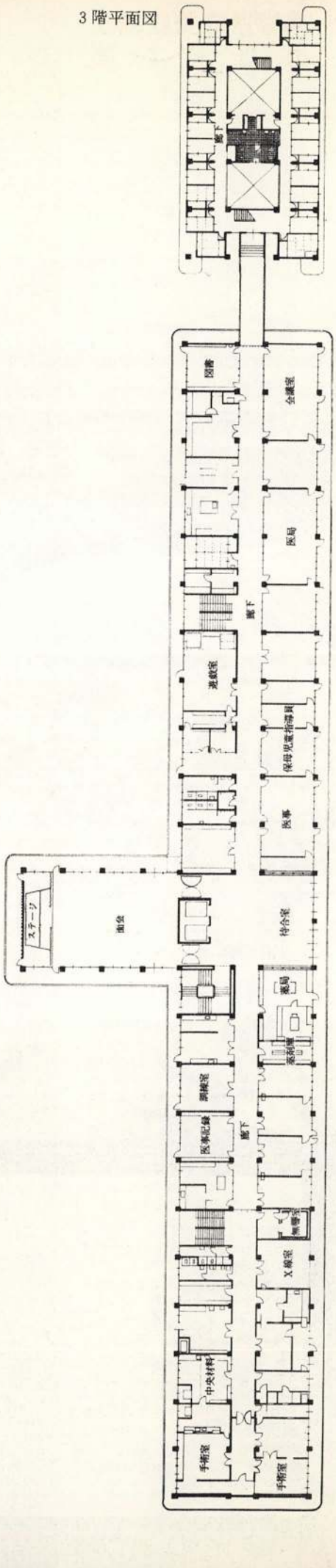


1階平面図

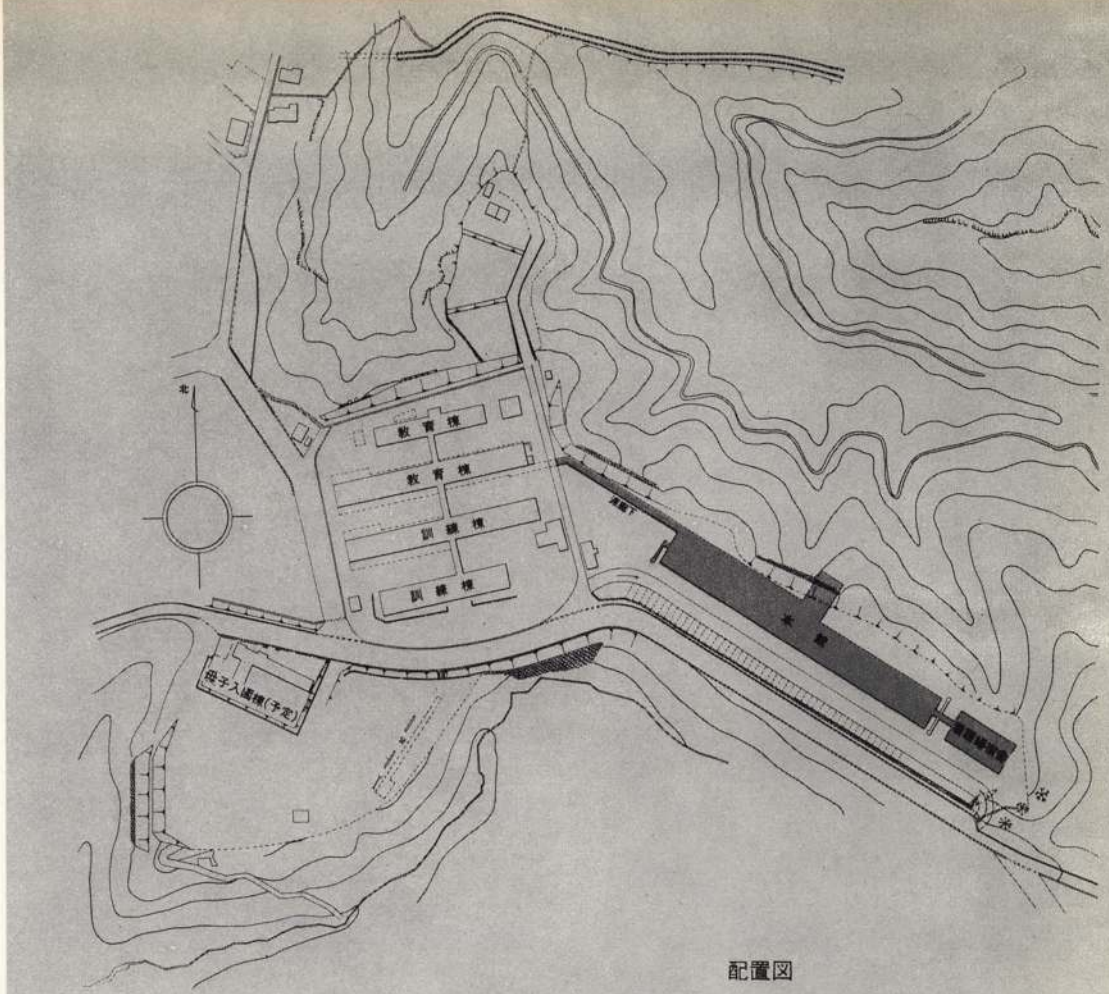


2階平面図

3階平面図



兵庫県立整肢施設のじぎく園



配置図

■設計者のことば

兵庫県立整肢施設のじぎく園は、神戸市の北西、海抜160米の丘陵地帯――広野高原の一部にあり、緑にかこまれた閑静なこの土地は、肢体不自由児のためのリハビリテーション施設として、まったくめぐまれた環境にあるといえましょう。

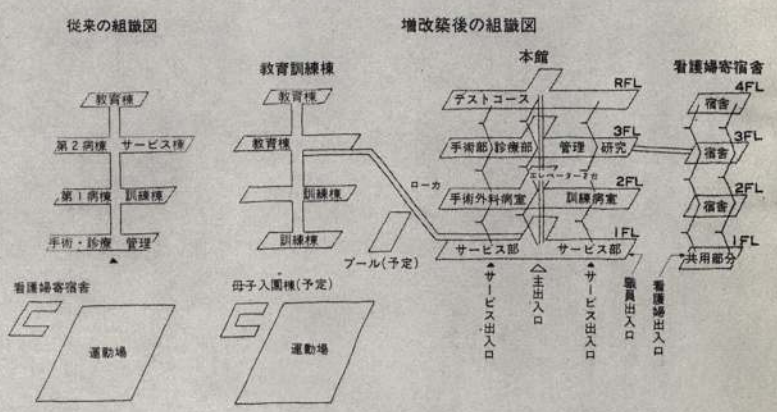
この施設は、昭和33年11月、定員110床の肢体不自由児施設として発足、《このことについては、〝建築と社会〟誌昭和35年12月号児童福祉施設特集号P.26及P.72を参照下さい。》現在までに700余人の児童を社会復帰させてきましたが、兵庫県下の肢体不自由児で療育の対象となる者は、約4500名と推定され、「もっと定員をふやしてほしい」という強い要望にこたえるため、手術外科病室、訓練病室、外来診療、手術研究、管理、サービス等の各部門からなる本館と、看護婦寄宿舎を新設、既設部分を教育と各種訓練の場として改造、定員を210床に増床したものである。

肢体不自由児のための建物は、日常生活や避難などのことを考えて、平家建がよいとされ、機能別にわけられた各ブロックを渡廊下でつなぐ、フインガー型プランが多くとられてきた。のじぎく園においても、既設部分についてはこの方式がとられていた。このたびの計画では、広大な敷地の中で、建設予定位置とされた部分が、巾約40米長さ約180米の細長い矩形で、各ブロックの積重ね方式をとる試みとなった。園児の日常生活における上下文通は、2台のエレベーターと、3ヶ処に分散配置した階段によって処理し、避難のためには3台の滑り台を設けた。

この施設の増改築の前後における各ブロックの配置は下図のとおりである。

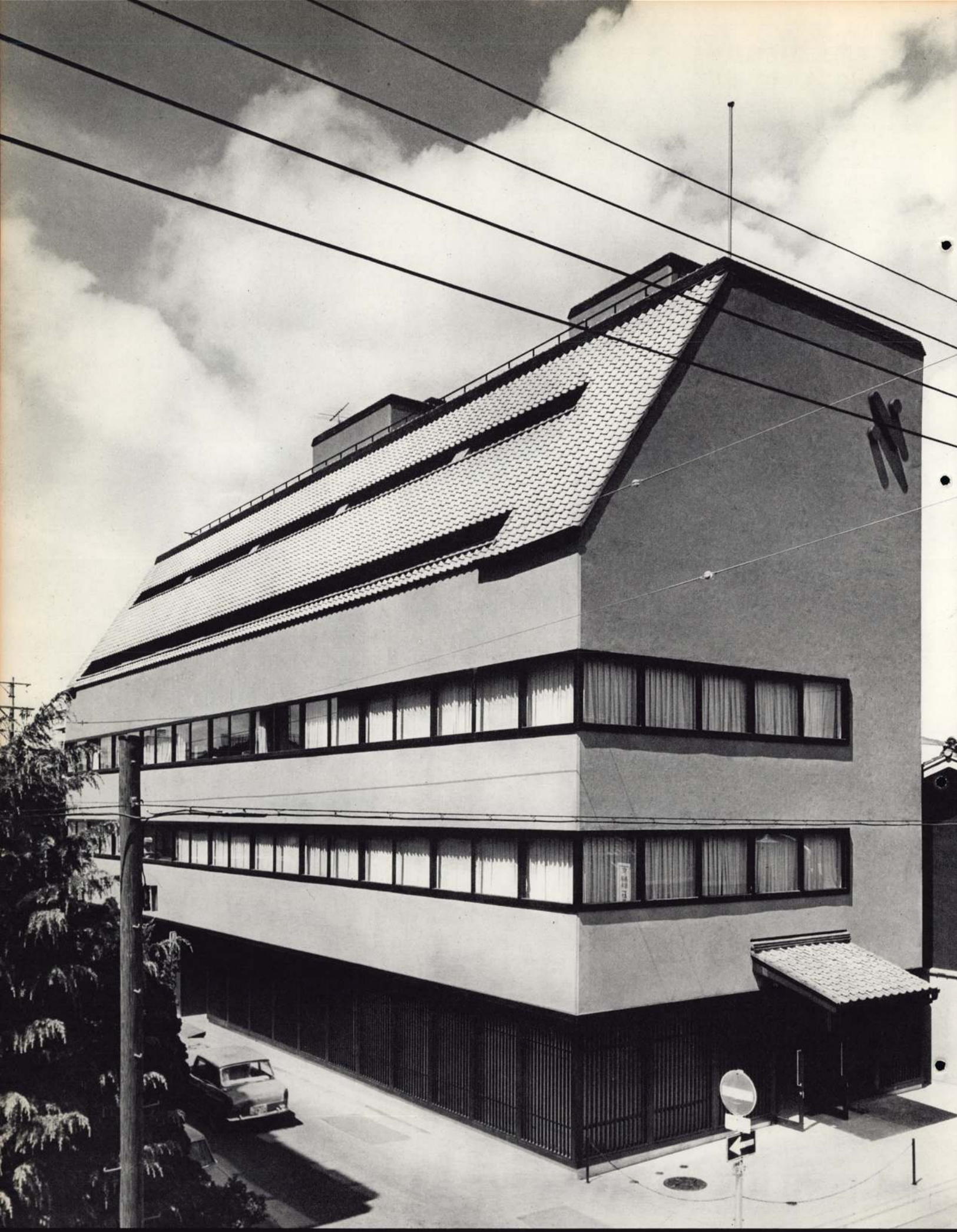
教育スペースと、各種機能訓練スペースは、主として社会復帰まえの、どちらかといえば活動的な園児を対象とすることとなり、既設部分の一部を改造し、新設本館と渡廊下にて連絡した。そして、従来の看護婦寄宿舎の位置には、母子入園のための施設を、また、本館西側の空地には、水泳用プールを建設する予定である。

（兵庫県建築部営繕課　堀　照男記）

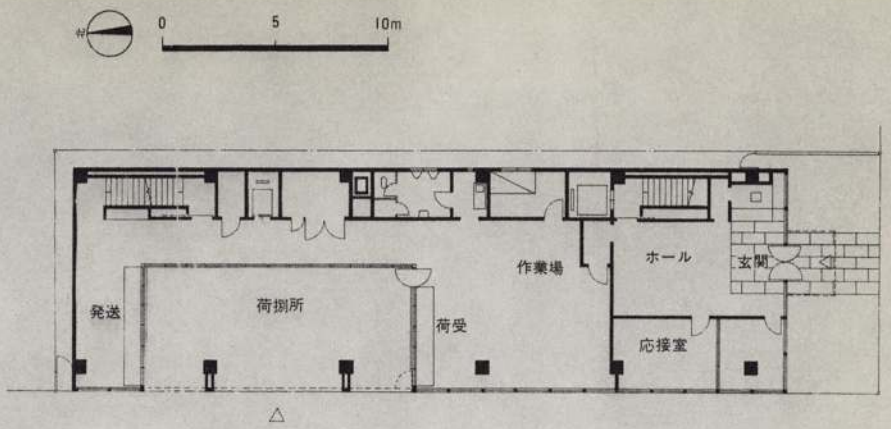


設計監理　兵庫県建築部営繕課
施　工
　建築工事　東海工業株式会社
　機械設備工事　株式会社
　　明和工務店
　電気設備工事　中国電気工事
　　株式会社
　昇降機設備工事　日本エレベータ
　　一製造株式会社
建築位置　神戸市垂水区押部谷町
　　西盛
敷地面積　89,260m²
建築面積　3,262m²
延面積　8,749m²
構　造
本館：鉄筋コンクリート造、地上3階、地下2階、塔屋3階付
看護婦寄宿舎：鉄筋コンクリート造地上4階、塔屋1階付
渡廊下：鉄骨造、平家
工　期　昭和40年10月着工
　　昭和41年9月竣工

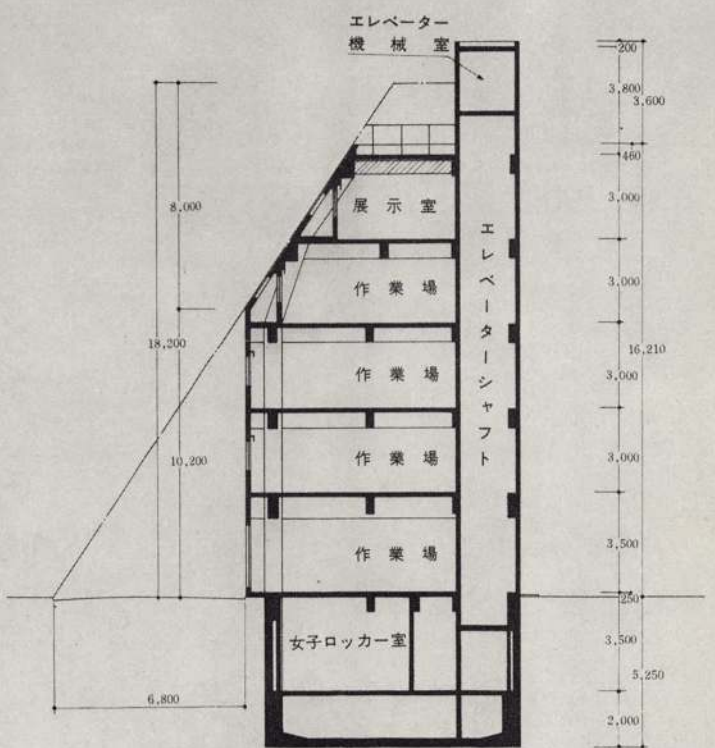
外部仕上
屋上：合成樹脂塗膜防水の上、保護モルタル押エ
壁、柱梁型、軒天等：モルタル刷毛引の上、セラスキン吹付
窓、出入口：アルミニウムサッシ
敷石：花崗岩小叩き、一部磁気タイル貼
内部仕上《主として》
天井：ミネラトーン貼、アコステックス貼、ベニヤ貼ペンキスチップル
壁：モルタルコテ押エ、メターラックC仕上
巾木、床：アロンフローリング貼、ビニアス系タイル貼



星久ビル



1階平面図



断面図

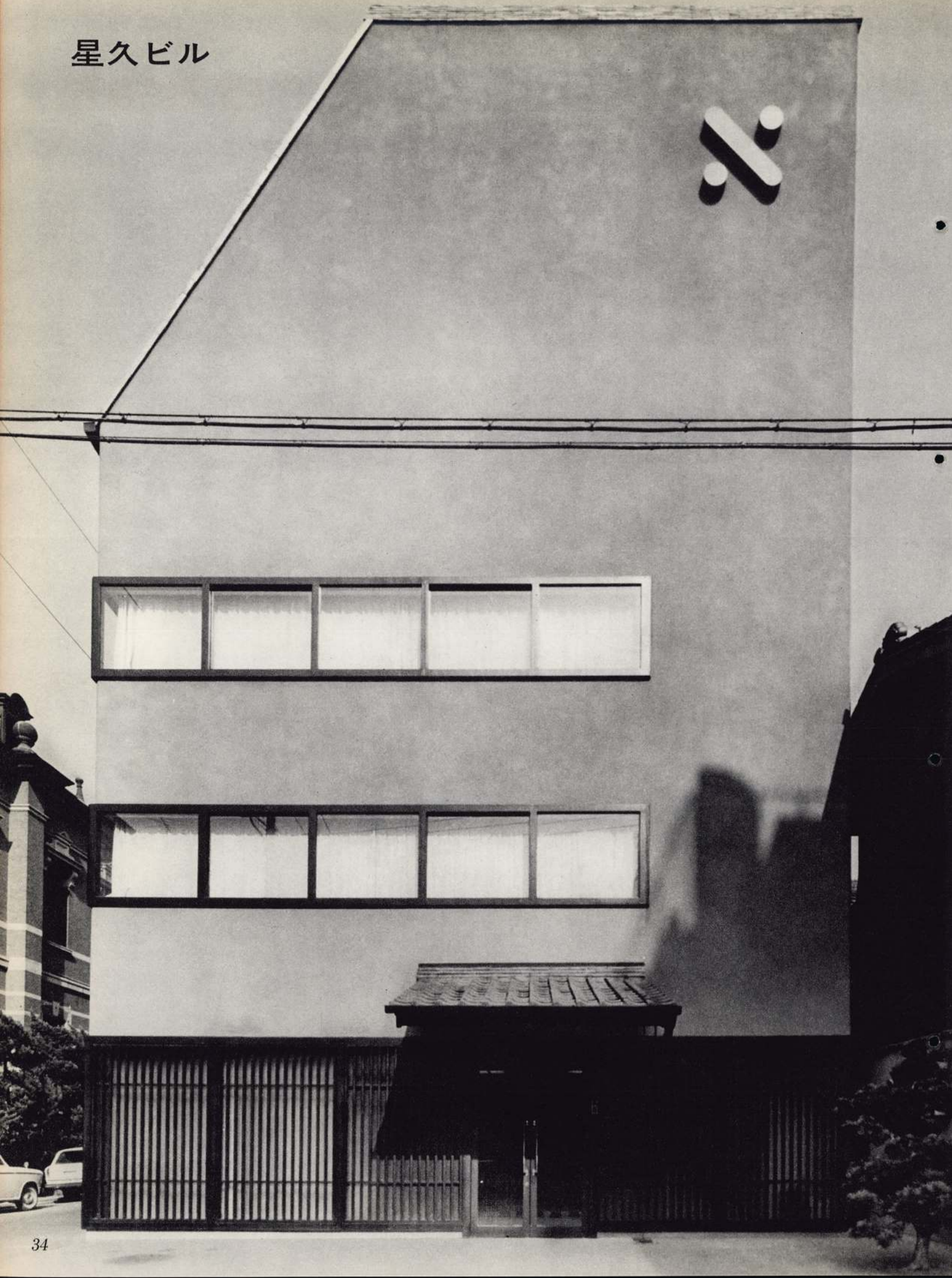
設計施工　株式会社竹中工務店
所在地　京都市中京区三条通高倉東入桝屋町53
敷地面積　385.08m²
建築面積　305.61m²
延面積　1,677.75m²
構造規模　鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋1階
工期　昭和40年10月～昭和41年6月
外壁／モルタル刷毛引ヘキサイト吹付　屋根／日本瓦葺　屋上／アスファルト防水の上シリンダーコンクリート打、モルタル目地切

■設計者のことば

遠い昔から代表的な伝統産業の一つとして、今日に栄えている室町の問屋さんの店を計画するに当って、まず古い歴史と、新しく発展して行く京都の街との繋りを、どこに求めるかを考えました。新しいビルが機能と合理性を追求することは当然のことでありますが、建築は、それのみにて価値を生ずるものとは考えられません。我々が、京の伝統に立脚しながら、日本人の情感こめて建築するところ、おのずと誇りの生れるものと信じます。建築法規による斜線制限のため、高倉通り側の壁面は斜めになりますので、瓦を葺いて屋根の表情を造り、軒を用いて陰を落し、また連格子をあしらうことによって、京の街並に調和させることもできました。我々の祖先が永い時代を通じて築き上げてきた京の情緒も、日一日と浸蝕され失われていくのを目の当りに見るにつけ、一つ一つの建物が街を形成して行く重大な要素であることを感じ、その美しい心を守り、大切にするよう心懸けました。幸いにしてこのビルは、建築主の深い思想的理解のもとに建築し、ここに完成されたことを感謝しております。我々は改めて都の文化の深さと誇りを、しみじみと感じ入っている次第であります。

（文責　寺嶋繁久）

星久ビル



社会と建築特集

□社会人のみる建築観

原　口　忠次郎
工　藤　友　惠
松　下　幸之助
堀　田　庄　三
日比野　恒　次
佐　伯　　勇
野　辺　順　一

□社会と建築とのつながり

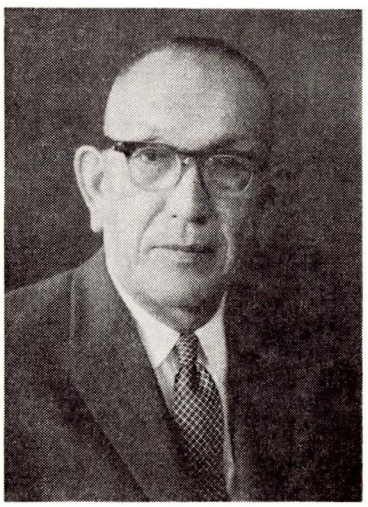
新建築家集団

□わが日本建築協会の将来のビジョン

アンケート

私の見る建築観

——建築家へのプロポーズ——



神戸市長　原口忠次郎

私は土木工学の畑に育って，都市計画の仕事を長い間手がけてきた。余技として建築設計を楽しむこともある。いささか手前みそながら，建築設計コンクールに1等入賞の経験がある。満州在勤当時，スペイン風の内庭を，自宅のなかに採り入れたアイデアを買われたのである。満州の長い冬の生活を，これで少しでもうるおいを持たせたかった私のねらいが共感を呼んで，賞金1,000円を頂戴した。

自慢ついでに，東京・都市センターの地下ダイニングルームにある吹き抜けの内庭も，私の考えを生かしたものである。地下の暗さを，吹き抜けからの採光で，多少とも救いたかったのだが，幸いこの試みは好評のようだ。神戸・三宮の地下街のなかにも，いま進めている増築工事で，この設計が実現することになっている。

近ごろ，都市計画について，さまざまの論議が交わされている。従来ややもすると土木に傾きがちだった日本の都市計画に，もっと建築の要素を採り入れるべきだという意見が，だいぶん強いようである。

私は，土木屋的都市計画家の部類に一応入れられるのだろうが，この説にはまったく賛成である。ずっと以前から，土木工事だけの都市計画は，一種のかたわみたいなものだと私も考えていた。私が余技に建築設計に興味をもったのも，そんな気持

ちからである。

都市計画という総合的な仕事を完全に仕上げるには，土木と建築が結婚すべきである。どちらか一方に偏した都市づくりは，どこかに大きな欠陥がある。

都市には人が群れ住み，さまざまの経済活動と文化活動を行なっている。ヨーロッパのことわざはいう。「神は農村をつくり，人は都市をつくった」と。都市は人間文化の最高の所産であり，その本質はすぐれた機能性にある。

帝国ホテルの設計者，フランク・ライトは「もっとも多く内的存在の真実を啓示するデザインが，最上のデザインである」といった。都市計画が，都市機能をもっとも合理的に充足するようにデザインされたとき，そこに最上の都市美が生み出されるのである。都市美は機能美である。

アテネ憲章が，都市計画の究極の目的として，住居，職場，レクリエーション，交通という都市の基礎的な4つの機能を，もっとも経済的な時間で活動できるようにすることに置いたのも，同じ理由からであろう。

憲章は，都市に高さの要素を導入して，交通とレクリエーションのための空間を自由にとれるよう提案し，高層アパートにより生み出される広い空間が，住居に十分な日光を与え，ゆったりした緑地をつくり出すことを勧告している。

このように都市計画を二次元でなく三次元に基づいたものにするためには，都市計画にもっと積極的に建築家が参加しなければならない。もちろん，土木屋の都市計画家も，もっと建築の世界になじまねばならない。

ニューヨークのジョージ・ワシントン橋が，マンハッタンの高速道路と交わるインターチェンジの上部空間に，高層アパートメントがそびえ立っているのを見た人も多いと思う。私は，そこに，これからの都市計画の重要なシンボルを見出す。

サスペンション・ブリッジ，高速道路という現代土木工学の生み出した構造美に，高層アパートメントの持つ新しい建築美が調和し，しかもすぐれた都市機能を十分に発揮しながら，周囲の自然の風景に，おのずから融和しているのである。

道路が道路としてだけ存在し，建築物がただ建築物としてのみ美しくあれた時代は過ぎた。人口の90パーセントが都市に集中しようとしているこれからの時代は，かってコルビュジェやライトの空想した「一つの超高層ビル＝一つの都市」が，現実のものとなる時代である。

都市計画が，土木技術者と建築家との共同製作で行なわれねばならぬときがきている。私は土木畑の都市計画家として，新しい都市づくりのためのプロポーズを建築家にしたいのである。

わが建築観



大阪建物株式会社
社長 工藤友恵

（一）

鳥の歌聲（ウタゴエ）の研究で有名な京都大学名誉教授故川村多實二博士はその晩年，可憐な小鳥たちが自分の生存の必要から或ひは種（シュ）の保存の必要からだけで本能的にあんなにも美しい歌をあんなに苦労して歌ふ筈がないと言ふ風な考へを述べられた。博士の考へでは彼等はこの世界の大自然をより美しく飾らうとする必死の協力をしてゐるものと見られた様だ。

高名な此の科学者からかう言ふ野鳥観を聞いて，野鳥に対する限りないその愛情に深く感動したのは勿論だが自然を破壊しつゞけてゐる人類の一員として，慚愧の情に堪へなかった。

これも亦今は故人になられたが，アフリカの聖者シュヴァイツア博士はこの世の生物の中で或物の生命が他のそれより價値が高いと誰が定（き）めたかと憤りをぶちまけられた。如何なる生命でもこれを奪ふ権利は誰にもないと言ふのだ。この言葉をレイチェル・カーソン女史のベストセラー「サイレント・スプリング」の中で知って，私は涙を止（トド）め得なかった。カーソン女史のこの名著はシュヴァイツア博士の嘆きを敷衍したものとも考へられよう。人間は萬物の靈長であると自負してゐる。靈長の字義は暫く措く。少くも長としての責任感がこの自負から生れないならばこの言葉は意味がない。即ち生きとし生けるものに対する責任，その生命を保護し，従って，その環境を保護する責任を，靈長は負はされてゐるものと考へなくてはなるまい。自然保護の要請は茲に淵源すると私は考へる。

土地開発は人間の生活に，或ひはその向上に，必要である。それは土木建築の形で行はれるのであるが，現今の土木建築は多かれ少かれ自然の破壊を意味するものと一応認めざるを得まい。自然保護の要請と矛盾衝突するのが土木建築の宿命と言ふ結論に一応はなりさうである。

宿命だとあきらめるならば，それでは萬物の靈長の自負に値しまい。これは自然保護の要請と土木建築の形で行はれる土地開発とを二者擇一と考へる所に間違の原因がある。自然を保護しつゝ，生きとし生けるものの生活環境を維持しつゝ，土地を開発し人間生活の為の土木建築を進めるのが，人間の叡智であり萬物の靈長たる所以であると言はねばならぬ。

何年か前の話だが先祖傳来の大森林を所有する分限者で，木材業を経営する人の講演を拝聴して感銘したが今に忘れ得ない。この人は樹齢数十百年を超ゆる巨木に斧を入れる時，何時も頭を垂れ祈をこめて涙すると言ふのである。その伐採は人間生活の為に不可缺なる建築を目的とするものであり，実は森林其者の維持に有益でさへあるのに原罪感または必要悪を意識しての自然に対する此の謙虚さは叡智を超えて敬虔の域に入るもので川村教授，シュヴァイツア博士に類（タグヒ）する。

かう言ふ高い人間性が発露するとき土木にせよ建築にせよ自然を破壊したり汚損したりするが如きことはゆめ有り得ない。進んで自然をあらゆる生命の為に維持育成する積極的にして謙虚な意欲が土木にも建築にも顕現してゐるならそれが本当の土木建築である。

（二）

上述の通り，基本的には，人間の自然，生物に対する責任感

が，言はば宗教的に，自然に対する冒瀆破壊を抑制せしめ，人間をしてその生育に精進させさへする。

倫理感は人間と人間との関係を律する。勿論それは人間集団即ち社会に対する関係と人間対人間即ち個人関係とを含むが，ここに第二次的の規制が存在する。この倫理観的或ひは道徳的規制は最も俗的な人間活動とも言ふべき近代土木建築に於て自然保護育成との関係につき，如何なる実際的威力を持ってゐるであらうか。

（三）

川村教授やシュヴァイツア博士の世界から遙かに低い次元に於て，また等しく人間社会を律し乍らも倫理的世界観からさへも遠く低い次元に於て，法律の世界がある。その中でも茲に問題とするのは，〝所有権〟である。特に土地の所有権である。

日本の法律もこれに倣ふものであるが，ナポレオン法典は〝土地の所有権は地上及び地下の所有権を含む〟（552条）また〝所有権は物を最も絶対的なる方法で享有し処分する権利なり〟と規定してゐる。これに基く厳格な解説に依れば，〝所有者は何等の利益がなくともその物につき合法的に行為することが出来るし，その行為で他人に損害を與へても何等責任を負はない，彼はその権利を行使したに過ぎないからである。〟これが主観的権利である。

ボルドー法科大学のレオン・デュギー教授は1911年ブエノス・アイレス法科大学に於ける講義の中で此の考へを否定してかう説いてゐる。

個人は誰でも社会に於て自分が占めてゐる地位に応じて一定の社会機能を果す義務がある。乃ち財物の保有者は，その財物を保有してゐる事自体に依り，彼だけが遂行出来る仕事がある。然り，彼だけが彼の保有する資本を利用して，總体の富を増大し，全般の需要を確保することが出来るのだ。それ故彼はこの仕事を遂行する社会的責任があり，これを遂行するときに限り，また，これを遂行する程度に応じて，社会的に保護されよう。所有権は，も早や，所有者の主観的権利ではない，それは財物所有者の社会機能である。

法学者特に解釋法学者の中にこれを反駁する人の少くなかったことは肯ひ得る。併しレオン・デュギー教授の講義が行はれたのが1911年であり，パリで出版されたのがその翌年で，何れにせよ第一次大戦前の主張である。ロシア革命も，権利は義務を伴ふと宣言したワイマール憲法も知らない時代に説かれたのは驚くべきことである。

（四）

素人の法律談議は柄にない。筆者としては所有権は所有者の主観的権利ではなくてその物の保有者が社会に於て果すべき社会機能だと言ふ主張に感動しただけの話である。またレオン・デュギー教授が第一次大戦後の1920年第二版の序文に於てその学説を裏附けする為に数多成法の実例を挙げてゐる。併しこれは却って特に土地につき社会機能といふ素晴しい理念と言ふべきもののイメージを害ふものとさへ私は考へる。これも私が法律学の素人だからであらう。

（五）

ともあれ土地の所有権は社会機能だと言ふ考へ方が我々を勇気づけて呉れる。所有地を如何に利用するか，これに建設する建物の種類も規模も用途も，これに迎へるべき利用者も，その運営も其他凡て社会機能を果す責任を前提として決定しなくてはならない。それは積極消極の両面に亘って判断しなくてはならない。それが如何に建物自体は立派に建築されようと例へば景観的に地域社会にマイナスとなるなら社会機能を果したと言へまいからである。

併し社会機能を果すだけで足れりとしてはならない。萬物の靈長としての人類の責任を忘れてはなるまい。生きとし生けるものに対する人類の一員としての責任を忘れるべきでない。彼等に対して，知らずして，或ひは悲しき人間の短視的欲望に駆られて，彼等に対して既に犯した無責任の罪を償ふ謙虚さがなくてはならない。自然保護だけでなくその回復に聊かでも貢献し得る様な建築を，建設を，我等は心掛けなくてはならないと私は思ふ。レオン・デュギーに止まってはならない。川村教授の感慨に，シュヴァイツア博士の叫びに聴かなくてはならない。次元の高低はこの際あげつらふべき問題ではないのであらうが。

これは身過ぎのさゝやかな糧（カテ）をオフィス・ビルディングの経営参加に，求めてゐる一人の人間が，おほけなくも抱く悲願である。こけと蔑（ナゲ）すむも可，夢と嗤ふも亦もとより可。

（原文のまま）

合理性と伝統美のある住まいを

これからの建築に思う



松下電器産業KK
会長　松下　幸之助

一般に建築といってもいろいろあるが，今日いちばん問題になっているのは，やはり人が住む住宅の面であろう。戦後20余年，わが国は急速に復興発展したおかげで，着ることと食べることは，一般的にいって，どうやら不自由を感じないまで豊かになってきた。しかし住まいの方はまだまだという感じがする。何とか快適な家に住みたいと願っている人が非常に多いのが，今日のわが国の実情ではなかろうか。そこでここでは，建築の中でもとくにその住宅について，愚見の一端を述べてみたい。もちろん私は，建築については全くの素人であるから，あるいは的はずれな意見になるかもしれないが，寄稿のお求めに応じて，日ごろ感じていることを卒直に述べてみたいと思う。

〝居は気をうつす〟ということばがあるように，住まいというものは，われわれの人格形成に大きな影響をもっている。だからわれわれは，住まいというものを単に雨露をしのぐ，心身の置きどころと考えるのでは不充分である。さらに進んで，人間を練り鍛える道場，人格の成長をはかる場であるという観点から，これを重視しなければならないと思うが，その住宅の建築というものについては，世界各国それぞれに，独自の建築様式というものがあるように思われる。欧州には欧州風の建物があり，アメリカにはアメリカ独自のスタイルというものがある。日本の場合も木造のいわゆる日本建築というものが存在している。そうした国による建築の様相の違いは，それぞれの国の歴史，風土の中で培われた人びとの生活様式というものに応じて生まれてきたものであり，代々にわたって少しづつ変化してき

ていると思うが，いずれにしてもそれらはそれぞれ独自の美しさ，構成美をつくりあげているということができるであろう。いわゆる伝統の美を生み出してきているということである。

これは，長い歴史の中で積み上げられた人びとの創意工夫の結晶であり，非常に深い味わいをもつものだと思う。しかし私は，そうした伝統的な建築の様相というものも，今後はある程度変化してゆくものではないかと考えている。

というのは，最近では，われわれの生活様式というものが，急速に変わってきている。つまり，時代の進歩に応じて何事も合理的にというか，生活の各面の活動性，能率というものが非常に重んぜられるようになってきたのである。わが国でも，洋服という活動に一層便利なものが，それまでの着物に代わって実用着となってからすでに久しいが，それと同じような，古い伝統の殻を脱ぎ捨てて合理性をとり入れてゆく傾向が，今日生活の各面にいろいろと生まれてきている。そうした動きは，今日，世界各国におおむね共通するものといえるであろう。

したがって，住宅というものも，その生活様式の変化に対応して，すべてに合理的なものに変わってゆかなければならない。それが原則になると思う。そういう合理的な住まい，便利で快適な住宅ができれば，心身の健康にもよいし，生活内容も豊富になる。貴重な時間や労力をムダなく有効に使えるということにもなるであろう。そして，住まいというものが，単に雨露をしのぐというためばかりでなく，お互いのより豊かな人格形成のためにも役立つものになるわけである。幸い，今日，建築方法にしても，建築材料にしても，次々と新しいものが生まれ，利用されるようになってきている。だから，そういう文明の産物を大いにとり入れて，現代の生活感覚に応じた住まいを能率的・経済的につくってゆくことが肝要ではないだろうか。

ただ，そうはいっても，単に合理性ばかりを追求するということであってはならないと思う。どんなに生活が合理化されても，そこには多少，各国独自の民族性なり伝統というものが残り，生活様式にも違いがあるのである。したがって，そういう違いがやはり建築にも加味されなければならない。いいかえれば，どんなに合理性に富んだ家でも，それは見て美しいものでなければならない。その土地，その風土にふさわしいものでなければならないということである。街全体としても，画一的なものではなく，いろいろの変化がありながら，調和がとれている。また一軒の家も見る人びとに好ましい感じを与える。しかもそこに合理性がある。そういうものが，今後の住宅建築の方向として考えられるのではないだろうか。

もちろん，一般住宅ではない公会堂とか寺院とか，娯楽場とかいったものについては話は別である。それらについては，先に京都に完成した国立京都国際会議場のように，日本の伝統の建築様式を大巾に取り入れた芸術性の高いものを大いに生み出し，後世に遺していただきたいと考える。

しかし，一般の住宅については，わかりきったことではあろうけれども，今後生活の合理化がますます進む中で，そこになお残る伝統の美，日本古来の建築様式というものをどういう形で残していくか，ということについて，専門家の立場でいろいろご配慮願いたいと思うのである。

建築と社会的美観



住友銀行
頭取 堀田庄三

経済発展に基く全般的な生活水準の向上に伴い，いまや国民の最大関心事は衣・食から住の面に向けられつつある。先日も中馬大阪市長と大阪市の総合開発計画について話し合う機会をもったが，市当局の計画案には超高層建築化の推進を主体とする都市再開発の遠大な将来像が描かれており，時期はともかくとして，このような夢が実現されるのもそう遠い先のことではあるまい。

ところで，「形は機能に従う」というが，果して将来における建築の機能拡充はどういう方向に向けられるべきであろうか。素人考えではあるが，その方向は大きく分けて次の2つの面の調和を求めていくことではないかと思う。

第1は，常に新しい形で自然の再開発に取組み，人間の活動の場を積極的に切り開いていくという機能をさらに強めることである。これをわが国のように国土の狭隘性があらゆる面で大きな制約となっている場合にあてはめると，建築技術の進歩によって土地利用の高度化，効率化を図り，経済発展，国民生活向上の基礎づくりをすることであろう。

第2に，建築はそこに住み，働く人に便益を供するだけでなく，同時に四囲の美観を高め，近隣の人々の目を楽しませ，安らぎを与えるという社会的な機能を併せ持つことを忘れてはな

らない。

例えば大ロンドン計画の一環として建設されたロンドン郊外のニュー・タウンでは，建物の高さはもちろん，ドアーの色彩や軒並み，さらには庭の植樹に関してまでも，都市の美観という見地から細かい規制が行われているし，リスボンでも同じような措置が講ぜられている。またワシントンでは区画法によって，地区別にビルの最高限度規制を行なっている。フランスでは第２次大戦後の復興に当って，各都市に主任建築家を任命して標準設計を作り，これをもとにして外面仕上げの統一性を図ったと聞いている。

もちろん，都市の景観に対する考え方はそれぞれの国民性によって自ら異るし，あまりに画一的な規制によって統一性を保つことはかえって都市の躍動的な美しさを損うことにもなりかねない。

だがそれにしても，わが国の現状をみると，個々の建築としてはまことに優れたものも少なくないが，都市全体としての景観となると，どうもバランスに欠ける面が多く，玉石混淆の感が強い。

これは決して美的感覚の欠如というような問題ではない。むしろ私は日本民族の繊細優雅な美的センスは，世界有数とさえ思っているほどである。現に家を建てるといえば，小さくとも庭のある家をというのが多くの人々の共通の願いであるし，またそれぞれに趣向をこらしている。ただ問題はその美がどちらかといえば封鎖的な性格のものにとどまるという点である。たとえば庭の造り一つをとってみても，古来周囲の自然との調和に重点をおいた借景の手法が広く活用されるなど，その技法は世界的にも高く評価されている。しかしこれはあくまで内側からみた美しさ，自分を中心とした美観であり，逆に自己の建築物を社会の中に生かしていくという，社会的な美に対する配慮は必ずしも十分とはいえないのではないか。

今後わが国における住宅建設は急速なテンポで進むものと思われ，同時に建築技術の点でもおそらく旧来の日本建築の概念を打破るめざましい開発が進んでこよう。それは単なる構築物の巨大化，多様化といった領域を越えた都市の景観，都市機能の変革というべき要素をもつものと思われる。それだけにその過程においては，社会的構築物たるの本質を認識し，自ら社会の景観を向上せしめ，リードしていくという，いわば借景ならぬ，貸景とでもいうべき建築の社会性を十分おり込んでもらいたいものである。

新社屋に夢多し



株式会社電通
社長　日比野　恒次

建築というのはその民族とかその時代をよく現わしているものだ，と思う。

私も仕事の関係で世界の国々をいくたびか旅したが，思い浮ぶものだけでも，たとえば——アメリカでは周知のエンパイヤ・ステート・ビル，これはなんでも世界一でなければ気のすまないアメリカ魂がヤミクモに高いものを建ててしまった，というけれども果してどうであろうか。RCAビルのあるロックフェラーセンターの近代的建物群は能率と科学を総合した典型的なアメリカニズムというのであろうか。ここでは高さの同じビルからビルに通路があり，どのビルや劇場も地下道で結ばれている。

パリのセーヌ河畔にあるノートルダム寺院はフランスでも最も美しいゴシック建築だそうだが，この寺院にかぎらず，古い立派な教会というのは中に入って少年合唱隊の讃美歌をきいたり，オルガンの音をきいていると，キリスト教信者でなくとも敬虔な気持になるものだ。建物というのは精神的な一面をもっているのであろう。

ラングーンのパゴダは旅人にとって強く印象的だ。あの黄金の大仏塔が目に入ったとたんに，なんの説明をきかなくとも仏教国にきたことを感じる。

建築はモニュメントとしての意味をもっているし，それだけに，芸術的な一面をもっているのであろう。それはそれで貴重なことであろうが，しかし，反面，建築は人間が住み，どのような形であれ，生活を営むという実用のものだということが抵抗する。芸術的であることと，使いやすいというのはかならずしも一致しない。美しいものは案外実用的でないことが多い。しかしそうとは知りながらも実用的であると同時に美しいものを求めるのが人間のいいところであろうか。

この6月に東京・築地に完成する電通の新社屋も，幸い，丹下健三氏が「20世紀後半の建築のあり方の一つの原型を打ちだ

す」といってくださっているので，私たちの念願通り日本の文化史に残るひとつの建物が実現するであろうと思う。

建物は人間とおなじく顔をもっている。顔をみればその人柄がわかる。電通は広告会社であるから広告会社らしい顔をもちたいものだ。

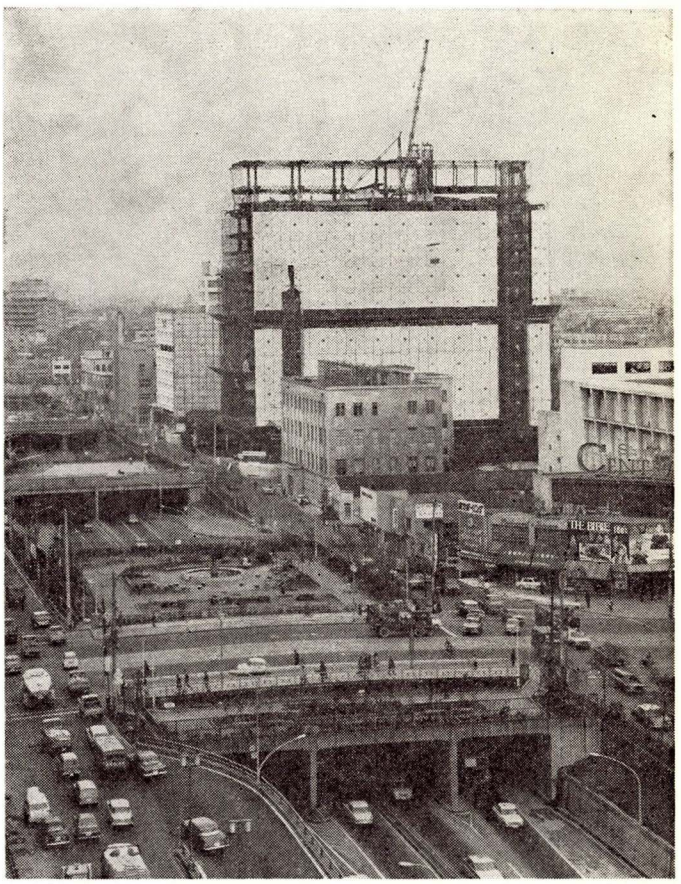
広告会社はマスコミ産業ではあるが輪転機はない。生産工場をもっている企業でもない。同じ本社ビルでも，もっぱら，本社としての中枢事務をとるのともちがう。電通はそれを構成している社員の質と量，その社員と彼らをいれる容器である建物が財産である。広告会社は社員の頭脳だけが勝負を決める。他の企業の本社は機能からいうと，頭脳であり，神経系統であるかも知れないが，電通のそれは頭脳と神経系統をふくめた人体そのもの，つまりすべてであるといえる。

ここで広告計画がたてられ，広告表現のアイデアが生みだされ，ここで電通社員は広告人としてきたえられ，成長してゆく。そして，ここで電通の最高方針が決められる。すべての作業がここで発芽し，沸騰し，実ってゆく。そして，会社全体が社会のどんな動きにも敏感に反応してゆく……そういう姿でありたいと思っている。

新社屋には近代広告作業に必要なすべての施設を入れることに心を砕いた。カラーＴＶ時代にそなえてカラーのテレシネ，広告心理実験室，最高精度の電子計算機，プレゼンテーションルーム，どれも世界の広告業界でも最高，最新のものではなかろうかと思う。

前を高速一号線が走っているから交通も至便である。地上13階，塔屋を入れて15階，高さは60メートル余り，地下３階，１階ロビーは芝生，灌木，庭石を配した近代的な庭園になるであろう。いそがしい社員の心もなごむであろう。

私たちはこのビルに「美しさ」と「機能」を結晶できるであろうと思っている。



工事中の電通新社屋（上）と完成予想図（下）



私の見る建築観



近畿日本鉄道株式会社
取締役社長　佐伯　勇

鉄道における旅客サービスの目標は，安全に，速く，快適に，そして安く輸送することだ，と一般にいわれる。じつは，正確に，頻繁に，大量の人を，等々他にもいろいろあるのだが，ここではまずこの四つにしぼっておく。

これを建築の場合に当てはめると，堅牢で，便利で，コンフォタブルで，かつ低コストで，ということになるだろう。

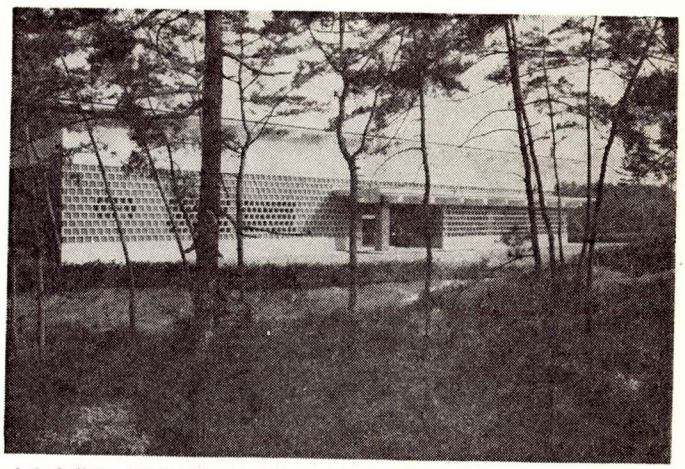
しかし，建築のこの四つの要素の中にはお互いに競合相剋するものがあって，そのすべてを完全平等に満たすことは，はなはだ困難である。

それならば，各々のバランスを程々に考えて〝いずれも中庸〟の線で妥協すればよいか，というと，これまたそうもいかない。そういうことでは，結局どれもこれもが中途半端なものになってしまって，よい成果が得られない。

ではどうするか，といえば，できるだけ建物の目的・用途にふさわしいよう〝どこかにアクセントをおく〟ことであろう。これによって，その建物の特長が自然にでてくるのではないか，と思われる。

たとえば駅舎のことを考えてみる。駅舎は実用第一だから，まず便利であり，堅牢でなければならない。また公共的な施設ではあるが，採算を無視できないから，低廉であることが要求される。その結果，コンフォタブルという面では，積極的に大いに快適とはいかないから，機能的な快適さ……いわば便利ということに近い要素が主になってくるだろう。

ところで，これが百貨店となると，便利で，コンフォタブル



大和文華館（近鉄創業50周年記念事業として昭和35年に開館したもの）

であることがまず肝要だが，もちろん丈夫であることも重視せねばならず，この場合，安いという面はある程度我慢しなければなるまい。

だが，この四要素が満たされるだけでは，まだ十分とはいえないと思う。建築という造形は，これらのほかに，さらにもう一つ，〝美しさ〟という要素が加わらなければいけない。しかもこの〝美しさ〟には，相当大きなウエイトをかけるべきだと思う。というのは，建築物は，それ自体はもちろん，それがおかれる地域全体の環境・景観を大きく左右するからである。

ここでまた鉄道を持ち出すことになるが，電車なども使用目的に応じて，特急車と通勤車とでは，やはり建造に当っての重点のおき方が違ってくる。通勤車は大量迅速輸送が眼目だから，たとえば一車両当りの収容力を増大するための配慮が特に重要視される。一方特急車では，安全迅速はもちろんだが，車両定員を多少犠牲にしても，快適性ということに相当力を注ぐことになる。

だから，当社では車両を設計するのに，車両専門の技術者だけでなく，建築の方の技術者を必ず参画させて十分構想を練らせる。外観や車内の居住性を如何によくするか，に頭を絞らせているのである。当社の特急が〝動くサロン〟と愛称され，ブルーリボン賞をいただいたりしているのも，この点の配慮が行届き，そして成功しているからでらあろう。

近代精神とは，科学的な合理精神だといわれる。建築の面でも，合理性を貫き〝機能〟を重んずべきはいうまでもない。しかし，これが同時に〝美しさ〟にもつながっていくことが望ましい，と思う。

建築は生命の長いものだ。ところが世の中は常に変る。絶えず進歩してやまない。今日よしとするものが，明日もよいとは限らない。そこで，こういう世の中の移り変りに順応できるような建物が，長い生命を持ちつづけることになる。

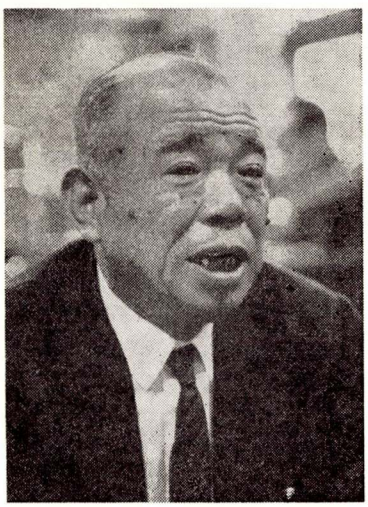
この，常に順応，あるいは対応できる建物とは，つまり深い愛情の籠った〝人間味のある建物〟ということではないか。建物の資材や様式がどう変り，空調設備などがどう進歩しようと，それを使うのは，しょせん人間である。そして，この人体の生理的な構造・機能そのものは，近い将来にそう変ることはないのだから，そういう人間にとって最も使い易く，快適なように工夫された美しい建物こそ価値が高いのだ。さらにいえば，人の心を和ませるような建物であれば，もっとよいだろう。

ルーブルなど，宮殿としても美術館としても立派な建築と思うのだが，日常しょく目する建物のなかで，旧いながらもなお今日，美しく，有用で快適なものが存在する反面，今はどうにもならなくなった建物もある。

洋の東西を問わず見られる現象だが，要するに「建物の主人はあくまでも人間である」ことを忘れてはならない，ということであろう。

再開発地域の住民として

社会人のみた建築・都市計画



大阪市都市計画船場地区対策協議会会長

山萬株式会社　社長　**野　辺　順　一**

1.　築港深江線建設について

戦後，戦災復興土地区画整理によって市内各所で区画整理が実施されたが，都市計画街路として大阪市内の東西幹線である築港深江線（巾員80M）も，市内中心部の船場地区を除く東西の地区で区画整理が行なわれて街路敷が確保されたが，御堂筋―松屋町筋間のみが未着手で残され，現在では商店，家屋が密集して単なる用地買収方式での街路築造は困難となってきた。

経済の混乱期が治まり経済状況の好転に伴って，この船場・丼池の商買もはんじょうするようになり，店の建替え，増築などの必要が生じてきたが，築港深江線は都市計画決定のまま事業化の見通しもなく建築制限のため生殺し状態がつづいた。このため将来に不安を感じた地元住民は街路づくりに協力するとともに商売の繁栄を呼ぶような方法を検討していた。

そして昭和38年８月，ビル建設をともなう立体的な街路建設を中馬市長に提言した。これは平面道路の建設では街路敷にかかる問屋が船場地区より立退かねばならず「丼池繊維」の特殊性が失なわれることになる。歴史的にいって「物の流れはかえられない」といわれているが，都市計画にかかる「もの」だけを移転するということは，人体にたとえれば胃や腸を移すようなもので，都市の機能・特性を低下，滅失してしまうおそれがある。したがって都市の機能構成も，その都市のもつ歴史的地域性を考慮して行なわねばならないと思う。

すでに全国的にも有名となっている丼池繊維卸問屋街の離散を防ぐ意味からも，平面的に削減される土地建物面積を当地区に留保するため，立体化の要請が生まれた。また事業実施時の仮営業所用地確保にもその手当が準備されるよう要望し地元においても独自のプランを作成した。

地元の計画では，80M巾員街路のなかに巾53M，地下１階地上３階のビルをつくり，現在の店舗，事務所などを収容し，屋上に高速道路，地下には地下鉄を通すものであったが，市当局はこれを巾42Mのビルとし，両側に13M巾員の車道と６Mの歩道を残すようにしているが，その代替として地下２階地上４階と上下に積み重ねたタイプでこれが現在の実施案となっている。

2.　地元組織について

すでに昭和35年，船場地区の街路計画と商店街再開発計画の対策を協議するため，大阪都市計画船場地区対策協議会が設立されていた。そして昭和36年に築港深江線船場地区の道路を高架に変更するように請願書を市当局に提出し，爾来同協議会が中心となってその具体化に努力してきたが，最近は昭和45年の万国博までに完成するように建設計画も軌道にのり，事業施行段階での分譲床価格の問題と関連して補償問題がクローズアップされ，地区内のいくつかのブロック毎に補償対策に拠するため権利者同盟会が結成された。しかし補償は各自の個別交渉となるので同盟会としては，大筋としての問題をとりあげ市当局と接渉することになろう。

市当局による計画が具体化するにつれ地元意見の積極さも度を深め，おのおの商売に対する見解を主張して，ビルのプランニングにも多くの注文が出されるようになった。そして図面だけではピンとこない点もあるということで，実地見学として神戸湊川防災建築街区を視察し，設計上あるいは商売上の参考に資するような行事もやっている。

3.　建築施設について

ビル計画でもっとも関心のもたれるのは，入居する店舗が設計意図にマッチした経営ができるか。またおのおの商売がうまくゆきビル全体としても繁栄することができるかということである。

地元意見のなかにはまだまだ「自分の店は自分の店でなにもかもそのままビルに移すんだ」という中小企業的考えがあって，区分所有ビルとなる新ビルの設計趣旨とマッチしない面がある。区分所有ビルは専有部分と共用部分から構成されているのでどうしても共同使用の箇所があり，それの運営には全員の共同参加が必要となる。

またこの計画は区域内にある土地建物は一括買収され，補償金をもら

って新ビル入居への優先権が留保はされるが，新らたに専有部分の分譲をうけ区分所有権を取得するという方法によるため，現況資産の小さなものは小面積しかとれない場合がある。小区画の店舗がならぶと「鉄筋店舗アパート」の感を呈し，わるくすれば「鉄筋スラム」にもなりかねない。現在の流通機構は大型化の途をたどりつつあることからいえば，これは流れに逆行することにもなるので，かかる場合にはオープンフロア型式の店舗構成をとりむだをはぶくことが必要であるが，地元はまだこの点に納得のゆかないものが多い。

当地区の商売は主に近畿，中部，西日本，四国，九州の客筋を対象に現物売買の方式をとっているため，商品格納倉庫がぜひとも必要となり店舗規模も大きくなければならない。大面積になれば縦割型式で分譲されることが望ましくなる。

分譲価格はおおむねつぎのような考え方になっている。このビルは都市計画街路内に建築されるので，当初は建築費の実費のみを区分所有の方式で入居者に分担させ建築敷地の土地については，占用料として固定資産税相当額程度を負担さす案になっていた。

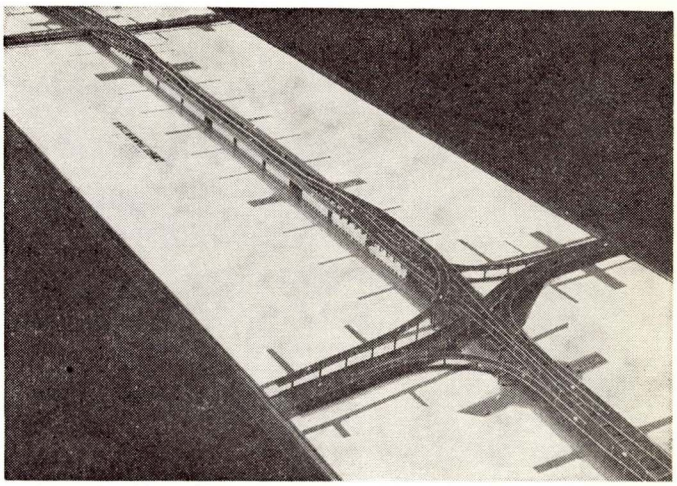
しかし現在では市当局は「建築費＋建築費に近い地上権」を区分所有者に負担させる方法を提示してきている。これでは大阪市の地元負担金が区分所有者に肩替わりされるように思われる。ここで卸商業を基幹産業とする商都大阪の都心開発と併せて流通機構合理化安定のためこのビルにも適切なる公共投融資の必要と決断が望まれる。かくしてビルの分譲価格は当初の２倍相当額となり，大きな開きを生ずることとなった。これも要因となって補償費アップの要求が強まり前述の権利者同盟会などが結成された。

区分所有については，商売上不動産を担保にすることがあるが，区分所有でもそれが可能となるので商売上の不都合はない。また共同部分管理などのため入居者が組合をつくることになるが，ビル管理会社のようなものができ，入居者もタッチしてゆくことも考えられる。ただ商売上，従来も各種の組合があり，その運営には組合役員のみが積極的に活動する傾向があったが，こんどの場合ビル運営のよしあしが直接商売にも影響することになるので，区分所有者全員が真剣にこれと取組む必要があろう。

4. 建築・都市計画について

最近のまちの建築の色をみて感ずることは，落ちついた中間色系統のものが好ましいと思われる。重々しい色は重圧感があって好ましいと感じない。ただ大阪のまちはスモッグの問題があるので中間色はよごれる心配があるのが気がかりに思う。

また最近は高いビルの建設が話題になっているが，大阪の街路構成からみて東西道路の南側に建設されるビルの高さは抑制されることが必要ではないか。ビルのカゲになる建物には太陽光線が入らず，またそのカゲになった道路も「デットストリート」となってしまう。建築はその床面積の拡大のみを図っても，保健，衛生上からいっても太陽光線はぜひとも必要なものである。これらの弊害をなくするためには人工土地の構想も必要となろう。



築港深江線船場地区模型写真

建築屋さんに一言，建築屋さんは建築基準法のみにとらわれて設計しているきらいがある。本来，建物は使う（住む，働く）人のためにつくられるものであるから，その人たちが満足できるように設計，建築されるべきである。法律は人がつくったもので一度できたからといって，それを押しつけるばかりでは進歩がない。常に時代の要求にマッチした法律・技術に改めるよう心がけられたい。

最後に「社会と建築」の締めくくりとして，建築とは表裏一体の関係にある「土地」の対策について，これがあまりにもお粗末であることを強調したい。とくに住宅建設については土地取得がガンになっていることは周知のとおりで，市営，府営，住宅公団などの住宅団地の新設は，地価の安い土地を求めてだんだん遠隔地になってゆき，一方民間アパート，分譲地なども，都市地域のスプロール化に一役買う結果になっている。

このため，都市に職場を持つ通勤者の朝晩の通勤時間は長くなる一方で，往復３～４時間もバス・電車に乗るようになれば，毎日が遠足のようなものである。われわれ中小企業のものにとっても従業員の住宅・通勤問題は深刻な問題であり，これらが中小企業合理化を阻害する要因の一つとなっている。昨今はまた「中小企業団地」とか「集団移転」などが話題となり具体化もしているが，われわれ業種では，従業員宿舎，製品加工工場位が郊外に移転できようが，営業・販売部門は依然として都心部に残らなければ商売が成り立たないと考えている。

したがってこの解決には，短時間で通勤できる地域に通勤者用住宅を確保できるような方法，例えば高架道路の上に住宅をつくることも一法だと考えられる。都心部の再開発もこうしてもっと綜合的計画のなかでの一環として行なわねば効果はないだろう。

今後の都市計画や建築に関係する人たちには「見る街よりも合理的に動く街」づくりに努力するよう望むものである。

本稿は，福原裕治編集委員が野辺氏にインタビューしてまとめたものですが，野辺氏の校閲をえて掲載したものです。

社会と建築とのつながり

新らしい地域の計画科学を!

新建築家集団（NAC）

I 社会の認識

1-1 社会の認識とは何か

こんにち「建築を通じて社会に貢献する」とよくいわれるが，その場合の社会とは，一体どういう社会をさしているのだろうか。建築の社会なのか，経済の社会なのか。生活環境を含む人間社会か。あるいは文明社会か工業社会か……といった疑問がでてくる。また，大きく，軍国主義社会か民主々義社会か，といった論もだされる。

大正6年，日本建築協会が誕生したとき，その創設者たちは「文明的施設の刻下急要の問題にして荀くも建築に関連せるものは，凡てこれが研究調査をなし，これを社会に発表して啓蒙の位置に立たんと期す。」といった。その社会的啓蒙とはどういうことか。当時，片岡安氏は「建築と経済観」と題してつぎのようにいっている。

「要するに，時代の建築は，その当時における国民の生活状態と恒に並行すべきものなれば，現時のごとき経済活動の劇しき時代には，凡ての建築がその経済的組織とまったく相一致して発展するの運命を有つのは，敢え怪しむにたらぬ。のみならず今後ここに建築の経済関係は漸次にその色彩の濃厚ならんとするのである。故にわが国都市のごとく，過渡時代を経て今やその改造時期に迫れる処にては，ことさらにこの傾向を看取して，これが建設計画を樹て，その将来の発展に齟齬を来すがごときことなきように深く慮らねばならぬ。吾人の恒に憂うる処は，従来わが国の建築が一般に社会より軽視され，粗漫なる素人観の下に盲従する技術家に倚りて経営されたる不合理なる状態である。もし，今後なおその状態を脱することを得ざれば，わが国の文明なるものも，所詮は，過渡時代の鵺的形相より転化させることはできないのである。わが国現時の状態は，あらゆる方面に一大革新を要するけれども，都市建築に関する社会一般の思想を向上せしむることは，蓋し，最大急務の一たるを喪わない。」

すなわち，「粗漫なる素人観の下に盲従する技術家」による建築を排して，世界文明の流れに沿うた「科学的に組織ある文明都市の建設」をするために，建築技術者は一致して社会的啓蒙活動をすることだということが，その当時のエリート建築家たちの主張だったといえる。いわば，その社会とは，文明都市社会だったということができる。

大正期の，日本建築界の興隆期にあった社会的状態を考えると，こういった主張はまったく時代の機運にかなったものだった。ところが，昭和になって，軍国主義の様相をおびた反動社会に入ったときでも，一部の建築家をのぞいて，エリート建築家たちはその軍国主義に抵抗を示さないばかりか，むしろすすんで，都市武装や防火都市の建設など，その軍国主義社会に協力するのである。この例証は，ここではとりあげないけれど，当時の諸雑誌をみれば，いくらでもあげることができる。

なぜこのようなことが起るのか，社会の流動に順応して自らの主体性をくずしてしまうのか。なぜ反動権力の風向きに従属してしまうのであろうか。

建築家の社会認識が問われるのはここである。どういう社会に，誰れのための社会に貢献しているのか，はっきりさせることが大切だからである。

われわれは，決してファシズムの社会でなく，真に民主々義の社会を望んでいる。この点の認識が第一であり，これは思想である。「イデオロギーの終焉」などといってごまかすことのできない性質のものである。この認識の上にたって，生活環境を含む人間社会に貢献するものでありたい。

この社会の認識は，建築技術者の主体性の確立ということと無縁なのであろうか。決してそうではない。これは思想の問題とかかわりあっている。このさい，思想とは，単に社会思想という意味だけでない。また建築の機能や造型面だけの思想でもない。それは，社会の発展法則を身につけ，それを空間の創造活動や建築生産を含む建築活動とその理論までに適用された思想なのである。

1-2 建築運動と建築理論と関連して

過去の建築運動は，多かれ少なかれ，この思想にのっとって続けられてきた。というものの，体制側の反動的な権力に対して強い抵抗を示すだけの力量と社会的背景はなかったし，また明日をになう民衆の側にたっての運動として実っていかなかった。ある面では，その建築運動の主張は開花したり，ある面では不発に終ってしまったりしているが，歴史的社会の認識という点で，その過程は，われわれに貴重な教訓を示している。

戦後，「人民のための建築とは何か」の論争にはじまって，いくつかの建築運動が展開されてきた。人民→民衆→人間をめぐって論争が活発になされてきた。そして，こんにち，「ゲリラ的再開発」が建築運動の中心にすえられるべきだという論

や，空間創造の論理と連帯した運動が必要だとの論もある。しかし，ここで考えねばならぬことは，日本の現代建築はどの方向に向いているのかということである。つまり建築理論の再評価である。これは，現在，近代主義の本質はどこにあり，その変貌過程においてどういう様相をとってきたか。それは本当に建築学を全面的に発展させたのか。それとも建築学における「建築」の不在や建築技術者の部品化をもたらしたのではないか，とかかわりあっている。造型における歪み，創造力の減衰，商業主義の支配，マスコミ文化にのったスター主義建築，未来学派的発想によるロマンチシズムの虚妄等々……そうじていえば，建築学における腐敗現象をどう評価し，そのなかから新らしい建築理論をどううちたてて実践活動をするかである。

新らしい型のファシズムの抬頭の危険はあらわれている。現代建築の最近の腐敗現象はこれと無縁でないと思う。ここでは，腐敗現象と対決して，新らしい建築科学と空間の論理にもとづいた建築運動がまたれるところであると指摘するだけにとめたい。

Ⅱ 建築と社会との接点の多様性

2-1 集団と集団との関係

社会とは，もともと，人と人との関係，人と集団との関係，集団と集団との関係をさしている。それでは，これらの諸関係は，建築活動——とくに建築の生産活動——とどう結びついているのか。

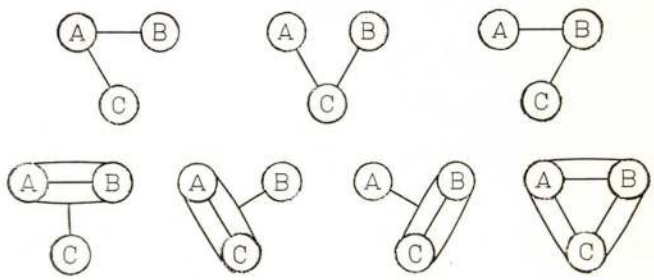
第1図をみていただきたい。施主——設計者——施工者という三者の間の，人と人との関係，人と集団との関係，集団と集団との関係を示したものであり，もっとも単純化した図式である。人と人との図式のもっとも単的にあらわれる建築生産形態は個人住宅である。人と集団との図式では，通常の建築物が対応する。しかし，こんにちの工業社会では，三番目の集団と集団との関係が支配的となりつつあり，建築空間，あるいは地域空間形成にもっとも対応するものである。

しかも，この集団と集団との関係には，さらに，第2図のように，企業体と設計組織との包合，あるいは企業体と施工組織との結合，設計組織と施工組織との結合，および企業体と設計組織，施工組織全部一体となった型も考えられる。これらは，また第3図のように複数の型をとってあらわれる。これは，とくに都市空間や地域空間の形成における集団と集団との関係に対応される，ということができる。

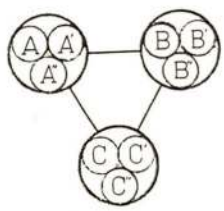
しかしながら，ここで考えねばならぬことは，建築空間・都市空間・地域空間をつくるなかで大切な要素を占めてきたのは，以上の三者のほかに，使用者＝大衆＝地域住民の要求する空間のことである。したがって，A＝施主（企業体），B＝設計者（設計組織），C＝施工者（施工組織）のほかに，D＝使用者



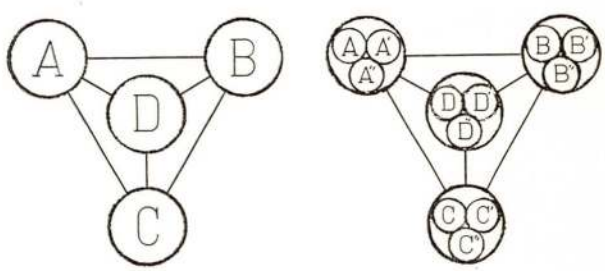
第1図 三者の相互関係



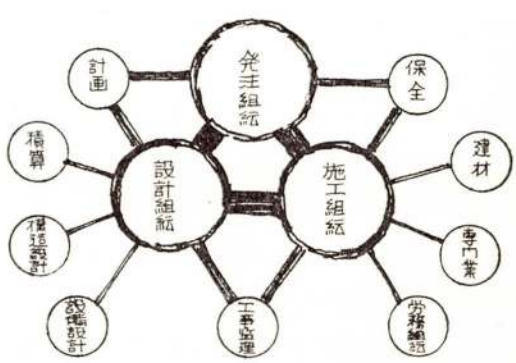
第2図 集団と集団との関係の変形



第3図 集団と集団との関係の複層化
（これがまた第2図のような変形に展開される）



第4図 使用者＝地域住民との結びつき
（この図式がまた第2図のような変形に展開される）



第5図 建築生産の流れにおける各職能の関係図

（大衆，地域住民）を，この図式に登場させなければ，現実の空間形成の要求からずれることになることはいうまでもない。とすれば，第4図のごとき図式となる。

こんにち，Dを含めた集団と集団との関係の解明は日ましに重要になってきている。とくに地域開発の面ではそうである。B＝設計組織にとって，A＝企業体のポリシーの解明もさることながら，D＝地域住民の要求をどうとらえるかは，欠くことのできないものとなってきている。

2-2　建築生産の流れと社会的接点

つぎに，建築生産の流れのなかで，建築と社会との接点はどこに現われてくるのかをみてみたい。

まず，一般的にいって，ある一定の社会組織があって，そこに社会集団が住み，生活し，生産・消費が行なわれているわけだが，その社会生活の発展に応じて，新らしい建築空間の要求がでてくるのは当然のことである。そこに，企画が生まれ，ついで設計行為，施工行為が行なわれ，建築空間獲得後には管理という一連のプロセス――これを建築生産の流れというわけだが――をもつわけであるが，そのプロセスの諸段階と社会生活構造の諸側面とによって，建築と社会との接点はちがってくる。（社会生活構造と建築空間との関係については後章でふれる）

たとえば，発注者（施主）の種別（官公庁か民間の大企業か中小企業か等々――），設計者の種別（官庁営繕か民間事務所か等々――），施工者の種別（総合か専門か等々――）に応じて異った形態があろうし，また住宅とか工場とかビルとかの建物種別に応じて，その接点はちがった様相をおびてくる。さらに，ひとつの部屋といった最小空間から，群建築，あるいは地域空間といった空間の諸階位において，その接点もいくつかの段階が考えられるわけだ。高密度社会になればなるほど，その接点はより多様化し，分解されてくるだろう。企画の段階で，発注者の要求を具体化するために，コンサルタントとして，あるいは計画者としての役割が最近強くなってきていることなど，そのひとつの例である。

一方，社会生活および技術の高度化にともない，建築生産の流れの内部でも，専門化とともに新らしい職能がふえてきている。計画という職能のほかに，構造設計，設備設計，積算，工事管理，保全といった職能の分化が進んでいるのは周知のところである。また施工段階において，建材界，建設機械界，労務者組織との関係が多層化してくる（第5図）。このような建築生産の流れの環のなかでの社会との接点については，新らしい建築生産論，または建築組織論の展開にまつところが多いが，この点の説明は後日にゆずりたい。

2-3　接点における矛盾の指摘

このように，建築生産の流れのなかのそれぞれの職域と職能の分野で，社会的接点が強調されねばならぬが，そのさい，よくいわれる社会的責任ということに，一言ふれてみたい。

建築家の社会的責任という場合，通常，施主に対する責任をいっていることが多い。良い建築作品をつくること，施主の企業ポリシーをよくつかみ，それを設計に生かすこと，設計に対する保償制度＝保険制度を確立して，設計過失に責任をもつことなどがよくいわれる。が，これだけで充分であろうか。施主という面だけのつながりを強調するあまり，そのほかの集団と集団との関係を忘れてはいけない。建築活動では，地域住民の要求に応えているか，社会生活構造との関連において問題を追求しているかが問題であり，それを忘れた計画・設計は，本当の社会的責任を果したとはいいがたい。企業ポリシー＝社会的責任は必ずしも成立しないからである。それが単的にあらわれているのが，こんにちの大気汚染，騒音，交通などの公害問題であり，衛生，水質汚濁などの環境悪化であり，都市美観のアンバランスである。

これらは，建築と社会の接点における矛盾のあらわれであるといえる。われわれは，この接点の多様な型態を知るとともに，そこにあらわれる矛盾の姿を指摘し，施主に対しても，地域住民に対しても，それを知らせ是正させる責任もあると思うのである。

Ⅲ　社会生活構造と建築空間

3-1　生産と建築空間との関係

建築空間，それが物理的物質の構成物であるかぎり，その形成は，生産活動のなかから生みだされるのはいうまでもない。

しかし，それは単一対応的に生産活動に律せられるのではない。むしろ，人間の社会的生活および社会的生活の指向する意思が，生産活動を制御して建築空間をつくりだしていると考えられる。

生産活動とは，ほんらい，無機物的性質のみを有するものであり，それ自身で建築空間の構成過程や型の決定に関与し，規制しうる（有機物的）意思は有しないものである。

したがって，建築空間の構成過程や型の決定を考える場合，単に生産―建築の関係ではなく，生産―社会生活―建築という正しい関係から把握しなければならない。

3-2　社会生活構造

社会生活構造の第1の主側面は，社会的・経済的・政治的条件を土台とする階級的構造である。ひとつの社会のなかで，どのような歴史的必然によって，階級そのものが存在するようになったのか。それぞれの階級は，どのような時間的経過にしたがって，分化・固定化し，また中間層を含めた諸階層に分かれてきたか。階級間または階層間相互には，接触・交流・対立・摩擦・抗争があるのかないのか etc……

社会生活構造の第2の主側面は，気候・景観・資源等によっ

てかもしだされる自然・風土的条件と，これらを基盤として思想・芸術・宗教・伝統等を総合的に結露させた文化的条件とを土台とする民族的構造である。民族の先天的・後天的特性が，それぞれ彼らの定着する自然で，変化ある文化をつくりだす。

社会生活構造のなかで，これらの側面が，その社会が要求すべき建築空間を意思決定する。生産力からの〝入力〟を得れば，社会生活構造体が建築空間を，具体的形態にととのえて〝出力〟すると考えられるのである。

集約して表現すれば，われわれが見聞する建築空間の諸相は，生産（技術的）水準と社会的生活構造の多様なパターンの組合せなのである。近似の条件があれば，地理的には遠隔であっても，類似の建築空間が存在したり，逆に，条件が激変すれば建築空間も突然変異したりするのも，この理由により説明可能となろう。

さらに建築空間は，その空間を要求する主体（社会集団）の位階とも対応して，それぞれの位階に応じた空間が構成されるから，パターンの組合せは，まったく多種多様に展開されてゆくのである。

3-3　パターン解明への課題

かかる多種多様な展開は，つぎのような詳細的研究によって，さらに明確になるだろう。

まず，社会生活のなかでの個人的生活と集団的生活との関係の研究である。体制維持のメカニズムとも連関するのであるが，生活の将来をどう指向し，実行してゆくかによって，建築空間の要求像は決定されよう。

具体的には，たとえば，住宅所有の考えかた，間取りの取扱いかた，耐久消費材の充足のされかた，家族関係のありかた，子供の社会のなかでの教育のされかた，おとなの社会教育のありかた etc……これらは，単なる生産水準の上昇による社会生活の変化と混同されてはならないのである。

つぎに，要求が実現にむかってゆくメカニズムの研究である。個々の建築要求が，あるものは個人解決的に意思化され，あるものは運動主体のなかで集団の意思として純化発展され，それが生産力を制御して建築空間へと構成してゆくが，その過程で，促進する条件ならびに障害する条件はなにか。たとえば，権利意識としての住意識が居住空間の形成にどう影響してゆくかの研究は，要求実現の高効率化にとっても大切である。広義の「住宅生産の工業化」問題の研究は，この点において，重要なケーススタディであると評価されるのである。

3-4　建築空間と建築技術者の役割

われわれは，社会生活の既存条件の統合が，生活意識へと展開し，そこから，あすの社会が進展することを，うかがい知っている。その意味から，社会・文化一般におよぶ現状の均一化・画一化現象は，運動主体（反体制）側からの意思によるものでないことに注目し，〝一億総画一化体制〟への無批判な従属は避けなければならない。

さらに，アクロバット的な反画一行動（形態的には画一的ではなく，むしろ珍奇であるが，本質的には画一の範疇から脱しえないもの）は厳しく戒めなければならない。形態だけの斬新を求めて，社会生活のされかたをあとでとりつくろうような建築〝創造〟姿勢は批判されるべきである。アイロバット主義者の発言・行動は，量としては小さく，また，実現性を有しないものもあるにもかかわらず，社会にたいして大きく影響し，現実逃避〜責任回避のムードをまき散らすからなのである。

社会生活構造と建築空間の関係を正しく把握し，社会に責任ある貢献をすること，これが，われわれ建築技術者に課せられたひとつの大きな役割なのである。

3-5　経済空間と地域空間

以上，社会生活構造と建築空間との関係についてのべてきたが，ここで，ひとことつけ加えたいのは，建築空間が地域空間として把握されねばならぬときには，社会生活構造との関連のほかに，その背後にある「経済空間」との関係について，正しい把握をしておくことである。

この経済空間は，すでに欧米において，地域経済学の分野において，用いられている概念であるが，これは三つの概念により構成される。すなわち，第一に，同質空間または均等空間，第二に，分極空間または結節空間，第三に計画空間である。同質空間とは，類似の同質地域（たとえば農業的地域や同じ所得水準の地域）に対応し，分極空間は，都市をひとつの極とする相互依存の地域に対応する。いわば分極空間は，財，サービスの交換の行なわれる空間であり，同質空間の均一な自給自足的空間でない。商工業の行なわれる都市圏という地域に対応するといえよう。これら二つの空間に対して，計画空間とは，定められた目標に従って開発されていく地域に対応する。いわば，将来の予測計画をもった地域空間といえる。

この三つの経済空間と地域空間との関係を一応こころえておかねばならないと思う。これは，こんにちの交通問題や流通問題との関連を知る上に有効だからである。ただし，経済空間が，独占企業の地域進出，政府の総合開発や新産都市建設と関連して，「地域開発」の名のもとに利用され，地域空間として具象化されているものの，そのことが，現体制のもとでは，都市化問題，交通禍，公害，生活環境悪化の問題などかずかずの矛盾をうみだし，地域住民不在の空間形成となっていることも見逃してはなるまい。

われわれは，経済空間――地域空間という関係を，地域住民の立場に立って，地域要求とそれを実現するための民主的な地方自治の確立と関連させて，正しく把握していかねばならない。つぎに，それでは，地域要求と建築空間との関係についてみてみたい。

Ⅳ 地域要求と建築空間

4-1 地域住民と地域要求

われわれが地域住民の建築要求を検討するとき，まず問題となるのは〝地域（社会）〟をどう把えるかであろう。

たとえば，生態学的な把えかたがある。この立場によれば，地域の構成を単純化し，分析を容易にしようとする。しかし，この方法は，現代社会とは異質な（次元が低いだけでなくて）未開社会にモデルを求めようとして，論理のすりかえにおちいるおそれがある。

また，地域を機能主義的に把えようとする試みがある。しかし，この方法も，その地域に属する人間の要求を機能性に即して構成しようとするため，地域の有機的・立体的構造，あるいは歴史的経過にもとづく必然性を見おとす可能性がある。

いずれにせよ，これらは地域内部における，もしくは他の地域との相関・相互依存を統合側面的に重視して，表面的に観察するにとどめるのあまり，その地域（社会）が内部的・外部的に保有している要因によって，それ自身が動的に変化しようとする解体的側面を軽視しようとしている。

くりかえしていえば，地域社会のメカニズムそのものの欠陥，技術的な問題点および疎外された人間（集団）などを病理的にのみ追求しようとする傾向を強調して，地域住民を小市民的現状享受の方向に誘導しようとする傾向。〝大衆〟とは，ほんらい受動的・情動的であり，体制の構成部分であるべきだと規定づける傾向 etc……があるということである。

したがって，これらの傾向のなかで地域社会をみつめるかぎり，地縁的・血縁的・機能的その他もろもろの契機をもって形成されている集団は，体制内の組織として編入され，その結果，必須の地域要求すら埋没させられよう。

形成の契機のいかんを問わず，集団には，それぞれの基盤・構成員・主張・力量などに応じて，それらの具体的表現としての「要求」をもっているはずである。もし要求をもたない集団があるとすれば，それは体制の意図にそうかたちで，要求が潜在化・埋没化されていると解すべきであろう。

それでは，これら諸集団の諸要求のほとんどが，なぜ具現化しないのだろうか。そして，具現化した稀有な要求例は，どのような経過をもっているのか。この問題を解明するために，地域開発—地方自治の現状を看過することはできない。

4-2 生活基盤と地方自治

「…地方住民の日常生活の面をみれば，地方税は高いが，安い公営住宅は少なく，工場公害，都市公害のため，生活環境は騒音と汚染で急激に悪化しつつある。道路を歩くのに危険であり，学校は教育するのに施設が老朽しており，要生活保護者は保護の期待を裏切られる。

しかし，他面，地域開発，工場誘致のためには，工場敷地の造成，水道，下水道の建設，道路，港湾施設の整備などに，地方債を起こしてまで，地方税や国庫補助金など多額の経費がつぎこまれた。現在，地方行財政は，住民の生活基盤よりも，大企業の産業基盤の整備に重点を指向している。……」（中央と地方・杉村敏正・1967年3月1日・朝日新聞）

この指摘のとおり，明治産業革命いらい，わが国の歴史は，生活基盤を犠牲にした〝先進工業国への道〟の歴史であった。この間，国権主義的・中央集権的（政策遂行上，明治新政府はドイツ系法体系を移入し，ドイツ的自治理論も移入したのだろうか）政治体系は，根強く地方に浸透していった。

今次大戦に敗戦して，われわれが，天下り的ではあったが，得たものは，英米式地方自治意識であった。しかしながら，「民主主義の小学校」といわれるこの貴重な地方自治意識も，定着する時間を与えられないうちに「行過ぎ是正」されてしまった。土着的・伝統的土壌の温存（わかりやすくいえば，地方自治について有力に発言しうる階層の不変動—継承）も自治意識の旧態への復原を容易ならしめたようである。

それだけでなく，1955年以降，現代社会体制における「地方自治」「地域」の意義の変貌は，さらにはげしいものとなった。

4-3 地域の変貌と地方自治

現体制下における技術革新の波は，企業規模のより増強・独占のより進行・資本と国家権力とのより結合をうながし，国内段階はもとより，超国境段階のスケールまで，その領域を拡大した。

このことが，これまで，個々特殊的・自己完結的であった地域の性格を喪失させ，地方性を破壊した。

均質化過程の進行（くわしく表現すれば，現状の段階では稠密的ではなく，等質的なものの拠点的・対応的配置）は，いわゆる「過密過疎」現象をひきおこした。そして，拠点地域とその周辺地域との格差の拡大，地域連帯感の分断，地方の中央への依存へという内的要因は，農村の地方中小都市への従属・中小都市の過大都市への併呑を外面化した。

このほうが，地方自治体・地域住民ぐるみで独占企業へ貢献させるより有利な手段と判断されたのであろう。

不可避な側面をもつとはいえ，広域行政は，さらに進行されようし，広域行政化により地域住民と地方自治体との断層はより大きくひらこう。こうなれば，地域住民の意思にもとづく住民のための自治は，全面的に後退せざるを得ない。ここに，地域住民からの地域要求具現化の困難性が感覚されるのである。しかしこれでよいのだろうか。

4-4 地域要求の組織化

われわれ建築技術者は，建築そのものが生産される過程において，社会と建築のつながりかたを正しく把握することは当然の義務である。しかし，そこにとどまらず，建築空間や地域空間が地域住民から要求される過程においても，社会と建築との

望ましい結節がはかれるよう，努力しなければならない。

地域運動を〝習慣的〟な反対運動から脱皮させ，要求運動へともりたてなければならない。

地域住民の意識の底から，地域の建築要求を顕在化させ，住民運動として組織化するのは，おおむね，政治家の責任と思料されようが，地域要求をうまく誘導し，具体的な要求として集団のよりどころとなるだけの建築技術的裏づけは，あきらかに建築技術者に課せられた，そして怠ることの許されない義務であろう。

地域には，もろもろの既存組織がある。自然発生的な土着集団，一律規制的な官製集団，意識構成的な任意集団 etc……これらのほとんどは，体制補強のメカニズムとしての役割をはたしてきた。だが，運動の側からの逆組織化は可能である。生ワクチン要求を機会に活性化した婦人団体，高校全員入学を求めて大同団結したＰＴＡ協議会，じんあい焼却場設置反対に立ちあがった日赤奉仕団 etc……既製の団体が，運動の母体となりうることは実証されているのである。

むしろ，注意すべきは，地域住民の当初の要求フォームをすりかえさせないことである。また，既成の地域組織は，がんらい上意下達を体験した〝両刀の剣〟であるから，上からの押しつけをつねに〝自発的〟住民要求であるとの幻想におちいることは警戒しなければならない。

なお，以上の既存組織以外に民主的社会集団があり，地域政策（地域要求）をもって斗っている。たとえば「ポストの数ほど保育所を」の要求を含めた地域政策をつくりだしつつある。

われわれは，より多面的に，より多包含的に地域要求の組織化と地域政策の建築的形象化につとめなければならない。民主的な社会集団の統一行動から民主的な地方自治政治の確立過程へという展望をふまえて，広範囲な支持を得て，建築活動をすることが，地域住民の建築要求の具現化をより確実にする方法だと考えられるのである。

Ⅴ　新らしい「地域の計画科学」

5-1　地域の計画科学の起点

われわれは，本稿で〝社会と建築のつながり〟についての解明を試みてきた。

しかし，各視点における解明は，断片的であり，問題点の存在を知る程度にとどまった。したがって，これら断片的解明は，本稿の段階では集約しても，総合性をそなえるものではなく，将来にわたる研究の積みかさねの必要性が認識された。そして，問題の本格的解明のために，新らしい「地域の計画科学」の確立が要請されている。

地理学におけるひとつの定義によれば，地域とは「ひとつ，またはそれ以上の特質について同質性ないし斉一性が存する境域内の区域」であるという。

しかしながら，古典的といえるこの定義のもとに，現代における国土は，地域と他の地域とに特定できるであろうか。否である。われわれは，いま，想起するままに数個の現象を例にとるだけで，「地域」が地理学の範疇にとどまらず，地域は相互に依存し，交流し，分業していることに気づく。すなわち，地域とは，もはや単一の分野の科学では扱いうるものではなく，社会科学・人文科学・自然科学各分野の科学者の協働により，はじめて扱いうるものに変貌しているのである。

そこで，われわれは，戦後のわが国における「地域開発」の略史をたどりながら，地域というものの変貌を浮彫りにして，問題のありかを指摘し，もって「地域の計画科学」の起点を示唆していきたい。地域科学（リージョナル・サイエンス）は第二次大戦後，欧米で研究されはじめたものであるが，その直輸入でなくて，日本の風土的条件，社会的条件，歴史的条件，生活構造にあった「地域の計画科学」として発展させねばならない。

5-2　戦後わが国の地域開発

わが国の経済を，戦後の低迷混乱から蘇生させた重大な契機は，朝鮮戦争とそれによる特需であった。おごそかなる独占の復活――そして1950年代後期の「高度成長期」への突入――この時期は，即効的経済効果が企図されたため，成長業種が市場立地性向を示し，既存の大都市周辺に工業が付加集中された。それに伴う２次３次産業の大都市への集中，いわゆる地域較差の拡大，大平洋ベルト地帯の形成の時期であった。

しかし，1960年代の前半には，大都市周辺の地価高騰，（未開発地域に比較しての）都市労働賃金の上昇等も原因して，「地域較差是正」の反省期にはいった。

「全国総合開発計画」（1961），「低開発地域工業開発促進法」（1961），「新産業都市建設促進法」（1962）これら一連の政策遂行の結果は，おおむね重化学工業と鉄鋼に偏した金融系列別の重複投資であった。

各企業は，企業利益を優先するのあまり，シエアー競争にうつつをぬかし，〝地域開発と地域利益との非連関性〟を露呈させた。「国土利用のあるべき姿」の柔躙が，いみじくも，地域科学の発揚をうながしたのだといえよう。

最近になって，ようやく企業（工業）誘致が，地域利益とは無関係であり，むしろ地方自治体の行財政を圧迫するものと知られてきたが，新産業都市ブームの時期にあっては，企業誘致こそが地域の繁栄につながるものとして，地域開発案（地方計画）が競って策定された。

しかも，これらは，自己完結的な経済循環を幻想していた。属地主義計算の生産所得と，属人主義計算の分配所得との間の乖離が，当然具体的事実として眼前に出現するであろうことを，バラ色の夢が隠蔽していた。

原料は海から搬入され，製品は鉄道で直接搬出され，地元関

連産業は育たず，労働力の地元調達も少く，法人税は本社所在地で，固定資産税は3～5年の減免，まき散らすのは公害だけという公式的実例が，各地で地域住民に実感された。

このことは，新産業都市の総花的指定とあいまって，地域政策の実質的不在化（たとえば全国総合開発計画の拘束の喪失）へと進展するのであった。

5-3　地域の変質・広域化

きようの地域は，きのうの地域ではない。社会・経済機構の急速な高度化は，地域を特化し，分業化した。概観すれば，等質的なものの拠点的・対応的配置を核とする地域構成であっても，内容的に精査すれば，各地域にそれぞれ異質の（その地域の特性に対応した）性格をもつものなのである。

このほかに，地域規模の拡大化，自己非完結性化の傾向がある。技術革新時代のこんにち，「地域」が府県境界のカベを突き破ったのは事実である。しかし，これをとらえて，明治期以来の行政区画を統合して，府県合併・道州制設置を唱えるのは早計ではなかろうか。反射的な単純論理は危険である。現在の条件のもとでの「広域行政化」は地方自治をより束縛し，中央集権化をより強化するのみであろう。民主的な地方自治の確立の上にたって，この広域行政の問題は考えられていくべきであろう。

このさい，現状分析にとどまらず，若干の展望を述べるならば，各地域は，全国土的視野にたつ合理的配分にもとづいて，地域の役割を予測し，規定づけたうえで，地域住民の民主的な発言・支持・協力によって，将来の地域が計画されるべきであろう。そこには，地域間落差を利用した潜在的地域エネルギーの掠奪はあり得ず，ゴクつぶし開発による国土の荒廃化も防止の方向にむかうであろう。このためにも総合された科学として「地域の計画科学」の理論的裏づけが必要である。

5-4　地域の計画科学と建築技術者

最近，建築家は都市づいているといわれている。事実，その方面でマスコミうけしている建築家も数多い。だが，建築そのものの累年的大規模化をもって，都市問題に関与する発想は誤りであろう。

そうではなく，建築空間が社会から要求され，創造されてゆく過程で，都市問題・地域問題（社会的・経済的諸問題の葛藤）が無視しえない問題であるゆえに，われわれ建築技術者は，それらの問題に関与するのである。建築技術者が関与できない段階で，決定された大綱の枠内だけにおける抵抗だけに終始するのではないという意味である。

したがって，単なる現勢延長論で合理論的裏づけのない未来像や，また，かといって，そうあるべきだという思想的主張でもない〝未来学派〟の提案の罪深さは，責められるべきであろう。

未来にことよせての現状維持主義，現実逃避のため〝科学〟尊重主義，機械文明（過大期待）没頭主義は，厳しく戒められるべきであろう。

このような発想や，先述の「地域開発」では建築空間・地域空間をよりよく地域住民の要求にこたえた空間にすることはできないと考える。われわれが，計画空間の科学としての「地域の計画科学」の必要性を提起するのも，「空間の論理」をよくつかみ，よりよき建築空間・地域空間形成に役立せたいからである。

地域要求とのつながりにおいて，われわれ建築技術者のやらなければならない役割はいろいろある。そのひとつとして，地域の将来像のプランニングにおいて，「極楽図」と「地獄絵」の提示は必要と考える。「極楽図」とは，地域の計画科学にもとづいた形象化であり構想計画である。また運動主体である地域住民の斗いとるべき目標である。これをよりよい地域空間にするための「プラス型のプランニング」といってもよい。これに反して，「地獄絵」とは，地域の計画科学の分析から指摘される矛盾の形象化であり，生活様式の変化や内容の多様化でとりつくろわれた新らしい型の窮乏の姿の形象化である。また支配階級のなすがままにまかせた場合の荒廃の極を示すものである。これを「マイナス型のプランニング」といってもよい。

われわれは，地域要求（および地域政策）を生きたものとするために，この両方のプランニングを勇気をもって，体制と対決する運動側や地域住民に提起する必要があると考えるものである。

Ⅵ　むすび

わたしたち新建築家集団は，「建築を社会の発展とそのつながりのなかで正しくつかもう」というひとつの綱領をもって活動している。今般〝社会と建築とのつながり〟を考えるにあたって，「社会と建築特別部会」をもって，社会の認識，建築と社会との接点，社会生活構造と建築空間，地域要求と建築空間，新らしい「地域の計画科学」の問題について討論してきた。まだまだ本格的なものでなく，建築と社会との接点や建築創造の論理，空間の論理についてもつっこんで言及することもできなかったし，時間的余裕もないままに〝中間的なまとめ〟にならざるをえなかったことを残念に思っている。

しかし，わたしたちは，明日の明るい社会をめざして，地域住民のための建築空間をつくりだしたいとねがっている。それだけに，最近の国土の荒廃化に反対して，住みよい都市や地域を建設するための，新らしい「地域の計画科学」を，建築科学，土木科学，社会科学，地域科学などの専門科学者と地域住民との協同総合的な交流によって，うちたてたいと強く念願するものである。

なお，本稿の討論に参加した人は，岩本尚三，上村一，川下晃正，畑中成雄，広原盛明，松井昭光，三輪泰司，向井正也，蓮仏亨（50音順・敬称略）で，そのまとめを，松井と岩本が分担したものである。もちろん文責はこの両者にある。

アンケート
わが日本建築協会の将来のビジョン

わが日本建築協会は本年をもちまして50周年を迎えることになりました。創立当初の「建築を通じて社会に貢献する」という精神のもとに、建築界のあらゆる分野の人々を包含して、一般社会に対しても、あるいは建築界に対しても働きかけてまいりました。しかしながらご承知のように経済、社会の発展や建築界の発展にともない、いろいろな条件がいちじるしく変化し、発展成長をとげようとする時代に対処して、わが日本建築協会も大きく脱皮発展しなければなりません。そのために日本建築協会はどういう方向に活動すべきか、そのためにはどういう会員構成なり組織が必要であるか、あるいは社会に対して貢献するという精神をいかすにはどうすればよいか……等々のビジョンを考えることが大切になってまいりました。

アンケート　わが日本建築協会の将来のビジョン

・将来の時期は約10年～20年後の姿を想定して下されば一番妥当ですが、時期はこだわらなくても結構です。
・内容は対社会的活動のあり方、会員構成、組織のあり方、対建築界活動のあり方……等、自由におかき下さい。
・個人的意見でも、あるいは会員グループで討議された意見でもさしつかえありません。

字　数　800字ていど

上記アンケートを、会勢委員会委員、会員グループ世話人、各支部長ら93名にお願いしたところ、別掲の18氏より原稿をいただきました。掲載に際しては、何らかのまとめをした上で掲載したいとも考えましたが、まだまとめという段階ではないので、順不同ですが、とりあえず、生のまま掲載して今后の参考資料としたいと思っています。ただ、見出し（表題）は編集の方でつけました。

1

ジュニア委員会とシニア委員会

安井建築設計事務所　山本純孝

関西には建築関係の団体が主なものでも六つもあり，それらがほぼ類似した活動を行なっており，また会員の顔ぶれもあまり違っていない状態である。しかし日本建築協会はこれらの中では建設，設計，学校，行政，電気，管工，建材など建築に関係のあるすべての部門から会員が参加している点，また建築の実務的な面に活動のウエイトがおかれている点が他の団体に対して特徴といえる。

今後建築協会が大きく発展してゆくためには従来からの特徴を極度に活用した方針で進むべきである。具体的な一つの提案としては委員の構成を年令的に２つの層に分割し，職歴10年前後のジュニア委員と各職場で指導的立場に在るシニア委員とを各部門から選出する。まずジュニア委員会は各自の職場や分野で遭遇している問題点を適出し一定のテーマのもとに問題の提起ないしは解決策の検討を行なう。次にシニア委員会はこれを受けとめて建築界の内部あるいは外部の一般社会に向って強力なアクションを起し解決を計る。建築界の各部門の内部に偏在している情報なり思想なりを鋭く交換検討し合う場であるジュニア委員会と，社会的に大きな行動力を持ったシニア委員会との２つの歯車がうまく噛み合ってゆくことによってわれわれの目の前にある問題の幾つかは解決されることであらう。建築法規の改正，建築科学生の教育の問題，施工設備材料に関する新技術の開発，建設産業の合理化など一個人はおろか一企業体でも容易に処理できない問題を建築協会のこのような機能的な組織が会員相互の利益のため，また一般社会の繁栄のため一歩一歩解決に導いてゆくときに，同時に協会の飛躍的な発展も実現されるのではないだらうか。

2

社会の要求に応じられる日本建築協会技術BANKの提案

兵庫県庁　猪沢徳忠

「社会が私共に何を要求し，何をしてくれるのか」を問う前に私ども日本建築協会の会員一人一人が自分は社会に対しどのようなことができるかを謙虚に考えたいと思う。

現代社会は非常に専業化し分業化してきているので，私ども（建築に関係する総ての専門家を総称して）に対する社会の要求に専門化された内容を極めて適切に提供せねばならぬでしょう。幸い日本建築協会の「建築を通じて社会の要求に貢献する」という創立精神と，「建設を通し連繋し，協力し合うあらゆる業種の綜合団体」という唯一の利点を生し社会の要求に応じられる日本建築協会にするために，私は「日本建築協会技術ＢＡＮＫ」を提唱する。

これは会員一人一人の最も得意とする技術を（各自が必ず持ち合せているものだ）日本建築協会技術ＢＡＮＫの口座に登録預金する。この登録預金された技術は各専門部別に分類され整理されていつでも引出しやすい形で保管されることです。これを協会会員の総意により次のように運営したいと思う。

(1) 技術共済制度　技術アップ経営合理化の技術診断経営診断などを依頼により行なう業務（有料）
(2) 技術の貯蔵，貸出，支出制度　技術のことならば協会にすべてが貯蔵収納されていていつでも閲覧，貸出支出できるような形態をとる（有料）
(3) 新技術開発センター　有能な技術者が会員にあれば研究費などを助成し保護する
(4) 技術教育センター　実務技術の教育を定期的に開催し青年建築家の育成をする

以上のような日本建築協会になることを，私は将来のビジョンとして考えています。

3

社会と人間環境の土壌の改良へ

国鉄大阪工事局建築課グループ　石川久男

私共のグループは，ほとんどの人が学会の方にも加入しておりますので，協会のビジョンという点についても，学会との対照において考えてみたいと思います。

学会の役割は，建築学の学術的ポテンシャルを高揚することであるという言により，ほぼ総括できるように思います。ところが，私共のように日常きわめて実際的な仕事をしておりますと，結局その現実にまきこまれ，技術的な勉強がおろそかになり，また勉強するにしてもバラバラの知識を詰めこむだけで，群盲が建築という巨大な家を撫でている感じがいたします。そのような私共にとって学会の活動や機関誌は，原理的，高踏的であっていささか隔靴掻痒の感を免れ得ないのであります。協会に望むことは，このギャップを埋めてゆく活動を行なって欲しいということであります。建築界全体の動向を伝えることと発展してゆく建築技術を一度バラバラにして，それに肉付けを与えて提示するという触媒のような働きを行なって欲しいと願っております。

また，私共のような組織に属しておりますと，現在の建築ジャーナリズムのあり方に関していささか不信の念を抱かずにはおられません。確かにピラミッドの頂点を高めるのは必要なことですが，建築において常に先行し，重大視されるのは，建築オンリー，現実ベッタリの商業主義の観点であり，現実の社会との関りという点はほとんど考えられていないように思われます。万国博の計画段階においても，地につかない建築関係者の独走ぶりが伝えられています。バラ色の雲を追ってそれを実現していくことは必要なことであり，結構なことでありますが，残念ながら，現状では一般の人々は建築というものをそれほど重要視しているようには思われません。〝衣食住〟の言葉のごとく，〝住〟とは確かに不可欠の要素でありますが，それだけに低次のものでも間に合せがきくと

いう面をもっているように思います。戦時中にバラック小屋で菜っぱ入りの雑炊を喜んで食べたように。

社会および人間の環境の構成ということが，建築の根源的な意味である以上，社会との関連はきわめて密接なものであり，建築は社会という土壌に咲く花にたとえることができるように思います。美しく大きな花を咲かせるためには，土壌を改良してゆかなければなりません。協会の果すべき役割は，美しい花を突然変異によって作ることではなく，土壌改良という地道な面において作るという活動にあると思います。現在にせよ，将来にせよ，協会に対して期待することは，このように建築を人間活動の総体の一環であるという観点に立って，社会を，そして私共を啓発してゆくこと，建築界の動向を広く内外に伝えてほしいということであります。

こうした基本的な姿勢が定まっている以上，ビジョンもおのずから明かになってくることと思います。いささかアンケートの主旨に添わない面もありますが，協会のあり方という点から，現在の注文と将来の展望めいたものを書いてみた次第である。

4

建築の社会的使命—生活空間の創造

日本住宅公団大阪支所会員グループ　島村　昇・山根　勝利

「建築を通じて社会に貢献する」という当協会発足の精神は50周年を迎えた今日，あらためて認識しなおさねばならない非常に重要な時期にきている。

明治100年といわれる今日，当日本建築協会はその半分の年月を日本社会の発展と歩みをともにしてきた。つねに「建築を通じて社会に貢献する」という精神のもとに。そして，この貢献の集積が社会にどのような働きかけをしてきたかを今一度，そして今それが社会に対してどのように作用しているか，将来どのようなものでなければならないかを，ふり返りみつめ考えねばならない。また，現代の「都市」はそれを強いるのである。これは建築家の社会的責務である。この社会的責務の上にたってこそ，真に社会への貢献ということがある。

将来のヴィジョンというものも，この社会のすすまねばならない方向においてしか存在しないし，またいかなる建築家の集まりも，この方向に向わねばならない。建築の社会への貢献とは，すなわち生産，消費を含めた人間の生活のための空間を創り出すことである。とすれば，建築の社会的使命は全国民的な視野にたって考えられねばならないものである。従来の意匠，構造，計画，施工などは主として単体の建築をとり扱い，その上での発展過程をたどってきた。そして，それはその限りでは社会に貢献してきたし，今後も貢献するだろう。しかし，これらの単体の建築が，いまではわれわれの生活空間にどのような作用をしているだろうか。今日の「都市問題」はこのような単体の建築の集合したところに生じている。これらの集合を「複合機能」というようなそうしょうでとらえているけれども，ただ諸機能の単体が集合しているにすぎないように思える。このようにしてわれわれはますます複雑化，拡大化するであろう都市空間を前にして，単一の建築がもはやそれ自体で自己完結的な存在としてはありえない社会性をおびていることに深く思いをいたさねばならない。

「工場」は生産の場であり，われわれの生活を豊かにするものであるという自明の理が現在ほど歪んだことはない。このような観点から都市とは，住宅とは，われわれの生活空間とは，どのようになければならないかなどの重大な問題についての検討，批判，活動の場であってこそ当協会の「社会への貢献」の精神が生きるものと信ずる。それ故に，このような検討，批判，活動の場としてだれもが自由に参加でき，発言でき，また活動でき，その中から真に国民のための建築が生れる基盤となることが将来のヴィジョンでなければならない。

まずは，ひろく一般会員の発言の場であるために誌面を開放し，自由な意見交換がおこなわれることを要望したい。

5

各団体の提案を共同で解決へ

大阪工大建築学教室会員グループ　山　本　耕　一　郎

「人の運命はその人自身の手にあり」といわれる。協会の将来は，協会自身即構成会員の各自の協会への関心の濃薄により，発展もし消滅寸前にもなりかねない。ところで現在は，たかが赤字を埋めるため，会員をむやみにふやそうと内外とも懸命であるが，己れの体裁をかまってとか，義理にとか云々のためでのみ会員が増しても，真に将来の発展に役立つであろうか。生めよ増せよとした事が，果して国のためになったであろうか。皮肉にも現在は生むな減せよ，である。もちろん，協会の場合無限に会員が増すとは考えられぬ，が，意志の通じあった，また，通じあえる人員で構成されている会ならば，人員の多少にかかわらず，発展もするであろうし，より価値ある存在となり得るであろう。むやみに人員数を増しても，必らずしも赤字解消になるとは限らぬ。正会員ではないが，会費滞納者が数の増加につれ多くなったという逆要素も生じる。

協会の発展を人海戦術でのみとするのは，余りにも考えがなさすぎる。協会がある意義は何か，これをハッキリいえる会員は恐らく少ないであろう。それは，協会と名がつきながら，協同して協力して協栄する会ではないからである。事業は，小は見学会から，大は海外視察，講演会など，すべて，天下りである。建築上の難点，雨仕舞，クラック，塗装剤の変色などがあっても，それを会員の共同で，解決しようとはしないのではないか。たとえば上記の難点など，コストさへ高くすれば解決できるといって，すましている輩は，「より安くより安全に」することを社会のためとは考えぬのだろうか。そうした異口同音に出た問題点は，各団体から出した代表者の討論，調査，研究により解決してゆくよう協会が，呼びかけ，援助し，発表してはどうだろうか。一社でなんでもできる巨大企業ならいざ知らず，協会に入っている限り，その研究に参加でき，その成果をひとしく使えるとあっては，少々の調査費とか，援助費とかの出費を惜しむ企業があるだろうか。従来のごとく，単に専門団体の研究，または，個人の研究の経過，結果を機関誌に載せているだけでは，他の会のそれと少しも変らず，そのような点では，他の会の方が，ずっと優れているのは明らかで，当然協会は色あせるに決っている。発展することは，対決して相手を倒す事ではなく，己れの行く道を然と定め，それに沿って着実に歩む事である。他人の人真似では，一向

に進まない。

提起された諸点は，一年二年で解決できなくとも，そこは，会員であるよしみ，気長く，励まし，10年でも20年でも続行させるだけの寛容さが必要である。当然，結果の良悪により喜怒哀楽すべきではない。協会の会員は，男であり，紳士であり，淑女であるなら，なにも呼びかけなくとも，門をたたく者，数多となるであろう。社会には，こうした形にて奉仕させていただくのが協会の真の姿と願いたい。

6

Architectural-Townのビジョン

大阪市交通局会員グループ　谷　山　昌　之

最新デザインの建築物が並ぶ交通至便で，閑静な郊外に落ちる日射しを一ぱいに受けた芝や木々の緑が，心身共に安らげてくれるこの地域には，日本建築協会の前進として注目をあびている Architectual-Town がある。このなかには，まず協会の一切の事務を行なう事務所をはじめとして，講議室，実験室，図書館，会誌の編集室，印刷室およびレクリェーション施設などが建ちならび，協会員のために開放されており，自由に使用できるようになっている。その他にも，一般市民のための建築コンサルタントもあるといったぐあいである。

講議室では，専門の講師の他に，権威ある大学教授などを招いて，ゼミナールをやり，実験室では建築材料の研究発明，業者からの依頼による材料実験や，力学テストが行なわれ，研究生や会員のために図書館，展示室もあり，より一層知識を深めようとしている。またそれらの他に雑誌，専門書物の発行のための編集室や印刷工場まである。このように建築に関するすべてを１カ所にあつめ，１つの画の作り，完備された設備と環境から，優秀な技術者を養成することを目標とし，一般社会への奉仕を目的としている。

私は将来の日本建築協会のビジョンを頭に描きながら，以上のことを考えてみた。これらはぜひ実現させてみたいものである。

7

社会と建築とのつながり

藤木工務店　H.　K.

〝建築するには莫大な金がいる。〟

〝莫大な金のある人は少ない。〟

〝だから建築できるのは特定の人達に限られる。〟

公団住宅への申込―入居資格に収入がみたない人も多い―それでも競争率はたいしたものだ。資格のない人達は民間住宅へ―質は悪く家賃は安くない。矛盾.

選挙ともなれば，我党は○万戸住宅建設をいたします。

―各政党はこぞって大同小異のスローガンを掲げている。まことに結構だが。―その実は公営による住宅△万戸（率―少）民間によるもの×万戸（率―大）それも多くの質の悪い民間住宅をも含んでのことで。

「建築と社会」は本会誌の表題と同時に建築家たちの社会へのつながりがある。社会の表通りには立派な建物が立ち並び，都市美を誇っている。しかし一転，目を裏通りに向ければ，終戦後20年余の現在，今なお過去にたいしてほとんど改善されたとは思えない質のよくない建物の多いことか。為政者にまつべき問題は大きい。とは別に私達は目をつぶっていていいだろうか。

建築家たちの中には，日当りのいいところばかりへ結びついてゆく人達だけではなく，これら質の悪いところに対しても目を向けようとする人達がもっと多くあっていいのではなかろうか。

何であれ未来の社会に夢を求め，空想を論ずることは楽しい。こと建築を社会に結びつけて未来を考えるとき，その夢もまたはてしない。が他方貧富のスケールをもって論ずるときに，統計的な平均値を求めうるだろうか。

私には何か背筋がつめたく感じられる。

8

協会の進むべき道は？

中国支部長　古　林　義　敦

ビジョンということになると，夢想とか空想になるので，実現可能な面でアンケートにお答えいたしたい。

現在協会は技術，綜合，管工，電気，建材の５部門からなる建築界の総合団体としての特質をもち，他にその例をみない会員組織で，横の緊密な連絡が保たれつつ成果が挙げられており今後も持続すべきであるが，さてどういう方向に活動すべきかについては，活動の対象となるべきものを考えねばなるまい。まず建築界への活動について観ると，全国22万数千人の建築士の内２級建築士が１級建築士数の3.7倍である点，および職業別において私の住む広島県では，１，２級ともに官公庁勤務者と設計業務に従事する者がほぼ同数であり，建設業関係者は１級においてその２倍であるが，２級にいたっては５倍近くを占めている。この数値上の実状からみて，事業の対象には建設業関係の２級建築士が筆頭であることを忘れてはならないし，この将来性をもつ２級建築士に魅力を与えなければ会勢はあがりにくいと思う。

また２級ということになると特例は別として青年層の建築家，将来に夢を抱き，今後の建築界を背負う運命を持つ者であるから，運営に当ってはこれらの希望，意慾を徴して満たしてやることに心掛け，他面運営の企画に参与する途を開くことである。これまでの各種団体の理事者は年令層からみて全体主義で育った高令の方が多く，かつ実力者，経験者ではあるが時代感覚が古い憾もある。新時代の者は民主性の尊重と相互の人格的対象を基礎とした物の考え方で繁栄を築くことに育てられている民主主義者であることを忘れては事業の成果はむつかしい。すなわち企画運営の若返りを策すべきである。

次は社会的活動のあり方であるが，上述の青年建築家は学術，技術を学園で育成される現況からみて，在学中の建築学徒に建築に対する意慾の高揚，希望の実現，また教養の体得において側面的な指導協力の道を講ずることによって，10年後，20年後におけるわれわれの後継者が誤のない建設の世界に進んでくれることと思う。なお，また社会的活動とい

えば範囲が広くなるけれども，その在り方については，社会とは共同生活をなす場所であり組織である点からみて，社会生活の熟語の示すごとく，生活に直結するものに重点を置くことも必要である。その生活とは労働と休養の循還であることから，労働は職場で，休養は住居でとるものだからあらゆる種類の建築が対象となるけれども，現在切実に要求されているものは生活安定の根拠地である住居であることに思いをいたさねばなるまい。従前の政治で経済は高度成長はしたが，人間が忘れられていた。ようやく最近にいたって社会開発の一環として住宅建設に本腰が入れられ，政治の重点施策に浮んで参り国民はほっとしているが，この住宅の建設とこれに伴う設備や関連する事項にこそ活動の方向を向け力をいたすべきではあるまいか。

労働力の不足特に熟練工の不足から来る賃金の高騰に対してはプレハブのごとき工期短縮の方法や耐災害の施工法，経済的安価な建築方法の研究や発表，さては能率の高度化された設備の衆知宣伝や啓蒙が望まれるし，また木材の払底から来るこれにかわるべき建築資材の研究と紹介が急務でもある。すなわち優れた品質で施工容易しかも価格低廉な建材の研究とその出現を対象とした理想的な構造と設備の革命こそ総合会員組織による協会員の使命であり，奉仕でもある。

かくてこそ定款第1条に示す建築を通じて広く社会に貢献するゆえんであると思うし，協会は時代の要請と国策の線にそって将来の進むべき方向を定めるべきである。

9

綜合のコミュニケーションの場

小坂井組　一井栄一

協会の将来の，ビジョンを考えるとき，私はやはり過去をふりかえって見ることも，無駄ではないと信ずるものである。50年という歴史の歩みのなかで，日本建築協会のはたした役割は大きい，50年といえば戦争をはさんで，戦前戦後と三等分できる。戦前に思いをよするならば，建築界は封建性代表者のような，様態の複雑な組織と仕組によって，構成されておったといっても過言ではない，そのなかで建築界綜合の寄りどころ，すなわちコミュニケーションの場として協会の発足したことは意義深いものであり，当時の先輩諸氏に深甚の意を表したい。

いまここにおもうに，戦前20年の協会積み重ねの歩みも，戦争突入によって本来の協会目的は，大きく変ぼうせざるを得なかった。もちろん建築界全体がそうであり，そうでなくては，生きていけなかった時代でもあった。

他の産業においても，協会，組合などの組織は軍の御用機関のような姿に変ぼうし，自主的なものから他動的な方向に向っていったのであるから，戦争約10年のブランクは，やむをえぬことであった。しかし反面この戦争を通じて（大きな犠牲のもとに）体験した建築界全体は敗戦をスタートとして，たとえアメリカ国の庇護のもととはいえ，大きく前進を始めたのである。

建築協会においても，戦前20年戦中10年(事変戦争を通じて)この約30年の歴史をふまえて，封建性から民主性へ，他動的から自主的にと，変りいく時代に即応しながら，多岐多様の面をもつこの建築界をどのようにして，横の連絡をとり，意志の疎通を計っていくか，協会としては，この点について一番苦慮されたのではなかったか。戦後5，6年は建築界の各面の動きを，ケース・バイ・ケースとして社会にむすびつける以外に，なかったのではないだろうか。協会の性格を新しく，樹立できるようになってきたのは，まだ日も浅いこの10年程の間ではなかろうか，それも戦後の苦しいなかを，この20年間協会確立のため，努力された役員並に分科会諸氏と建築界綜合の協力の賜であろうと感謝したい。さて本題の将来のビジョンとなると，浅学の私のことでむしろ諸兄のご意見に耳をかたむけたいものであるが，2，3意見を述べさせてもらうと。

オリンピック，万博を通じて，日本の建築が恐らく外国の人々の眼を一層高度に認識させ得ることは，明らかであろうと信じるものであって，今後外国との建築文化交流もさらに飛躍することになろう。行政指導としては建設省ならびに関係各省が当るであろうが，自主的には建築界全体が結集して建築日本を海外に，知らせなければならないと思う。それには日本建築協会を結集の場として，建築界の各分野の組織統一を計ることが，急務ではないだろうか。もちろん現在においても各分野別に，組織（建築学会，建築士会，建築家協会，建設業協会，設備関係，建材関係，施工機械関係等々）はできており，自主的に活発な行動は展開されておるが，横の連絡が不十分であるように観察される。そこでやはり日本建築協会が綜合結集するための，強力な場とならなければならないと思考する。当然現在においてもその姿勢は保たれてはいるが，各分野が一層協会の有り方を理解し，強力な支援をあたえなければならないし，各分野から積極的かつ権威ある人々を協会に送り，綜合のコミュニケーションの場であり綜合の指導機関であることを，権威づけねばならないと思う。

それがためには将来，日本建築協会の大殿堂をきづき，りっぱな組織化のもとに，内にありては建築界綜合の大交流，交際の場とし海外的にも諸外国との交流の場としたいものである。

10

社会の役に立つ団体として

兵庫支部長　宮飼克二

過去の20年よりも現在の10年の方が，社会状勢の推移のピッチは上廻っております。さらに今後の5年の方が一層にピッチが上がることでしょう。したがって今後10年〜20年先の将来の姿を想定することは，余程の先覚者でないと，なかなか困難な問題です。まず現在の会の状況から見た程度で考えを述べ，その責を塞ぎたいと思います。

本会はすでに対社会的活動を考慮して，建設関係の各分野の方々を網羅して，会員が構成され，各分科的の委員会が組織されて，分業的に，あるいは総合的にそれぞれ成果を挙げておられるので，これ等を強化することによって，より一層に本会の向上が計られたらよいと考えます。それには会員各自が自分の得意の分野において，それぞれの委員会に属し，奉仕的精神と，研究的態度とを以て，協同一致して成果を挙げ，これを対社会的に貢献できるように実行に移し，調査，研究，試験，相談などの各部門を設けて，社会との繋りを画し，建築のPRと併行して，社会の役に立つ団体として進んでいきたいものと考えます。

11

総合コンサルタントの役割

大阪市建築部長　西　村　栄　一

このところ建設省の「国土建設の長期構想」をはじめとして，国民生活審議会の答申，経済企画庁の「20年後の豊かな日本への一つのビジョン」等，将来構想を語るのが流行となっている。日進月歩の昨今，20年後のことはわれわれの想像をこえるものがあろうと思うが，未来を画くことは少なくともわれわれに夢と希望をあたえる。これらの構想をみても今後予想される経済発展と科学技術の進歩は産業活動，国民生活の質・量に大きな変革をもたらせ，われわれが今きゅうきゅうとしている交通・住宅・スラム・公害等の都市問題も解決し，現在の都市は根本的な体質改善によって更新された姿をみせるであろう。このために投資される莫大な資本量は建設業界を大きく発展させ同時に，新しい建築・新しい工法の開発は工場生産を可能とし，さらに建設業界を合理的な近代産業へと脱皮させているに違いない。

わが日本建築協会においても，その組織が全国的なものから世界的なものにひろがるとともに，会員も数のうえばかりでなく，多方面の人材が顔をそろえ，協会は建築界の中枢機関となっている。そしてつねに新しい知識・技術を導入，あるいは紹介する〝情報センター〟・〝総合コンサルタント〟の役割も果たし，建築の質は均一化される。会員は他の分野の人たちとの交流をさらに深めると同時に協会からの情報あるいは指導を得て幅広い活躍をするであろう。都市行政の面でも会員の進出は著るしくその発言力は高まり都市はさらに人間的なものへ，人間中心の本来の姿へと改良されていく。そして機械文明の中で建築家のはたす役割はますます大きく，かつ認識されていくに違いない。

以上希望的観測も含めて私見を述べた。

12

都市将来の発展への方向づけ

日本住宅公団大阪支所計画部市街地住宅課　川　島　繁　三

今日の何の統制もない都市圏の拡大は，土地価の高騰・交通ラッシュ・住環境悪化・都市機能マヒへと拍車をかける。また交通機関・工場等最も近代的であるべきはずのものの生みだす公害は人間の生命までもおびやかす。人間はますます疎外され片すみに追いやられ細々と生活することになってきた。

このような状況におかれて都市計画・建築その他建設にたずさわる技術者は何を考え何をなすべきか，いまや個々の建物をバラバラに何の関連性もなく造っているときではない。事態は切迫している。

当協会においても建築関係者の単なる親睦団体で終っていてはならない。幸い会員構成も建設各業種にわたり，建築を通じて社会に貢献することを標榜とするものであるから，都市将来の発展への方向づけ，個々の建築と全体との調和・都市計画上早急に打つべき手段等々，実現可能なもの緊急を要するものから，会員をまとめて将来のために，現在のあるべき姿をとらえ，会としての態度を定め，特に年間目標をかかげてひろく一般社会にうったえ政府，役所に圧力をかけることが大切である。建築とはいまや単なる建物ではない。人間の住空間であり生活の場であり都市である。さらには全世界，宇宙へと展開する。未来へのために現在の発展方向を常に正さなければならない。突如として新しい未来が開かれるものではない。無制限に何の思慮もなく「造り出す」ことは「破壊する」ことと同意であろう。真の意味においての建設への方向づけに努力し，社会を指導していかねばならない。

13

協会10年後のビジョン—会館建築—

政岡土地KK　政　岡　基　次

会館が市内の交通の便利な，見晴らしのよい所に完成する。全建築関係者の集まりである協会員の会館であるから，「これが会館建築だ！」と自慢できる建物である。会員はもちろん，会員から紹介された人や，用のある人は誰でも自由に出入することができる。

図書室が完備していて，そこにはありとあらゆる建築に関する書物や資料が広範囲にわたって集められており，整理も行き届いていて，誰にでも容易に利用できるようになっている。専門の新聞や雑誌も，世界中の著名なものは集められている。静かな一般の読書室に接して，小さなブースもあって，そこでは落着いて調べ物もできる。複写の設備も完備していて，必要のむきは簡単に写して持ち帰えれる。

一般の人も入り易い位置に展示室が設けられ，各種の模型や建材やカタログが陳列整備されており，普通のカタログよりもより高度の内容を要求する人のためには，予め入念に準備されたフイルムシートによって，即座にプリントが得られる。相談室が近くにあって，そこでは，例えば住宅などの常設相談所が開設されており，また特別の相談に対しては，所定の用紙に相談事項を記入して，返信封筒と共に差し出しておくと，後日専門の担当者から適切な回答が与えられる。集会室・会議室が大小多数あって，映写・録音・録画設備も利用できる。

静かで落着いた談話室では，足ざわりのいい美しい段通の上で，掛け心地のよい椅子によって，好きな人と好きな話題に時を忘れることができる。快いバックミュージックが程よい音量で流れて来る。一隅にカウンタがあって，礼儀正しい色の白い給仕女がいる。自動販売機が並んでいて，茛・飲物・つまみ物はもちろん，軽い食事も極超短波を使って簡単に速く用意できる。娯楽室には，撞球台・碁や将棋盤・テレビ・FMラジオ等，一応のものがそろっている。「会館の建設費や維持費はどうするのか？」って。会費の値上げなど，ミミッチイことはいわずに，会員中の大旦那に，ポンとまとめて出していただく。有難や有難や。

14

わが日本建築協会ビルの建設

（鹿島建設グループ）

「建築協会とは，どのような目的を持ち，どのような活動をしている

のか」この質問に対して答えられる会員は，そう多くはないであろう。これは，考えるに会員諸氏の協会への関心度の低さに起因すると思われる。

われわれは，今度の協会のアンケートに対して将来のビジョンを描くに当り，協会の本質というものについて討議してみた。すなわち本質というものは，将来も何ら変化するところはないであろうと思われるからである。

そして，将来のビジョンといっても結局，本質にいかに肉づけするかということになると考えたからである。このような過程を経て，「建築協会は，会員諸氏の建築家としての質の向上を計るべく活動すべきである。それが社会に貢献することにもなるであろうから」という結果を得たのである。

以上の本質論を明確にした上は，会員諸氏の協会への関心度を高めることが先決と思われる。

次に，われわれの夢を述べてみよう。

……

まず，会員諸氏が一堂に会せるような建築協会ビルが竣工したことをご報告します。ここでは，会員が玉突をし，ボーリングを楽しみ，バーで歓談している。すなわち暇をみつけては，みんながここに集まってくるのである。また，あるグループは，競技設計に応募すべく設計室で真剣な討議を繰り返している。

研究室では，各社より提供された問題に対して各社より集まった研究陣が，各々の会社の長所を提供し合って問題の解決に当っている。

他の室では，積算士が入札工事の見積をしている。もう今では，数社で一つの工事の積算をするという無駄なことはしていないのである。

また，事務局では，新しく設けられた留学生制度に基き派遣会員の選考を進めている。

もちろん，このビルは参加会社の寄付により建てられたのである。そしてこれらは総て会員が協会の方に目を向けるため，「楽しむ」ということを手段として考えたものなのである。

このように会員の協会への関心度が高まり，協会ビルが，社交の場として，また専門知識吸収の場として使用されている今，協会の限りなき前進は，約束されたと確信するものである。

15

社会への働きかけ

近畿地建　長谷川哲之助

将来のビジョンとのことですが，浅学の身には，うまく掴めないので，現在において，かくありたいと希望することを思いつくままに書いてみます。

都市再開発，流通機構再編制，住宅政策等において，一部建築家の進出が見られる。その立場は，おそらく今までの単なる御用大工的な立場ではなく，企画者の一員として活躍のことと思います。土木家さんは，道路，河川等の公共性において，医師は生命を取扱うために，その社会立場は高いものとなっており，それ相応の努力をしています。建築家も今後，社会的政策の場において，その計画に積極的に，能動的に参加することにより，その社会的立場は一層高まることと思います。協会としては，建築家にその場が与えられるよう社会に働きかけるとともに，建築家には，たえず社会の動きを伝え，その点の感心を持たせ，またそのような眼で，建築を見る必要もあることを知らせてほしいと思います。

日本の国は，経済的な高度の成長をしつつあります。また反面，それに伴う歪も出て，いろいろと社会的問題も起っております。そして世界的に見れば，日本は中進国の地位に在るようです。今後も成長を続け，先進国の仲間入りをすることでしょう。現在の先進国にも社会的，技術的な問題をいろいろと持っていることと思います。それは取りもなおさず，何年か先の日本の問題でもあり，またその過程もこれからの日本の発展に参考になると思います。ひるがえって，アジアにおいては，日本が技術的に協力できる点があるように思います。しかし現状では，アジア諸国の建設関係の様子はほとんど知らされていません。協会では，先進国の状況を適当な方法で紹介することにより，日本の現状をより深く認識する助とし，またはアジアの現状紹介により，アジアの一員として，技術者の立場において，何をしうるかを考える助としてもらいたいと思います。それによって，国際性を持った建築家が一人でも多くできる一助になればと思います。

16

私の夢
―現実に合致した共通の仕様書を―

鹿島建設KK　岩下久哉

施主，設計者，監理監督者，施工者とも建築物を早く，良く，安くつくるようお互に希望し，努力しています。が立場が違うので早く，良く，安くの考え方が違い図面，仕様書，法規をめぐって解釈や，取扱いが相違し意見が衝突することがある。ただし早く，良く，安くの大目的は立場の相違はあっても，共通点が大部分なので，大きな問題になることは現状ではない。が解決点を見出すために要する，関係者の労力と時間は馬鹿にならない。空費の場合も多い。感情的になったときはマイナスになることもある。建築技術者同志でお互に足を引張っている結果になり，外部の人には建築技術の不統一，不信感をいだかせる結果ともなる場合もある。解決方法は仕様書の統一と，具体的な表示法の採用，と現実に合致した仕様書の改定であると思う。大阪市には3通りもの仕様書がある。各施主の仕様書は莫大な種類と思う。見積りはこれを全部覚えないと十分な仕事はできない。共通仕様書は一つでこと足るようしたい。仕様書を具体的に表示することはむつかしいと思う，が数値で示すとか，現場説明で単価で知らせるとか，やろうと思えば方法はいくらもあるはず。砂利の径，木材の農林規格等は仕様書が作られた当時の意味，考え方はわからないことはない。が現在は現場でトラブルになるだけの役目しかしていない。材料にある程度合致させる時期が来ていると思う。

各府県で消防法に対する解釈が違う場合がある。各府県ともお家の事情はいろいろあると思うが，同一の法規であるから同一の解釈にならないものかと思う。自己本位性の悪い一面のあらわれであると思うが，お互に足を引張っている結果はたしかである。自分の首のまわりがそろそ

ろ寒く感じる，40年勤続の現場マンの見つづけている夢——ビジョンです。日本建築協会なら解決していただけると思う私の願いです。

17

建　築　と　社　会

近　藤　義　雄

とりとめない話で恐縮ですが，「建築と社会」つまり本会発行の会誌に初めてお眼にかかったとき（今から30年位前だと思います）いささか奇異の感を持った記憶があります。

なぜそんな感じをいだいたのかはっきり思い出せませんが，何となく肩をいからせた本だなといったことかと思います。

とは申せ散文的な処がちらちら見うけられ，半面では面白い本だなと思っていたようです。

つまり硬軟あわせ持った性格があったのではありますまいか，これはこれで結構ですが世の中はこの20年でコロット変ってしまいました。

建物そのものは変るものではないのかもわかりませんが，それが造られる過程，または使われ方にかわりがあるのではありますまいか，またその発想においておやです。

だからというわけではありませんが，建築にたずさわる人たちだけで小さくまとまっていたのでは従来と変りなく，この際われわれを中心にあらゆる業種の方たちに入会していただき，そういった型からでも世のためになりましょうや。

小さくまとまった会は他にもありますから，それ等にまかせ私達だけでも広く人材を求めて会の発展をはかろうではありませんか。

18

会誌の充実に努力を！

T．H．生

この度の協会50周年記念のアンケートの意に反するかも知れませんが，私は昨年夏，職場より会勢委員に選ばれて第1回会勢委員会に出席させていただきましたが，委員の方々は何れも○○建築事務所，○○建設会社重役の方々で，直接設計および現場に当る方々の会ではなかったと思われます。その席で私は現在のような「建築と社会」ではただ月刊誌のような作品集に過ぎないし，もっと内容のある技術向上に役立つものにしなくてはいけないと述べさしてもらったのですが，それ以後の会勢委員会には出席していません。協会としての立場もおありでしょうが？　この4，5年前の「建築と社会」はもっと内容のある工事の内容，仕様，施工の苦心談等私等高校出の者でも十分たのしみにして雑誌を読んでいたものでした。しかし最近のものは外国の建物とか風景，およそわれわれには縁遠い建物の紹介，それに広告欄がばかに多くなって雑誌をいただいただけでパラパラと頁をめくり机の曳出しの奥の方にしまっている状態です。これでは若い人たちや私たち学歴もないものの会員は減っていくことにはならないでしょうか。現に私たちグループでも余り評判もよくなく退会しようかなどいっている人もいるのが現状です。実際設計，施工するのは若い人たちです。これには何かの資料および先輩諸氏の経験はぜひ必要です。会員なくして協会もないと思います。今年は50周年で会員の増強を願っていることですし，もっと会誌の編集に努力すべきだと思います。要は「建築と社会」は机のほこり溜めになることなく愛読されていくことが，協会発展につながると思います。以上私の思いついたままを書き並べましたが失礼して，協会の発展を望んでやみません。

1

建設業界史話

建設業界史話の初めに

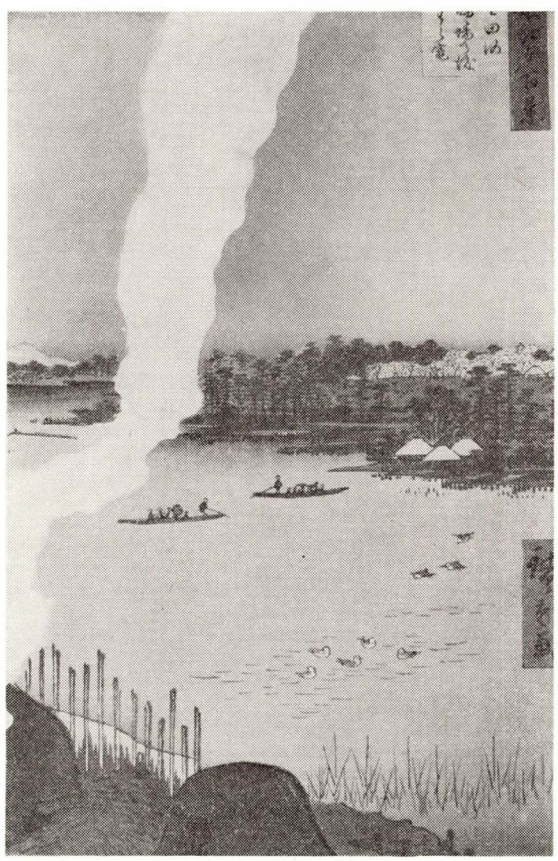
元大林組工務監督　宮　村　次　郎

戦後のわが建設業界の発達には目をみはるものがあり，東京都を初め各都市の景観も全く一変し，関係者としてまことに喜びに耐えない。しかし一面には住宅難，中小企業者倒産のうち業者がその第一位，関連業界の重量車の交通事故の頻発，一部の出稼労働者の賃銀不払問題，火災件数の割合から見た焼死者の激増などはますますその激しさを加える情勢にある。

これらはいずれも大きな社会問題であり，業界の一部の責任などといえるような生易さしい問題でないことはもちろんであるが，それかといってわれわれには，関係がないといい切れる問題でないこともまた明らかである。

建築は時の文化の表徴という。人情として美しくも晴れがましい面を見たがるのも当然だが，裏であるときの社会文化の低辺を見忘れ勝となるのも人情であろう。しかしわれわれ業界のかなりの部分はこの後者に属している。この最下層の人たちの上に繁栄が築かれていることも忘れては済むまい。建築や造船のように文化の表徴といわれる商売の難かしさの一面である。たまたま世界一の日本のタンカーが吃水の関係でマラッカ海峡を通過し得る船の大さの一応の限界か，として問題になり，英国海軍が同海峡の水深の精密測量に乗り出すという騒ぎとなった。吃水を小さくするには船価が割高となり，迂回するには3日の行程の延長となり運航費約3千万円の増となるからとある。世界に誇るマンモスタンカーのより大型化も「浮いて動いて人のためになる」船生来の目的の再検討に迫られているのである。

建築物も空には底がないからと安心してもいられない節がありそうである。私は巾はやたらに広いが至って浅薄な建築屋としての50年に近い経歴の持主で，職業上のことはもちろん技術以前のさまざまな難問題に突当り苦しんできた。その都度解決の途は建築の持つ先天的後天的の特殊性に何か強く考えが及んだようなとき，相手の方の理解や協力が得られ救いの途が開けたように思っている。そのせいか，前から業界の特性の窺える古い話に興味を持ち覚え書を残してきた。そしてそれを順よく並べて見ると一業界史話にもなりそうに思えてきた。この中には知っていた方がよいと思うことで，ご存知のない方もあるかと思われたので，ある人にこのようなもののあることをお話したところ，幸に投稿の機を与えていただくことになった。



江戸百景　橋場の渡　かわら窯。初代・広重作。
（宮村次郎蔵）

江戸時代今戸当りまで瓦かまがあった。向河岸は向島である。この絵は今の言問橋の北500米位の川上からの写生と見る。現在の隅田公園の北端あたりでの渡しを見たもののようで，吉原へ通ずる日本堤の隅田川にそそぐあたりであろう。

しかしいずれの話も現代離れのした黴臭い話で気がひけるが，前述した幾つかのいやな問題のかなりの部分の根元に関係があり，千数百年間私たちの先輩がいやでも振り払い切れずに今日に至った社会改革につながる多くの問題を含んでいる。このことに関し私は協会誌「建築と社会」という名にはかねがね考えさせられ，この命名をされた先輩の方々の見識に私なりの考えで深甚な敬意を表してきた。私のこの推定が仮りに誤りにしても私には，建築の社会性からしてもこの名称のような内容の雑誌がぜひあってもらいたいものと願ってやまない者である。

今後幸にしてお取上げ願えれば老人後として業界の性格の出た古いこぼれ話を出さしていただいて，それが業界のつい先頃までの意外なほどの後進性のあり方や残念ながら今後共なお永く断ち切ることのできぬように思われる業界の特殊な性格などに，何がしかの触れる縁ともなり，その合理化によりこの悪因縁を少しでも早く少なくし得る途に，たとえ1粍でも近づくことに役立ってくれればと果敢ない念願を持っているものである。最後に業界のあらゆる役割の方々や複雑な階層の人たちの秩序あるバランスのとれたご発展を心から祈願して，初めの言葉を終らしていただくこととする。

まずはじめに本号は「雷門の提灯」，次号には「花山院」，以下数号にわたって連載する予定です。

雷門の提灯

屋根屋三右衛門のこと

宮村次郎

ある日神田の古本屋をのぞき廻っていると，奇書(岡田甫著)という本が目についた。開いて見た途端目に入ったのが，頼光朝臣の臣渡辺綱初め四天王の面々に，清少納言が襲われる珍妙な話である。興を覚えて更に頁を繰っていると，計らずも雷門の大提灯のことがでてきた。この提灯のことは，私が興味をもって追いかけている事柄にまことによい資料を提供してくれるもので，正に読書雑学の面白さのやめられぬところである。

では，岡田甫氏の所説を借りて，ブラリブラリと提灯の話を始めましょう。

相当の年輩の人なら知っている方も多いと思うが，江戸名所の随一浅草寺の雷門には昔から大提灯がぶらさがっていた。

しん橋の下をくぐって珠数を買い。……と川柳にあるように赤い大きな提灯の下から見た賑やかな仲店の並んでいる風景は浅草ならではの感じがしたものである。今の新築の観音様の本堂の階段の上に下げられているのは同じく「しん橋」だがこれは新橋の三業組合の寄進のものである。私の子供の時分の記憶に新橋のきれい所が手子舞姿で勇肌の鳶連中と木遣の声も威勢よく大提灯を引いて仲見世に繰り込む寄進のときの写真を見た憶がある。あれは今から何代目前のものだろうか。このように提灯は時々新らしく取替えていたらしいが，私の年のものでさえこの程度のことしか知らないのだから浅草雷門の大提灯は昔からしん橋の姐さん連中の寄進によるものと頭から決めてかかっている人が多いのは無理がない。ところが江戸時代には新橋に花街はなかったのだし，また当時の町芸者はおさしさわりはお許し願うとして，今ほどいばってもおれない境涯であったはずで，話の提灯は江戸時代には全く別な人たちによって奉納されて，名物となっていたとしか考えられないのである。あんな気のきいたものを寄進した江戸ッ子らしいしゃれツ気のある人は誰だろう。それではまず最初に寄進した者は誰だろうか。増訂武江年表の寛政７年1795の条に

「三月十八日より六十日間浅草寺観音開帳，風雷神門再建成て三月十日二神を安置す。

筠庭云，雷神門の真中に懸けたるしん橋と書きたる桃燈は此時作る。家根屋三右衛門これが請負にて屋根を葺いて，桃灯も其職人等打よりて納めしなり」とある。すなわちこのときがしん橋の提灯の初まりでこの屋根を請負った屋根屋連の寄進であることは明かである。（註　筠庭は編者である）

これについて，網野宥俊著の浅草寺史談抄を調べて見ても残念ながら提灯のことは出ていない。しかし参考になる話もあるのでちょっと脱線して書いて見よう。

このときの再建の建物は雷門としては，三度目のもので寛政５年から計画され同７年３月10日に竣工して二神を安置したのである。工費は２千８百余両とある。（現在の鉄筋コンクリートの雷門は２千５百万と同書にある）この建立当時の話が「貴賤上下考」に見えていてそのときの下町ッ子の喜びようがうかがえる。

「浅草寺雷門再建にて地形きやり音頭にて築立し頃人足きやり師という者ありて，ほ組鉄次郎，同組己之助両人は江戸きやり師の名人にして，此両人の出立は，柿の頭巾に袖なし羽織の上へ，三尺帯を〆狂言紋尽しの立附を着ていろ紙の采配を持つ是が麾なるべし」……云々

といかにも当時の華かな江戸模様をえがいている。さて雷門は先に出た風雷神門というのが本当の名前で，いつの頃からか明かでないがかなり古くから雷門で通るようになってしまったらしく文化年中にはすでに雷門といわれていた。

風の神　雷門に　居候

門の名で　見りや風神は居候

などその頃の川柳でそれと知れる。

時代から見て錦絵の広重英泉豊国北渓画くところの雷門はこのときの雷門である。したがって屋根屋三右衛門の寄進した提灯のぶらさがっていた時分が江戸後期の最も花やかな時代である。

雷門はその後慶応元年に焼失し，いろいろの経緯(イキサツ)があって遂に最近までできずじまいで，われわれ老年ものの知っている建物は明治30年代にできた東京奠都30年祭のときの仮設風雷神門であるらしい。余談はこれ位にしてさて本論のここに出て来た屋根屋三右衛門についての話に移ろう。この人は単に家根屋とか屋根職人とかいうよりも他の方面で大いに名をなした人物で，この人こそ当時指折りの市井の学者北慎言のことである。

慎言は江戸の人で字は有和，梅園静盧，四当書屋などの幾つかの号を持ち著書には「続古事談註」「五雑俎訓纂」「水滸伝新訳」「俗語類記」「訳語正偽」などがあり，太田南畝，高田与清，平田豆流，磐瀬醒（京伝）磐瀬百樹（京山）など当時名のある文人墨客と交遊も広かった名実共に立派な人物である。出身は料理家の息子であったらしいが，養子に行って屋根葺工の棟梁となり屋根屋三右衛門と通称したのである。恐らく相当の資産家であったのだろう。当時の江戸の町人の中には，なかなか教養のある人たちのあったことは時世の生んだ理由にもよるが羨しくもありまた一面惜しくもある。逸話文庫に次の記事があり，彼らの一半を知ることができる。

「当時市井にありて，市井の業を以て生活せる者にて，同じく学識あり，同じく三右衛門といへる者三人ありたり。一人は此の北三右衛門にして，屋根屋三右衛門と称せられ，一人は狩谷掖斎にして口入業を以て生活とし，津軽屋三右衛門と称せられ，一人は市野三右衛門にして市野屋と称し，質屋を以て業とせり。世にこの三人を市井の三右衛門と並称せり」とあり梅園日記（彼の随筆で最も有名なもの）の序に儒者朝川鼎が書いている次の言葉，大平三百余年　奎運大いに啓け，文教日に昌なり。此時に方り都下工商にして学問淵博古に精しくして今に鮮かに聞達を求めず著述して自ら楽しむ者二人有り。一を狩谷掖

斎と日う富商なり。一を北静盧と日ふ貧工なり……とあるのはよく彼の日常を伝えているようである。

それかといって彼は偏屈な考えの学者ではなくなかなか物わかりもよい面白い人柄であったらしく，狂歌の面でも元(モト)の杢網(モクアミ)の弟子であり，初めは網の破損針金と号したという変り方である。この号も故混(ココン)馬鹿集という本には，針兼とあるなど，この方面でも相当な人らしく立派な著書もあるという。なお面白いのは梅園日記の中にも猥画方面の有名な文献までを残しているといういき方である。

武家俗説弁，鎧色談附録に「猥画を具足櫃にいれ置事の論あり。慎言若かりし頃には衣櫃のうちにもいれ置くものありき。但これはもろこしにもするわざ也」と書初めて果つるところを知らず式である。ここではもろこしまで脱線しても困るのでこの位にしておこう。

さて肝心なしん橋の出所だが安田文庫本「諸家人名江戸方角分」という写本に

芝口新橋

学狂梅園初針金静盧慎言金春屋敷家根屋北三右衛門とある（学狂とはこの本の学者狂歌師の略記号である）

国学者高田与清の「擁書楼日記」の文化12年7月18日の日記に

鐘八ツきこゆる頃太田南畝，北慎言，磐瀬醒（山東京伝）などきたれり。亥の刻の時ばかりみなかへりたり。北慎言の家は新橋金春屋敷などとある。これで提灯のしん橋の出所も判ったしん橋は今の新橋であることに間違いない。

（(註) しん橋の名は江戸初期からである）

大提灯が掲げられて間もない頃の江戸の小咄に，「提灯の大きさ」というのがあるが（寛政8年頃の喜美談語所載）このようにして大提灯は江戸ッ子連に評判が高まり，江戸雀の噂は次々と諸方に飛んだらしい。

彼は83才の高令で亡くなっている。(1848年) 封建制下に種々の制約を受け，戯文学に逃避したり，大提灯をぶら下げたりした酒落気たっぷりの彼も，晩年には余り恵まれなかったらしく，馬琴の「後の為の記」（天保6年）によると

「屋根屋静盧は其子放蕩にて破産屢々なり。其借財の為に静盧殆んど困窮すと聞えり」といっている。

大提灯は彼の文名高く資産も豊かなよいご身分の時分の奉納によるものと思う。最後になって貧工也と書かれた彼の数奇な一生を辿っていったら恐らく面白い小説もできる位の種がありそうである。さて私がこの話を持出したのは，派手好みの江戸ッ子をアッといわせた嬉しいご連中がわれわれ同業の瓦屋の連中であったことである。わが国の大昔から江戸の中期位までの建築材料の内で寸法も一応揃い規格の割合整った工場製品ともいえるものは瓦と紙であろう。

すなわち建材として当時一番合理化され，これに関係のあるものが商売としても仕事としても一番やり易すかったに違いない。私はこの職種のものがいち早く堅実な請負業として成功したのではないかとかねてから思って探していたのである。果たせるかな大阪に大阪の三町人とまで称せられ徳川家の「上方御買上御用」とまでなった元々は瓦屋が本業である寺崎藤右衛門がある。

彼は大阪瓦師として彼の兄弟である惣右衛門および三郎兵衛という者とともに明暦の江戸の大火の復興に際し，江戸城の瓦工事にまで活躍している。これと名実ともに肩を並べて同じ書物に江戸瓦師として五郎右衛門，久右衛門，太郎兵衛の3人の名前が出ており以上6人の瓦師で銀弐拾七貫二百匁ばかりの土瓦代を受けている。（東京市史稿皇城篇2,243頁）

江戸も明暦位にまでなると開府以来6，70年の歳月を経て江戸の瓦屋や周辺の瓦の生産もかなりな程度の進歩を見たことを物語っている。このようなことでここに余裕も綽々として本業以外にまで文名を馳せ，江戸屈指の文化人としての屋根屋三右



雷門の絵　舟調作。（宮村次郎蔵）

一筆斎文調の門人といわれる。玉川を姓とする。美人画黄表紙などを描く。寛政刊，享和3年刊行のものに名のあるところから，本文の年代に一番近い雷門の絵と思う。

衛門の出現をさえ見る下地ができたと思われるのである。ところで紙の方はどうであろうか，管見のよく知るを得ないので山田永昌堂氏に聞いて見ると，襖のような建築関係の経師屋に余り名をなした者はご存知ないらしい。よく調べたらあるいはあるかとも思うがないのが本当とも思える。というのは私見であるが，瓦と紙の商品の用途や価値に根本的な相違があり，経師の材料供給者である紙商の方は，成功者がかなり多いことを考えると商人と職人との関係に非常に面白い問題を投げかけていることが判る。古臭い後ろ向きの話であるようであるが，新建材の続出と工法の日に新たな今日でも充分考えて見る値のある重要な問題を多く孕んでいると思うのである。

天明頃の川柳に

坊手を忘れ　瓦師の　河岸をかり　　山路

というのがある。江戸の大川ばたや，堀割の河岸に荷揚場を持った有力な瓦師があったのである。そのおもかげは今でも山谷堀などにおぼろ気にそれと察することができる店がある。2，3年前その付近を歩いていたら昔の瓦屋が今では一般建材も取扱うようになって，中に「デルマックの クッション 材あります」と特別に書出した店があった。時代の移り変りの面白さに私もつい嬉しくなってしばらく眺めてニヤニヤしていたのを覚えている。

合成ゴム防水について

日本建築協会建材委員会（担当：伊　藤　幸　一）

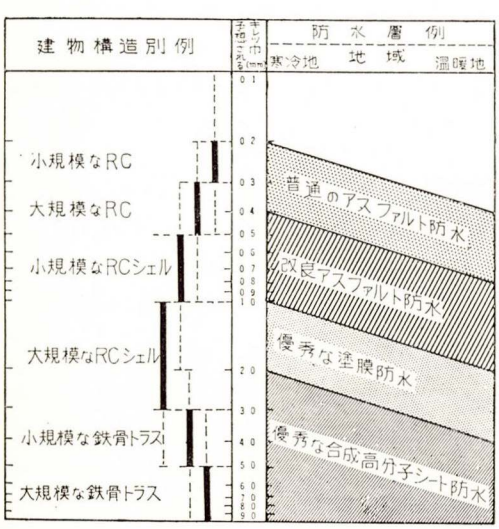
本稿は，日本建築協会の建材委員会が昭和41年2月～9月にわたって検討した結果をまとめたものであるが，委員会の審議に対して貴重な資料をいただいた鐘渕実業株式会社ゴーレックス事業部，三ツ星ベルト株式会社，日本ゴム株式会社，株式会社エバレヂン工業所，ノーテープ工業株式会社，株式会社A．B．C商会，日新工業所の各社および本稿をまとめるにあたって助言をいただいた日建設計工務の中邨嘉幸氏に謝意を表する次第である。

引用文献：（敬称略）
合成ゴムシート防水について　鐘渕実業　目　黒　清太郎
新らしいシート防水（高層建築の防水工事）　大成建設　加　賀　秀　治
防水材料のあれこれとその施工（高層建築の防水工事）　竹中工務店　高　木　暢太郎
塗布，シート防水の特長と工法　清水建設　丸　一　俊　雄
シート防水工法における接着　大成建設　鶴　田　　裕
防水について　清水建設大阪設計部防水委員会

Ⅰ　はじめに
Ⅱ　防水の目的
Ⅲ　ゴムの物理性
Ⅳ　引張り強さおよび伸び率
Ⅴ　高分子材料の種類と分類
Ⅵ　下地の種類と防水工法
Ⅶ　防水についての7原則
Ⅷ　シート防水工法上の問題点
Ⅸ　むすび

Ⅰ　はじめに

防水工事といえばアスファルト防水のことを意味する程，アスファルト防水が信頼性のもてる工法として，わが国においても明治40年ころからとりあげられてきたが，ここ数年来わが国にでも超高層建築が実現しはじめ，一方構造技術の革新により，シェル，折版，変形等の屋根がつくられ，また軽量構造材の開発にともない建物の軽量化が躍進的に発展を遂げてきたのに対して，ようやくわが国においても，遅ればせながら石油化学によって生みだされた高分子化合物による防水材の開発がなされ，実際に使用されることになった。（図―1参照）



防水層の選定

図―1　（北大工学部・小池博士）

しかしながら，その経年実績としては，塗布防水は外国で約10年，日本では3年，シート防水は外国で19年，日本では5年にしか過ぎないために，

工法そのものに完全なものが見当らない。
材料の物性についての不安がともなう。
工費が低廉でない。

などの問題がまだ十分に解明されていないきらいはあるが，

屋根防水の軽量化。
主として冷間工法であるため高所作業にも安全である。
急勾配の屋根にでも容易に施工できる。
施工が早くできる。

などのすぐれた利点もあるので，これらの観点から考察をこころみることとする。

Ⅱ　防水の目的

漏水の要因としては不同沈下などの外力による影響に起因するものは別として，概略下記のことがその主たる原因として考えられる。

1. コンクリートの本質的な透水性による漏水。
2. 乾燥，収縮等，構造亀裂の空隙からの漏水。
3. 豆板および異物混入による水密性の欠陥による漏水。
4. 打継ぎ等の不完全による密着性の欠陥による漏水。

表－1　各種合成ゴムの性質

	弾性	耐オゾン性	屋外曝露	耐熱性	耐低温性	屈曲亀裂	引張強力	耐磨耗性	耐透浸水性	耐酸性	耐アルカリ性	色安定性	脂肪族溶剤	芳香族溶剤	塩化溶剤
ブチルゴム（IIR）	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	△
塩素化ブチルゴム（HT）	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○
ポリイソブチレンゴム（PIB）	×	○	○	×	◎	◎	×	○	◎	◎	◎	◎	×	×	×
クロロプレンゴム（CR）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	△	◎	△	×
スチレンブタヂエンゴム（SBR）	○	△	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	◎	○	△	×	×
ニトリルゴム（NBR）	○	△	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○
天然ゴム	◎	×	○	△	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	△	×	×

◎ 優秀　○ 良好　△ 可　× 不可

5.　立上り部分およびルーフドレーン廻りの処理不完全。

上記の原因を大別すると，毛細管現象によって水が微細間隙中に吸水する「吸水現象」と，圧力水によってそれらの間隙中に浸入透過する「透水現象」とに別けられるが，吸水現象のみによる漏水は極めて少なく，専ら透水現象による漏水防止が防水の第一の目的とされていることは衆知のことである。

Ⅲ　ゴムの物理性

ゴムの物理性としては硬度，モジュラス，抗張力，伸張率などがあげられる。表－1参照。

1.　硬度はそのゴムの硬さを表わし，その規格はＪＩＳ規格で定められている方法で測定する。
大体のゴム製品は，60前後が普通で，硬いもの程，数字が大きくなりエボナイトや鋼板等は殆んど100であり，生ゴムやコーキングに使用するパテなどの硬度は0として表わされる。

2.　モジュラスは，ゴムを伸ばしたときの，それにかかる力の大きさのことで，そのゴムを伸ばすときの腰の強さを表わすものである。従って腰の強いゴム程，数字が大きくなり，普通はそのゴムを100%，300%，500%に伸ばしたときに必要な力 (kg/cm²)で表わす。

3.　抗張力は，そのゴムの強さを表わすもので，ゴムを一定の速さで伸ばして行き，切れるまで伸ばすのに必要な力 (kg/cm²)で表わされるもので，ゴムの性質のうち特に重要なものの一つである。

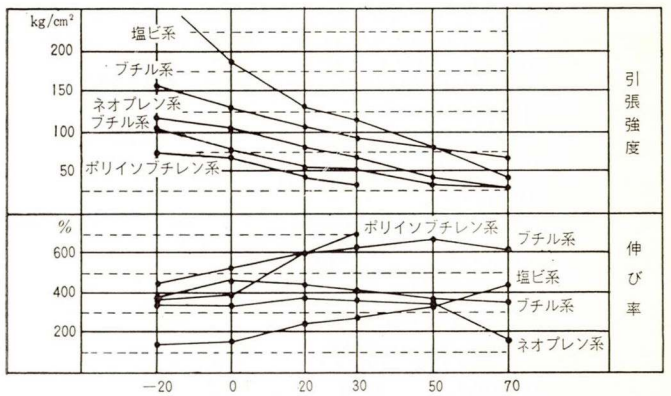
4.　伸張率は，ゴムの伸びる性質を表わすもので，一定の速さで伸ばして行き，切れるまで伸ばした長さが，もとの長さの何%になっているかを表わしたもので，数字が大きい程よく伸びることを示し，これも抗張力と共に重要な性質の一つである。
表－2は各国のルーフィングシートの規格を示したものであるが，日本のはK社で発表しているデーターによった。

表－2　ルーフィングシート各国規格

項目	単位	米国			カナダ	日本
		カーライル社	エッソ社	A.S.T.M案	マイナーラバー社	K社
硬さ	deg	55±5	60±10	50～70	55～60	50～60
300% モジュラス	kg/cm²	46以上	42以上	42以上		42以上
引張り強さ	〃	86 〃	84 〃	70 〃	70以上	70 〃
伸び	%	300 〃	300 〃	400 〃	400 〃	400 〃
引き裂き強さ	kg/cm	27 〃	27 〃			30 〃
耐オゾン性		亀裂なし	亀裂なし	亀裂なし	亀裂なし	亀裂なし
温度	°C	38	38	50	38	50
濃度	PPHM	50	50	25	100	100
伸張率	%	20	20	40	25	40
時間	Hr	70	168	500	100	120

Ⅳ　引張り強さおよび伸び率

図－2は引張り試験の結果を材料の成分別に表わしたもので，メーカーによって組成や製法が異なったりするので，同一の主成分であっても，



図－2　引張り強さおよび伸び率（大阪建設・鶴田裕氏）

性能がかなり変ることがあるが概ね下記のようなことが考えられる。

1.　主成分によって引張り張さが異なるが，一般に 40～100kg/cm² 以上あり，アスファルトよりも強い。

2.　伸び率は非常に大きく，アスファルトフェルトは2～3%位にすぎないのに塩化ビニールやポリエチレンで200% 位，合成ゴム系では500%位もある。

3.　加硫ゴムでは問題にならないが，未加硫ゴムの場合，ビニール系，ポリエチレン系のものでは残留歪が残る。
また，合成ゴムの許容歪は1/10が限度でそれ以上になると発熱して変質するといわれているが，クロロプレンを使った防振ゴムのような頻度の甚だしいものであれば許容歪に対する発熱老化が考えられるけれども屋根防水などに使用されるゴムシートは頻度が1日1～2回という長いサイクルなので，特に自己発熱による変質は考えられない。ただし，引張りかかったままの状態では経年変質もありうるかも知れない。
ブチルゴムシートとクロロプレンシートの振動時における分子摩擦による老化について比較すると，ブチルゴムシートのほうが老化がない。その理由はブチルゴムシートとクロロプレンシートの各伸び率に対する永久歪は，
ブチルゴムシート　20～25%（伸び率200%時）
クロロプレンシート　8～9%（伸び率225%時）
で永久歪の多いブチルゴムシートのほうは下地などの振動吸収が早く，振動時におけるゴムの分子摩擦によってうける影響が大きいともいえる。

4.　温度による変化は各成分とも同様な傾向を示し，高温になるにつれ，引張り強度は低下し，反面伸び率が増大し，低温になればこの逆の性状を示す。塩ビ，ポリエチレン系は低温に対してはその変化の度合が大きい。

5.　伸び率が100～150%程度の引張り力を加えたまま，オゾンや紫外線による劣化処理をした場合，大きな影響をうけないが，それが200% を超えると，短時間で破断してしまう傾向がある。

V　高分子材料の種類と分類

最近使用される防水材料としての高分子樹脂には高分子化合物の合成樹脂および合成ゴム等があり，その高分子化合物は天然高分子，天然高分子化合物から導かれる高分子，および合成高分子の三つのグループに分けることができる。

一般に合成樹脂と称せられているのは比較的簡単な化合物の縮合，重合等による反応で合成された高分子化合物の総称で，物理的性質が天然樹脂に類似しているところもあるが，化学構造は全く異なるものである。通常防水材料には合成高分子(合成樹脂＝プラスチック)のグループのものが主成分として用いられており，一般市場品として使用されているもので合成樹脂防水と呼ばれているものは，アクリル樹脂，酢酸ビニール樹脂，ポリエステル樹脂等がその主成分となっているものであり，その他の合成樹脂から作られたものは合成樹脂防水とは呼ばれていないが，現在市販されている防水材料の殆んどが合成樹脂を主成分として作られていることからすれば，上記のアクリル樹脂，酢脂ビニール樹脂，ポリエステル樹脂を主成分とするもののみを合成樹脂防水と呼称しいることは奇異に感ずる。いまそれらのものを分類整理して次に述べる。

1.　合成高分子プラスチックエマルジョン

合成樹脂エマルジョン防水。合成樹脂塗布防水と呼ばれ，セメントまたはモルタルに混入もしくは，樹脂のみを塗布する。主成分としては酢酸ビニール樹脂，アクリル樹脂，ポリエステル樹脂類である。

セメント防水との使用法上の異なるところは，セメント防水は厚みのある一層に対し，これは混合もしくは，塗布を交互に行ない，数層のフィルム状または，層を型成させることで，躯体コンクリートの亀裂に対しては，セメント防水よりやや優れているといわれているが，アルカリに弱く老化現象も早くて弾性にも乏しく，衝撃に対しては表面に亀裂を生じ易いし，モルタルや塗料で表面を被覆しなければならない等の欠点があるが，防水の軽量化，斜面や曲面の屋根等にも施工が可能で，下地面の乾燥程度にも余り影響されることなく施工できる利点もある。

適応使用個所　垂直面，急勾配面，曲面の防水。下地面が湿潤な個所。

不適応使用個所　構造亀裂および収縮亀裂の発生が予想される個所。

2.　合成高分子ゴムエマルジョン

合成ゴムエマルジョン防水。合成ゴムラテック防水と呼ばれ，主成分としてはＳＢＲ（スチレン，ブタヂエン）系または，ＮＢＲ（アクリロニトリル，ブタヂエン）系の合成ゴムラテックスを用いて，セメント配合用に調整したもので合成樹脂エマルジョン防水に比べて吸水率は大変小さい。前述の合成樹脂エマルジョンとともに保水性がよいので下地との附着性がよい。

適応使用個所　垂直面，急勾配面，曲面の防水。下地面が湿潤な個所。

不適用使用個所　構造亀裂および収縮亀裂の発生が予想される個所。
セメント防水，合成樹脂エマルジョン防水に比してやや優利。

3.　液状合成高分子ゴム

液状合成ゴム防水。合成ゴム塗布防水と呼ばれ，連続防水層を形成するために液状の材料を使用するソルベントタイプの防水材料で，その殆んどがネオプレンとハイパロン系のものである。

ハイパロンはネオプレンと同様の特性をもち，さらに安定した着色を行なうことができ，オゾンや酸化作用に対する抵抗性もネオプレンよりは優れている。

ネオプレンは合成ゴムのクロロプレン系（ＣＲ）に属し，一番天然ゴムに類似している。その特性としては日光に対する抵抗性がよく，耐熱性，耐候性，オゾン，グリース等にも耐えるけれども，塩素を含む溶剤や酸化性の強い化学薬品あるいは芳香族系の含有度の高い燃料や溶剤中での使用条件には弱い。

ネオプレンとハイパロンはそれぞれ単独にでも使用できるが，普通には下塗りの層をネオプレンで行ない，上塗りとして着色ができるペイントとしてハイパロンを使用し，それぞれの特性を活かして使い分けている。

施工上の利点としては，折版，シエル構造の屋根および立上り部分等の複雑な個所にでも比較的容易に施工ができるが，反面には下地面の乾燥が完全でなければ施工できないこと，伸び残留が少ない（伸長率が大きい）ことは特徴でもあり欠点でもある。また，既に生じた亀裂に対しては橋かけ作用はしないので予めコーキング（油性コーキング材やアスファルトなどの接触には注意を要する）等で処理をしておく必要がある。現在市販されているこの種の防水材料にはメーカーによって，ビーリングに弱いものや燃焼性，難燃性のもの等材質に大変巾があるので使用に際してはよく検討をする必要がある。

適応使用個所　歩行用屋根および室内水平面。斜面，曲面および複雑な個所。露出防水で美観を必要とする個所。

不適応使用個所　下地面が湿潤な個所。破断を予想される個所。

4.　合成高分子ゴムシート

合成ゴムシート防水。合成ゴムシートの中には一見して同種と見られるが実際には相反する性質をもつ二種類のものがある。その一つは米国のエッソスタンダード社がポリイソブチレンとイソプレンの共重合によって開発されたブチルゴム（ＩＩＲ）のものと，西独バデシュ，アニソン社で合成された高分子炭素化水素ポリイソブチレン（ＰＩＢ）を主成分とするものである。そしてこれらの原料をわが国のメーカーが製品化しているものである。

ブチルゴムシートは伸縮性，柔軟性がポリイソブチレンシートより秀れている。また，耐温度性についてもポリイソブチレンシートは60°Ｃに温度が上昇したとき抗張力が低下するおそれがあり，モルタル被覆をしなければならないが，ブチルゴムシートのほうは露出防水とした場合耐オゾン性に弱い欠点を補うためハイパロン系ペイントを塗布することにより可能である。しかし両者共に－30°Ｃの低温度での使用にも耐える。

ゴムシート防水は一般に単層で防水を行なうのが特徴で，ブチルゴムシートは接着剤を使用する冷工法で行なうが，ポリイソブチレンシートはブローンアスファルトによる熱工法で行なうものと，接着剤による冷工法で行なうものとがある。この場合に使用するソルベントタイプの接着剤は下地面が完全に乾燥した状態でないと施工が困難である。ブチルゴムシートの場合は予めプライマーで下地面を処理し，プライマーと同質のネオプレンを主原料としたソルベントタイプの接着剤で貼付けを行なう。この場合のシートの重ね目は接着なのでビーリングには弱い。ポリイソブチレンシートの重ね目，継目は分子量の低いポリイソブチレンとベンヂンよりなる接着剤等で溶接を行なう。

この種のシート防水は，シート自体の防水性は優秀であるが，重ね目，継目の工法の不完全な施工によって漏水の原因を招くことがある。

ブチルゴムシートの製品には感圧シートも市販されているが，これはシートの裏面に可塑性の大きい未加硫ゴムを附着させ，このゴム層で亀裂によって生ずるズレによる応力を緩和して上層の加硫シート（ブチルゴム）に応力を伝達しないように考えられたもので，この感圧シートは接着剤を塗布しなくてよいため施工が簡単になる特徴がある。

上記のブチルゴムシート，ポリイソブチレンシートのほかにクロロプレンの重合によって得られるクロロプレン（ＣＲ）シートすなわちネオプレン（商品名である）の製品もある。

Ｉ．Ｉ．Ｒ

適応使用個所　歩行用屋根および室内水平面。下地の破断が予想される個所。

不適応使用個所　垂直面および急勾配面。

Ｐ．Ｉ．Ｂ

適応使用個所　歩行用屋根。収縮亀裂の発生が予想される個所。

不適応使用個所　垂直面，急勾配面および複雑な個所。

表—3　　市販高分子防水材料の分類

商品名	主成分	厚さ mm	接着剤	形状	会社名
レオパノール BAシート	末加硫ポリイソブチレン	1.0 1.5	溶融アスファルト又はポリイソブチレン	シート	東洋ゴム 日本総合防水
ベルシート	ブチルゴム	0.8 1.0 1.5	ネオプレン両面塗布	〃	鐘淵実業
ネオルーフィングEB	エチレン，プロピレン，ターポリマー(E.P.T)＋末加硫ポリイソブチルゴム	0.8 1.0 1.2 1.5 2.3	ネオプレン感圧接着	〃	三星ベルト
ユニロンシート	加硫ネオプレン	0.9	ネオプレン両面塗布	〃	小野田ユニロン
ネオパールシート	ネオプレン	0.8 1.0 1.2 1.5	ネオプレン	〃	日新工業
ロンリューム	塩化ビニール	2.0 2.5	溶接，テープ溶接	〃	川口ゴム工業
サンダインハイパロン塗料	ハイパロン	0.15～0.50		溶剤型	日本ゴム
マヂックコート	下塗 ネオプレン 上塗 ハイパロン	0.3 0.3		〃	ノーテープ工業
モーランコート	ネオプレン	0.5～0.7	ハイパロン塗料塗布	〃	A．B．C商会
エバレジン EX	〃	0.2～0.5	ネオプレン系合成ゴムとフエノール樹脂塗布	水溶型	エバレヂン工業所
ペトロック	アクリルスチレン			〃	旭化成工業

5.　合成高分子プラスチック

合成樹脂シート防水。これには塩ビ系のものとポリエチレン系のシートで形状や色等種々のものがあるが，前項の合成ゴムシートと一見似ているので間違えるおそれがあるが，伸縮性に乏しく線貼工法でそれを補っているけれども合成ゴムシートより優れているとは考えられない。

ポリエチレン系のシートの中には家庭で使われているポリエチレン袋と同種のものをビニロンメッシュに貼付けて強度をもたせ，これをネオプレン系の接着剤で貼付けを行なうものがあるが，紫外線やオゾン等に弱い欠点がある。そこで，これにカーボンおよびペイントを塗ってその欠陥を補っているが，その耐用年数は短い。また。カーボンの代りに厚さ20～60ミクロンの銅箔を貼付ける方法があり，このほうは相当な耐用年数が期待できるようである。この銅箔は電気精煉によって造られたもので，厳密なピンホールテストしたものを使用しているので防水層としても安心できる，これを使用したものは一見銅板葺きと似ているので意匠的に採用されることもある。銅箔の代りにアルミ箔を使用する方法も行なわれている。

塩化ビニールシートの欠点は熱収縮により寸法変化を生ずることである。それがために絶縁工法とか線貼工法によって施工されている。

適応使用個所　歩行用屋根。

不適応使用個所　破断の予想されない個所。垂直面。急勾配面および複雑な個所。下地面が湿潤な個所。

6.　合成高分子プラスチック

エポキシ樹脂防水。防水材として使用されているエポキシ樹脂は接着剤系のもので，その工法は樹脂を下地面に塗布し一定の厚さを確保するためガラス繊維メッシュ等を中間に挿入することもあるが，これはエポキシ樹脂が弾性に乏しいため躯体のクラックによる防水層破断を防ぐ目的とされているけれども，どの程度補強に役立っているかは疑問である。これの特徴としては引張り，圧縮強度，耐摩耗性，耐候性，着色性および接着性等に多くの優れた点があり，欠点としては樹脂自体が高価であること，衝撃に弱く弾性に乏しいこと，エポキシ主剤と変性剤（硬化剤）を混合する2液性タイプのものは施工が難かしい，湿潤な下地面には施工ができないこと等である。

もっとも．コストを下げるためと，少し位の湿潤面にも施工ができるようにエポキシ樹脂にコールタールを混和し，弾性を大きくしたものが防水剤，防蝕コーテング，ライニングや接着剤として用いられている。しかし混合するタールの品質すなわちフエノール，クレゾールを含み，タール酸の多いタールは好ましくないし，混合量にも検討を要するものがある。

適応使用個所　歩行用屋根。露出防水の必要な個所。

不適応使用個所　破断の予想できる個所。下地面が湿潤な個所。

Ⅵ　下地の種類と防水工法

防水層をべた貼りで施工しないことが望ましい下地。

1. コンクリートスラブへ発泡モルタルまたは軽量骨材を用いたモルタルを塗ったもの。
2. プレキャスト部材のスラブへ発泡モルタルまたは軽量骨材を用いたモルタルを塗ったもの。
3. 木毛セメント板へ貧配合モルタルを塗ったもの。
4. ＡＬＣ材のスラブ。
5. 発泡スチロールの上に厚25～50mmのモルタルを塗ったもの。
6. 普通コンクリート。
（密着施工も可能ではあるが，防水押えがある場合には部分絶縁工法によるほうが耐亀裂に対して良好であるとされている。）

防水層を全面べた貼りで施工する下地。

1. 繊維板またはコルク板を上貼りした金属板または石綿セメント板のスラブ。
2. 木毛セメント板に繊維板を上貼りしたスラブ。
3. 木造床にファイバーボード敷きのもの。
4. 普通コンクリートに溶融アスファルトで繊維板またはコルク板を貼り付けたもの。
5. 発泡プラスチック下地。
（フエノール樹脂発泡体，ポリウレタン発泡体は温度上昇に耐えるが，ポリスチレン発泡体は80°Cで軟化し，殆んどの溶剤に溶解するから施工には注意を要する）

Ⅶ　防水についての7原則

1.　良質のコンクリートを打つ

塗布，シートの何れの防水材料を使用するにせよそれらを施工する箇所のコンクリートは良質のものでなければ良好な防水を施工することはできない。

日本建築学会，建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ８(1962)防水工事の内，屋根防水コンクリート工事の項参照のこと。

2. 打継ぎ箇所およびジョイント部に対する適切な処置

予め，屋根伏図にコンクリート打継ぎ箇所を記録し防水工事の施工業者にも交付する。

建物の隅角部のスラブには隅角の２等分方向に径13㍉以上，長さ２ｍ以上の異型筋を配筋して，この部分に発生する斜め亀裂を防ぎ，スラブ中央部にも同様に上端筋を配筋する。

エクスパンションジョイントは比較的に大きな伸縮変形を生じやすいので，予め油性コーキング以外のシーラント類を充填し，シート貼りを行なう。（塗布防水だけではこの部分の防水は不可能である）コンクリート面の打継ぎ箇所，パイプやルーフドレーン廻り，クラック類漏水のおれのある部分は予めＶ字型に斫り取り，水洗いし完全乾燥の後，シール材を斫り深さの⅔まで充填し，残りを防水剤入モルタルにて補修しておく。

3. 適当な区画に伸緒目地をとる

伸縮目地割は１ｍ～２ｍ区画を標準として行なう。

パラペット立ち上りぎわ，排水溝周りには周囲300㍉～400㍉（立ち上りぎは200㍉）に設ける。

目地巾は一般に上面の巾15㍉～30㍉，底面の巾12㍉～25㍉，深さは防水下塗層を除いた部分までとし，モルタルの硬化乾燥後シール材を深さの⅔まで注入し，上部を防水剤入１：３モルタルにて仕上げる。また目地全部をシール材のみで充填することも多い。（この場合に使用するシール材はシート防水，塗布（膜）防水ともに油性またはアスファルト系のもの以外のものを使用しなければならないこともある）。

4. 水勾配を十分にとる

一般に1/100～1/150を限度として排水計画を行なうのであるが，往々にしてこの程度の水勾配もとりえない場合があるけれども，ぜひこれだけの勾配は確保しなければならない。また不陸等による溜り水は部分的に水の浸透を生ずるおそれがあるので注意しなければならない。

5. 下地仕上面の施工精度をよくする

下地がモルタル塗りの場合は，すくなくとも金鏝２回押えとし，緻密で強固な下地をつくり十分に乾燥させる。

普通コンクリートの場合には３週間程度でもよいが，軽量コンクリートが積層されている場合には，２カ月以上もかかり，屋外で降雨にあうとさらに１週間位の乾燥を必要とする。塗布防水では下地が湿潤であると溶剤タイプのものはもちろん付着しないし，エマルジョンタイプのものも造膜作用が減じ，長い硬化期間を要することになる。また下地がＡＬＣ材のように表面強度が不足し，空隙が多く，含水率が高い場合には塗布防水では，その密着が阻害され，乾燥したときにも断熱性が大きいために太陽熱による加熱と下地への溶剤吸収とで，後日溶剤型のものはふくれ上がり，剥れを生ずる危険性がある。これの対策としてはエポキシ系プライマーや高分子混入モルタル塗りを施してから塗布防水を行なう必要がある。

結論として下地面が均一でなければ均一な防水を施工することはできない。従って，下地面に附着しているエフロレッセンス，ほこり，油，砂粒などを十分に清掃することが忘れてはならない重要なことである。

6. 立ち上りを十分にとる

パラペットおよび窓，出入口の下部のおさまりをよく考える。塗布防水，シート防水の何れにしても施工の容易性からとメーカーの宣伝につられて，これらの防水工法によれば如何なる場合にでも完全な防水が施工できるかのように考えられる向きもあるようだが，これは全く見当違いであって，防水の立ち上り部分のおさまりは十分慎重に設計されなければならない。

7. 監理を十分注意して行なうこと

一般に防水工事の場合，保証年限を条件とした工法による責任施工が多く行なわれているが，一口に責任施工であるからといって漏水事故の補償を防水施工業者にさせてその責任を転嫁するようなことではなく，元請負者もその責任は当然負うべきで，防水施工業者に委せ切りにせず，設計監理者および請負者の三者で事前に下地の処理，特殊部位の貼り方などについての意見交換を十分に行ない，工事中にも立会って監理しなければいけない。特に塗布防水の場合の塗り厚さについては３～８回塗り重ね，0.5㍉～1㍉以上の厚さとする必要があるが，なかなかその検査は難かしい。

Ⅷ シート防水工法上の問題点

粗悪なシートや接着剤を使用したり，施工経験不足のため，構造体の挙動と接着剤の使いわけ，ジョイント方法の選定や施工方法の誤まり等による場合に事故を起すことが多い。

1. シート破断の原因

材料としての欠陥として：

ａ．不飽和基の多いブチルゴムの原料で，加硫時間を短かくしたもの。

ｂ．充填材料の不適当なものを用いたり，またその組み合わせが悪いもの。

ｃ．加硫が不足であったり，不均一な加硫状態であるもの。

ｄ．ゴム分が少なく，固形充填材を多くし，液状充填材で調節したもの。

施工による欠陥として：

ａ．水平部分の下地に完全硬化型の接着剤を用い，シートの動きを拘束した場合。（塩化ビニールシートの場合は，加熱による収縮変形が大きいため，むしろ拘束する状態であるほうが，末端部および溶接箇所の切断が少ない）

ｂ．下地の接合部を捨て貼り，浮し貼りを行なわない場合。

ｃ．角部のＲに対する処理不良の場合。

ｄ．下地面が平滑でなく，清掃が悪く，釘や砂粒などが残っている場合。

ｅ．軽量，気泡コンクリートなどで，押え層を設ける場合の防水層上部に保護層がなく，また押え層に適当な間隔の伸縮目地がない場合。

2. 接着層の剝離の原因

材料による欠陥として：

ａ．接着剤が経年硬化し，シートの動きにそぐわなくなったもの。

ｂ．シート中の液状充填材，固型充填材が経年によりシートの表面に移行し，接着層に溶けこまないもの。

ｃ．セメントのアルカリに浸されるような接着剤を用いた場合。

ｄ．接着剤とシートの組み合わせが悪くて，シート間の接着が十分にできない場合。

施工による欠陥として：

ａ．下地処理が悪く，特にくぼみが多かったり，汚れや乾燥不十分で下地によく付着しない場合。

3. 端部，立ち上がり部，ルーフドレーン，パイプ廻りなどによる漏水の原因

施工による欠陥として：

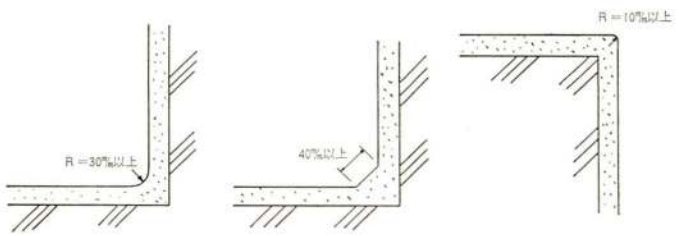
a．適当な硬化型の接着剤を用いて処理しない場合。
b．未加硫シート，テープ等による積層または増し貼りを行なっていない場合。
c．適当なコーキング材を使用しなかった場合。

Ⅸ む　す　び

以上高分子化合物による防水材料についての概要をとりまとめたのであるが，耐用年数の長い建築においては特に耐久性，耐候性のある材料や工法が要求されるけれども，防水材料としての利害得失は工法との関連において検討すべきで，単なる物性の一部分の優劣で判断することは避けなければならない。すなわち，よい防水性能を発揮させるためには材料と工法とが互いにバランスを保ったものであることが必要である。

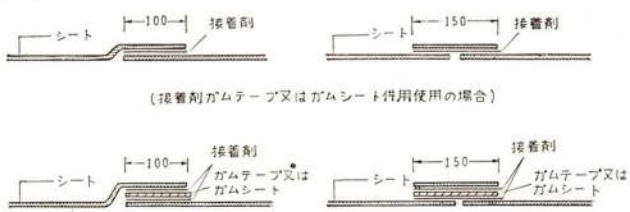
今，これらの高分子材料が化学産業によって建築界にもたらされ，主としてゴムメーカーによる二次的所産であったことは事実としても，遂年その需要が伸びつつあり，そのために今秋ころにはわが国でもＪＩＳ規格が制定されるように聞いている。今後ますます発展が予想される軽量構造やプレハブ構造に対する防水材料として育成してゆくことの必要性も認めなければならない。なお，参考までに，以下に合成ゴム防水の施工図（図―3～図―17）を掲載しておく。

合成ゴム防水施工図

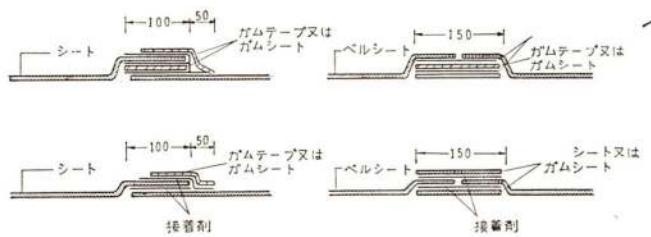


図―3　　下　地　拵　え

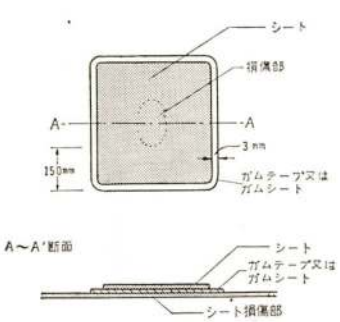
基準工法



其他の工法

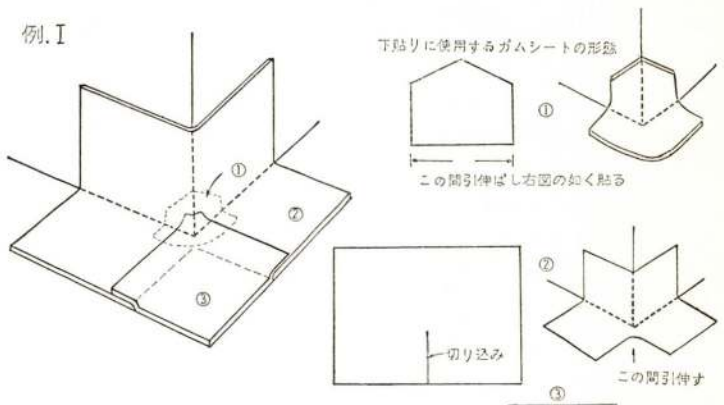


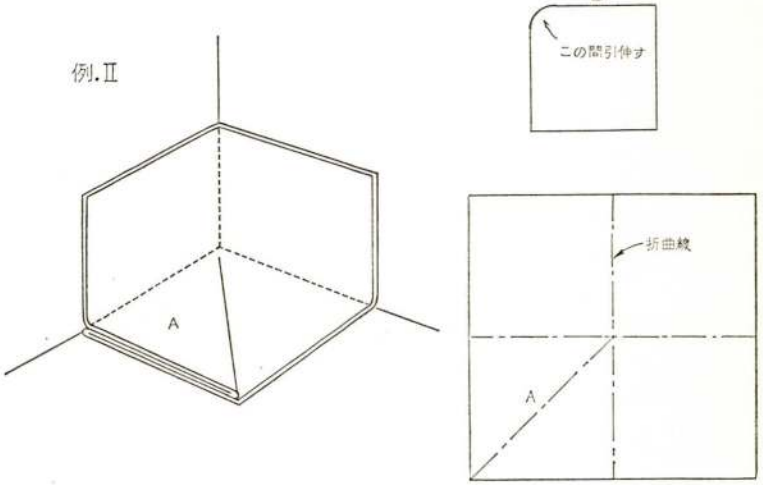
図―4　　継　手　施　工　法　の　種　類



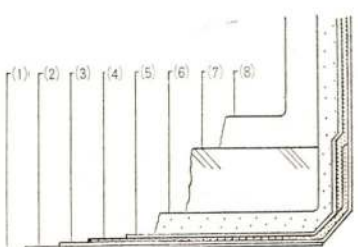
シート防水層の損傷部分中心に周辺を清掃の上，左図の如く損傷部より150㎜以上の大きさのガムテープまたはガムシートを接着剤にて貼り，その上に，これより約3％周囲を小さくしたシートを貼着補強する。

図―4′ 防水層損傷箇所の補修方法



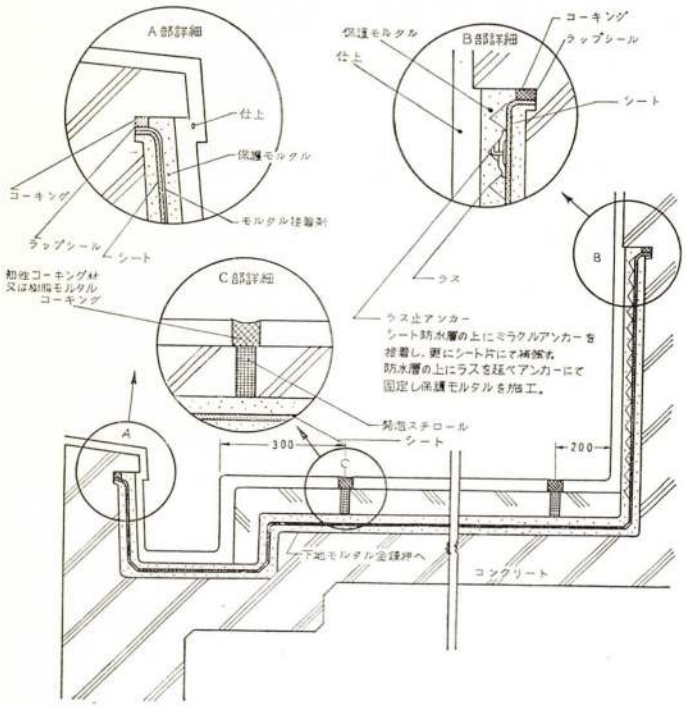


図―5　　隅角のガムシート下貼り施工のおさまり

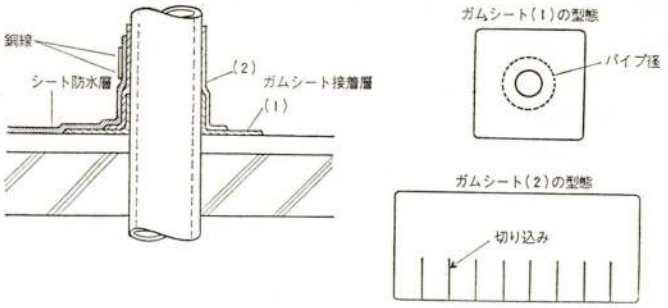


(1) 下地処理清掃
(2) プライマー
(3) 接　着　剤
(4) シ　ー　ト
(5) モルタル接着剤
(6) 保護モルタル塗厚10～10㎜
(7) 押え軽量コンクリート
(8) 仕上げモルタルまたはクリンカータイル仕上げ

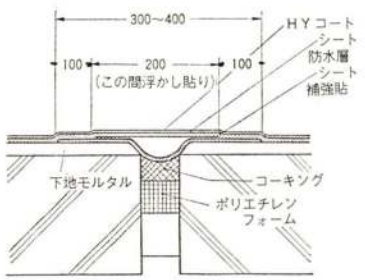
図―6



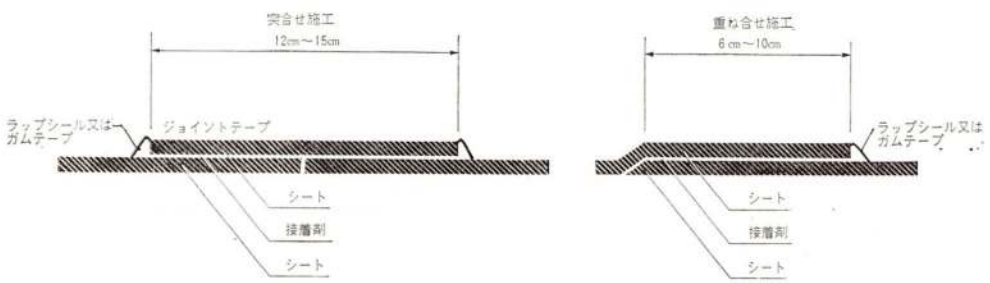
図—7



図—11　パイプ廻わりの施工例



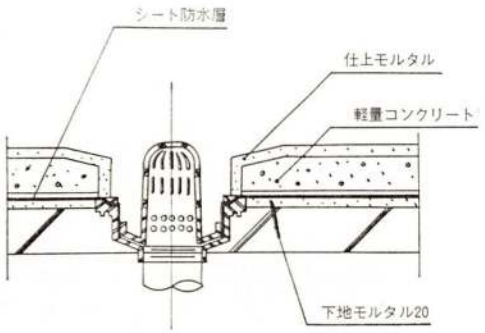
図—12　伸縮継手の施工例



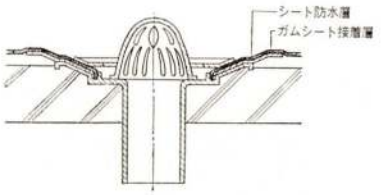
広範囲な施工の場合でも各部分から施工することができる。ただし突合せ部分はジョイントテープで仕上げる必要がある。

下地面に勾配がある場合には下地から順次上部に向って重ね継ぎをする。

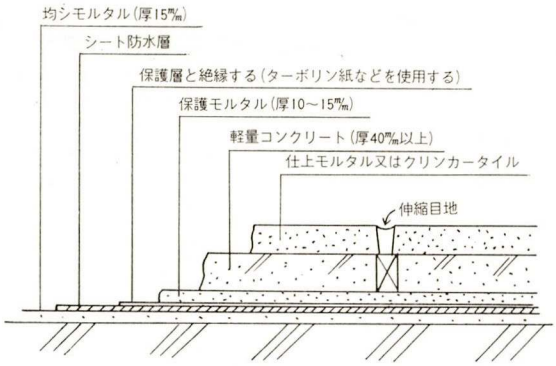
図—8　継手施工法



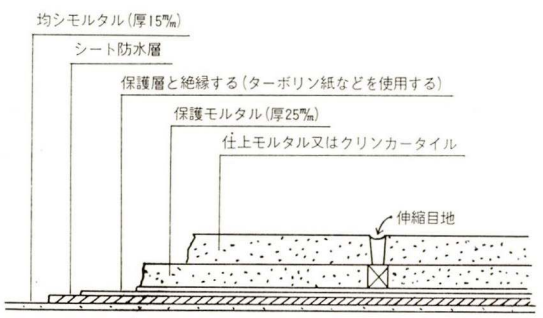
図—9　ルーフドレーン廻り施工法
（歩行用屋根の場合）



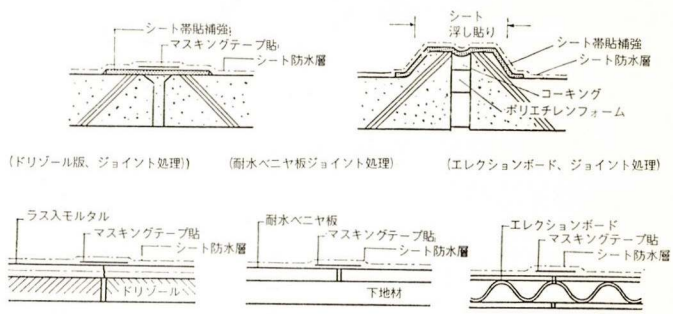
図—10　ルーフドレーン廻り施工法
（非歩行用屋根の場合）



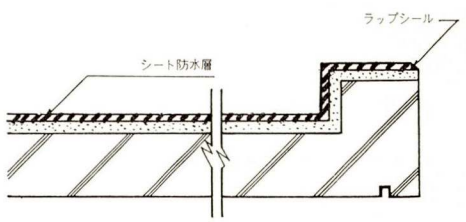
図—13　一般歩行用屋根のシート防水



図—14　軽度の歩行をする屋根のシート防水

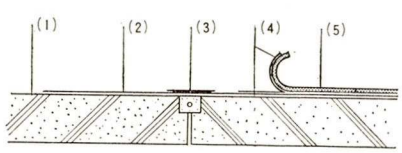


図—15　ＰＳコンクリート，ジョイント処理の例



図—16　パラペット部および末端部分の防水処理

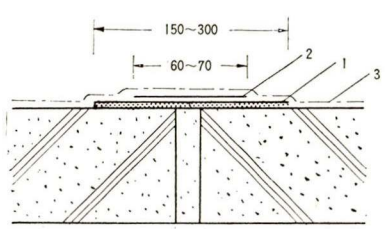
1. ＡＬＣ（シポレックス，イトン，シリカリチート等）下地の場合



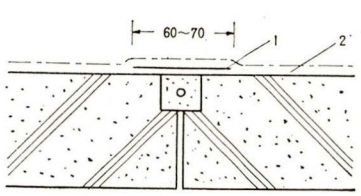
(1) 下地処理，樹脂セメントペースト目詰め
(2) プライマー塗布
(3) ジョイント処理（詳細右図）
(4) 接　着　剤
(5) シート貼着

2. ＰＳコンクリート版，ドリゾール版およびエレクションボード，耐水ベニヤ板等の下地の場合，ＡＬＣの項と同様の動きの大きいジョイントに対しては(イ)の方法を用い，動きの小さなジョイントに対しては(ロ)の方法を用いてジョイント処理を施し，その上に全面シート層を貼着施工する。

(3) の詳細（ジョイント処理工法の例）



(イ) 短手方向　1. シート帯貼り補強
2. マスキングテープにて防水層絶縁
3. シート防水層



(ロ) 長手方向　1. マスキングテープにて防水層を絶縁
2. シート防水層

図—17　特殊構造に対する防水施工法

日本建築協会 月間の動き

□昭和42年2月分□

通常総会

27日　4時～4時半　於会館集会室
出席者　東畑，竹中，塚本正副会長海上監事ほか4正会員
議事（1）監事1名選挙の件
（2）本部所属評議員56名選挙の件
（3）役員重任承認の件
（4）名誉正会員推挙の件

評議員懇談会（技術部門）

8日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　森川評議員会副議長ほか評議員8名
2月開催の総会における技術部門選出評議員候補者の推せんについて懇談協議

理事会

9日　4時～5時　於会館集会室
出席者　鷲尾副会長ほか5理事
議事（1）定時評議員会開催の件
（2）大阪府知事表彰候補者推せんの件
（3）入退会者承認の件
（4）報告事項

事業委員会

各種説明会打合せ会
1日　正午～2時　於会館集会室
出席者　日本ゴム会社，エバレヂン工業所日本コンクリート会社，東洋基礎工業会社，西川委員ほか2委員

第5回説明会企画打合会
データシート企画打合せ
9日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　岡本副委員長，中原茂，松村幹事ほか2委員
データシート出版企画について打合せ

委員会
14日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　岡本副委員長ほか15委員
議事（1）4月，5月の事業企画
（2）41年度役員，委員の見学と懇親会企画
（3）次年度委員会委員構成
（4）データシート編集委員会の編成
（5）50周年記念事業企画報告
（6）その他

各種説明会小委員会
24日　5時半～9時　於会館集会室
出席者　増井，岡本正副委員長，松村幹事
議事（1）4委員長会議報告事項に対する小委員会の意見について
（2）データシート出版企画について
（3）その他

住宅委員会

委員会
15日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　黒谷副委員長ほか12委員
議事　次年度委員の人選について

編集委員会

住宅と設備特集幹事会
15日　3時～6時　於会館集会室
出席者　清水幹事ほか2幹事
6月号の企画として協議した

流通機構と建築特集第2回幹事会
16日　3時～6時　於会館集会室
出席者　田中幹事ほか3名
第1回の案の内容について協議，特集名を「都市と流通空間」とした

委員会
17日　4時～7時　於会館集会室
出席者　長谷川委員長ほか6名
議事　1. 4月号＝社会と建築特集報告
2. 5月号＝都市と流通空間特集
3. 6月号＝住宅と設備特集幹事会案協議
4. 作品作風の件
5. 技術の頁
6. 7月号の件
7. 編集委員交代の件
8. 表紙デザイン小委員会の件

作品作風小委員会
28日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　田中主査ほか3委員
3月号，4月号の作品選定とレイアウト

出版委員会

新鉄骨構造部会
21日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　石崎副委員長，宮川幹事ほか3委員
議事　図書企画と次年度部会申し送り事項

鋼構造設計基準解説会
23日　正午～6時　於会館集会室
出席者　若林教授，木田，宮川幹事ほか8委員
議事　鋼構造設計基準の内容と鉄骨デザイン原稿との関係について

法規委員会

委員会
22日　3時～5時　於会館集会室
出席者　佐野委員長ほか12名
議事　1. 基準法改正の建議の論拠
2. 都市再開発議案上程の動きと関連して
3. 討論意見

見学会

白鶴酒造(株)製品庫新築工事見学会
設計施工　株式会社　竹中工務店
25日　1時半～4時半
参加者　20名

ホテルエコー・オーサカ見学会
設計監理　株式会社　田中・小西建築事務所
施工　清水建設株式会社
28日　3時～5時
参加者　60名

会勢委員会

14日　1時半～3時　於会館集会室
出席者　鷲尾委員長ほか3委員
議事（1）部会活動の活発化について
（2）会員倍加について

50周年記念事業総務委員会

展覧会小委員会分科会
1日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　坂井，星野，山本各委員
議事　会場設備及び物故会員の遺品展示について

展覧会小委員会
2日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　佐野主査ほか8委員
議事　会場のレイアウト及び諸準備について

ゴルフ大会新聞社打合せ会
2日　4時～5時　於会館集会室
出席者　佐野実行委員長，日刊建設新聞ほか2社
議事　副賞賛助について

モントリオール万博視察旅程委員会
2日　正午～2時　於会館集会室
出席者　島田委員長ほか4委員，交通公社2名
議事　旅程の企画内容について

特別見学会打合せ会
8日　正午～2時　於会館集会室
出席者　中出委員長，金子幹事，村野委員
議事　第1回特別見学会（東京の新建築見学）について

展覧会小委員会分科会
13日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　谷口幹事ほか6委員
展示品及び展示建物の選定

モントリオール万博視察団幹事会
16日　正午～2時　於会館集会室
出席者　中原幹事長ほか10幹事
議事　旅程，アンケート，資料，セミナーに関する件

展覧会小委員会
22日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　佐野主査ほか8委員
議事　展覧会の諸準備，予算案の審議など

表彰式小委員会
24日　4時～7時　於会館集会室
出席者　岡本小委員長，中原幹事ほか2委員
議事　感謝状贈呈者名簿作成

会員グループ世話人会

23日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　道田泰治郎氏ほか8名
会勢の伸展について懇談

建築6団体会長懇談会

10日　正午～2時　於東京会館
本会より東畑会長，福中事務局長出席

ビル設備の補修は
補修専門の
株式会社 岸工作所へ

- ボイラーや冷凍機の故障のとき　シーズンオフの手入れや検査等のとき
- ポンプやファンの故障のとき　シャフトやベヤリングの取替のとき
- エンヂンの故障のとき　ヂーゼルエンヂン・ガソリンエンヂン等の故障のとき
- 給水や排水管の詰ったとき　漏水したとき
- 衛生器具の故障破損のとき　陶器や金具の取替のとき
- 窓枠やシャッター・出入口の故障のとき　サッシュ・ドアーチェック・ブラインドの故障のとき
- タンクやピット・浄化槽の掃除のとき　鉄板タンクの錆落しやペンキ塗りのとき

本　社　大阪市旭区今市町1－262
TEL 951－7192・951－0870(仮設中)
出張所　大阪市北区堂島浜通1－25　新大ビルC階
TEL 361-3225・341-5819・(夜間)951-0244

石綿セメントの最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

Asbesto Barriev（硬質石綿板）

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室、発電所、配電室、製鋼、ガラス工場の壁、製糖、製油製薬工場の床、スカート壁などに最適。

（呈カタログ）

泉石綿工業株式会社
大阪市北区同心町1の11　電話(351)3442・4078

Taniyama

送風機



営業品目
- LAF形　リミットロード送風機
- TAF形　可変式軸流送風機
- SL形　ストリームライン送風機
- CL形　セントリーライン送風機
- プレートフイン・ヒーター・クーラー

株式会社 谷山鐵工所
本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話　大阪（931）代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
電話　東京（811）3435・3440

シヤッターの総合メーカー

豊かな経験と
最新の技術…

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社工場　大阪市西淀川区佃町4－33　TEL（471）8331代表
支　店　東京（771）1171・名古屋（331）6171・大阪（352）4571
営業所　横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル5階 502号室）
直通電話　大阪（364）2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話㉒2923）

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

OKUYAMA-KAKOGYO WATER-PROOF OAM

カッパー防水帯

コーパータイト

パーフェクトな 冷工法 デラタイト

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8－3　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り5－4　電話（921）2497
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話（811）3660

＊左官工事のスピード化＊

仕上が自在・日本壁にも、洋室にも、
（一週間で立派な和洋壁仕上が出来ます）

＊5大特長
① 塗り易い
② 割れない
③ アクが出ない
④ 早い仕上り
⑤ 好みの仕上

YNプラスター

TIGER BRAND

吉野石膏株式会社

本　社　東京都千代田区丸ノ内3丁目2番地（新東京ビル6階）東京(216)0951(大代表)
大阪支店　大阪市北区堂島浜通1の25（新大ビル）大阪(341)2556(代)

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

大阪市東淀川区加島町３５７　電話 (302) 2271～9 (代)
大阪支社　同　上
東京支社　東京都港区芝浜松町２－７　電話 (434) 6171 (大代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　盛岡・釧路

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町１１番地
電話　大阪 (443) ５０４１～５番
東京本社　東京都千代田区大手町２の８番地(日本ビル)
電話　東京 (270) ７４１１番 (代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌㉒5756
金沢営業所　金沢市高岡町２番１６号　電話 金沢㉑2074
福井出張所　福井市御幸２の１　電話 福井㉔2436
高松出張所　高松市２番丁９　電話 高松㉑5195
岡山出張所　岡山市大供３８０の１　電話 岡山㉔5486

General Electric (G. E) 社製
冷暖房機「ゾンナル」「ウェザートロン」その他各種冷暖房機
温水ボイラー「ハイテンプ」(西独WEBSTO社技術提携)

西日本総販売元

岩佐物産株式会社

本　社　大阪市北区老松町３－56(西天満ビル)　電話 (364)2238(代表)
東　京　東京都中央区霊岸島１－１０　電話 (551)1079・1617
名古屋　名古屋市南区大磯通２－７　電話 (821) ３５５８
四　国　八幡浜市大黒町　3　電話 八幡浜 514・1４

創業　暖冷房・換気・空気調和
大正二年　病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京駅前丸ビル６階６７６区
電話 東京 (201) ３７６１～４
大阪店　大阪市西区土佐堀通　大同ビル616号
電話 大阪 (443) ３３６１～６
札幌店　札幌市北十条西１８丁目３６番地
電話 札幌 (61) ４３７１～３
名古屋店　名古屋市中区栄３－５－２９　千代田ビル514号
電話 中局 (261) ０６４１～３

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長　中山敏正
本　社　大阪市福島区上福島北２－１
電話 (451) ３３９１ (代表)
支　店　東京・仙台
出張所　神戸・広島・高知・千葉・八戸

冷暖房　6Sサッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

三機工業株式会社大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜２丁目２２番地　電話 大阪 (202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支店・出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7151(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 ５８９２

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社	大阪市北区富田町１６	電話(364)代表7031
支店	東京都千代田区神田小川町2丁目1	電話(292)代表7751
	広島市紙屋町1丁目２番２２号	電話(47)代表4535
	福岡市大名１丁目８番１２号	電話(76)代表3795
出張所	名古屋市中村区広小路西通3丁目9	電話(561) ２９４８
	富山市堀川小泉町２８６	電話(31) ２２７４
	金沢市下新町　8	電話(34) ４０８９
	福井市西宝永町２丁目１１３	電話(22) １５９６
	松江市東本町４丁目１４７	電話(21) ５０９８

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷三郎
本店　大阪市西区江戸堀１－６０　電話 (441) 8231 大代
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本・横浜
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通１丁目１４　電話 441—5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 建材社

大阪支店
大阪市北区中ノ島二丁目 (新朝日ビル５階)
電話 大阪 (203) ３７２１(代)
本社及東京支店　東京都中央区銀座西６丁目３(朝日ビル８階)
営業所　名古屋市中区錦２丁目２ノ１３
出張所　札幌・広島・北陸・仙台

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町１丁目５７
電話 (351) (代表) ２８０８
本社　東京都文京区本郷１丁目１２－５
電話 (811) (代表) ６２９４
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町３０　電話 (361) ５１７７(代)
(364) ０９７７(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内３－２(新東京ビル)
電話 (211) ８５１１・８５６１(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町６０
電話 (21) ４４９１
名古屋支店　名古屋市東区東門前町３－６
電話 (971) ３６２１

給水　衛生　空気調和設備
設　計　施　工

平山工業株式会社

取締役社長　平山京平

大阪市西区江戸堀２丁目２番地
電話　大阪 (441) 代１９９４　(443) 代０３３１

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設　計　施　工

髙砂熱学

本　社　東京都千代田区神田駿河台４丁目２番地
大阪支店　大阪市北区梅田８番地(新阪急ビル８階)
電話　大阪 (312) ４５２１　(代表)

冷暖房・温湿度調整・水　道
衛　生・環境衛生施設
設　計　施　工

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀１丁目６２　電話 (443) 代表8161～9
出張所　東京都北区上十条１丁目９番22号　電話 (911) ３９４１
名古屋市中村区牧野町１の６　電話 (541) ０９６６
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話 (34) 1778・4386
広島市袋町６番４号　電話 (47) 7575・7588

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通１－２５(新大ビル)
電話　大阪 (344) １５１２(大代)
本社　東京都中央区日本橋本石町４－２(三井第二別館)
支店東京・名古屋出張所九州
工場埼玉県北足立郡・東京都足立区

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋５－４５(興銀ビル別館)
電　大阪　代 (202) ７７４５番
本社・工場　東京都北区神谷３の１０の３
電　東京　代 (901) ３１９１番
本社・分室　東京都港区麻布笄町１５５(第５興和ビル)
電　東京　代 (409) ０１５１番
支　店　名古屋・仙台　連絡所　福岡

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市川繁雄

本　社　京都市南区西九条豊田町２０番地の１
電話 (68) 5101～5・夜間専用 (69) 1045
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋１－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話53/7431～3
津営業所　津市栄町２－１１１　電話⑧３６１０

▼電気設備

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長　牛田正郎

本　社　大阪市北区万才町５０
大阪事業本附　電話　大代表 (312) ８６７１
東京事業本部　東京都新宿区三栄町１８
電話　大代表 (353) ９１５１
名古屋事業本部　名古屋市中村区下広井町３－15(中京電気ビル)
電話 (581) ９３７６～８
各事業部　京滋、下関、新潟、金沢

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町７丁目２２
電話　大阪 (362) ８７０１
東京支社　東京都港区赤坂１丁目５番７号
電話 (481) ８６２１代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式會社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通４丁目11　電話大阪㊽3531番

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長　西村庄市

大阪市北区野崎町六九　電話・大阪 (313) 代表3456
東京支店　東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話 (551) ８３３０・８３０３
営業所　名古屋・神戸・岡山・広島・北九州

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル7階)
電話　大阪(313)1101(大代)
支社　東京・名古屋
出張所　舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話　大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所②2607・4259

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役　林　敏夫

本社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話　㊿3671(代)
支店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話　㊸1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支店　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

選択制御監視装置
MU型動力制御盤
グラフイック盤
高低圧受配電盤

空調衛生設備監視盤
各種動力自動制御盤
分電盤・各種警報盤
設計・製作

森井電業株式会社

取締役社長　森井定勝
専務取締役　佐野春吉

本社　東京都港区芝三田網町一番地
電話　東京(451)代表9611
東京支店　東京都品川区南品川町4丁目1番3号
電話　東京(474)3221(大代表)
大阪支店　大阪市北区常安町16番地
電話　大阪(443)代表8381　夜間(441)0502
出張所　名古屋・広島・福岡・仙台
工場　東京・大阪・福岡・名古屋

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長　今村　騰

本社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪代表(341)8131～7
支店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島

各種電気工事設計施工

株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話　大阪(364)代3056
東京営業所　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

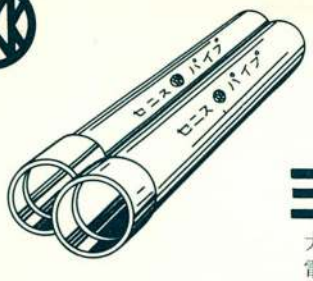
本社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)1361
営業所　京都市中京区西ノ京中合町20の11
TEL　代表　(81)9296

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本社　東京都千代田区西神田1丁目8番地
支社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　4031

営業品目
● カネボウゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付

合同特許建材工業株式会社
本社営業所・大阪市東住吉区駒川町3－54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

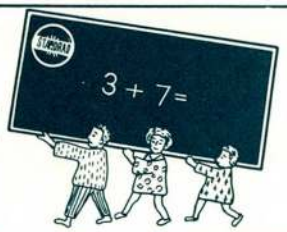
奉仕感謝の店
タイル 衛生陶器
株式会社 **川岸窯業商店**
大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話　大阪　(532)　0461～4番

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作
日本エレベータ工業株式会社
代表取締役　長尾正大
本社　大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル)　(351) 4927代
大阪営業所　(351) 4927代　サービス事業所　(328) 0336代
東京営業所　(822) 0995代　工場　(328) 0336代

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店

株式会社 **吉田芳雄商店**
大阪市北区旅篭町18
電話 (361)3450・(364)　2345

窓掛、緞帳、日際、壁紙 **室内装飾** 絨毯、舗床材一般
東洋リノリュームの **東リカーペット** 発売元
亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話　大阪 (251)1353 (代)～6・9996

Standard


Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話大阪(717)4561～2

●法定不燃材の屋根長尺現地成型
ガスにも／熱にも
酸・薬品にも
大丈夫です
●責任施工・型録送呈

特許●耐酸・耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル
●永久建材の超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル (SPM)
カラースーパーオリエンタルメタル (CSPM)
●新時代にマッチした各種のカラー製品があります

オリエンタルメタル製造株式会社
本社工場　尼崎市大物北口　電話 大阪(481)8085～9
大阪支店　尼崎市北新町4－41(古川ビル)　電話 大阪(481)8085～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市東町2－20－4　電話 蕨(32)3115～7
支店・出張所　郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

特許内外式
コンチニアス ベンチレーター
ある人が云いました……新幹線列車を想わせる……と
ただしそれをマネたのではありません
当社はそれ以前、既に開発して居ります

屋上自然換気装置はこれでいこう
建物の外観をグット引立てる
全くすばらしいデザインです
そして効率は抜群です



内外式電動ベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

内外建材株式会社
大阪市西区土佐堀船町23(大阪商工ビル) TEL (441) 3983・4396
工場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL (962) 1 1 4 9

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹指）
モルタル工事

N.G.C.式
米国パブコ・アスファルトコンパウンド } 販売
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド }
各種シート防工事 責任施工
新防水材リベットルーフ 責任施工

内外工業株式会社
本社 大阪市阿陪野区旭町一ノ五一 電話(641)3434～6
(631)0810(夜間)
工場 大阪市東住吉区桑津町三ノ一六

近代建築の要求する
＊特許 **小俣式** ステンレス・アルミニウム **防火シャッター**

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5 2 1 1 ～ 5

スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 **三高製作所**
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話 大阪(401)6158・6159・7939・9463 (491)3200

コーキングパテ

ウヅラ印



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)　0 4 2 6

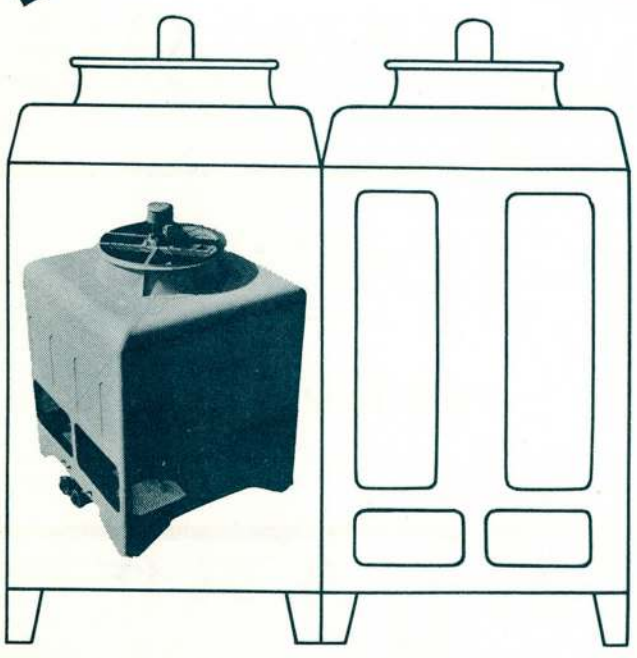
パテタイル

●革命的な軽量・小型化に成功!!

新製品

マーレイ式S型冷却塔

空調用　容量　75～200RT.



弊社は豊富な経験と提携先マーレイ社の技術をもとに、業界の要望に答えてより軽く、コンパクトな空調用冷却塔の開発に成功しました。たちまち数十台の受注あり爆発的人気を呼んで居ります。

■軽量、コンパクトで高性能
■所要馬力、騒音が少い
■耐食性、難燃性
　ガラス強化ポリエステル樹脂(ＦＲＰ)製
■据付面積が小、
　多セルの場合、接合設置ができる
■保守点検が簡単

神鋼フアウドラー株式會社

本社・工場　神戸市葺合区脇浜町１丁目 TEL　神戸(大代表)(23)４１５１
東京支社　東京都中央区八重洲4丁目3番(住友生命八重洲ビル)　TEL　東京(代表)(272)1511
営業所　大阪・名古屋・北九州・札幌

全国的に大好評の…
新興の繊維壁材！

◉お部屋のムードは壁材の美しい調和で……

建設省建築研究所試験合格品

（一種繊維壁材）	・チェリーコート	・ママウオール	・ほたるかべ	・麝香
・いすゞかべ	・パビロン	・ふくよかべ	・清流	・金蘭
・カセロンウオール	・パーマエース	・ありあけ	・錦上壁K	（三種繊維壁材）
・スーパーウォール	・瑞雲	・ニコニコ	・蛍光壁	・龍鳳
・センカウオール	（二種繊維壁材）	・明光壁	・日本壁	・金龍
・あけぼの	・錦上壁	・昭和壁	・すずらん	（特殊壁）
・新興壁	・大阪壁	・新日本壁	・桃山	・大和壁

（防火繊維壁材としてご使用の節は上記商品にシンケン防火剤を混入のこと）

●シンケン防火剤　●防錆剤エバコン　●耐湿剤オートン　●化学糊スーパーシンケン糊　（全国有名建材店に有）

株式会社　新興建材工業所

大阪市西区四ツ橋　TEL(538)2951代(541)5757代
営業所　東京・大阪・明石・広島・福岡

石膏壁は

SSSプラスター
（ボード用プラスター）

SSSプラスターC　（セメントモルタル下地用）
SSSプラスターP　（ペイント下地用・金鏝仕上）
SSSプラスターSP　（発泡軽量コンクリート下地用）
SSS混合プラスター　（上塗用・白色）

●建築用・美術工芸用・各種焼石膏●

サンエス石膏株式会社

本社工場・姫路市神屋町4－77
TEL　姫路（22）3837（代表）
東京営業所・東京都新宿区東大久保1丁目331番地
TEL(351)0396・(351)6962
中部営業所・瀬戸工場・瀬戸市苗場町113
TEL　瀬戸（82）9185～6
大阪営業所・大阪市西区江戸堀1－24（三興ビル2階）
TEL　(441)0094・5375
福岡営業所・福岡市七隅282－3
TEL　(82)941 9

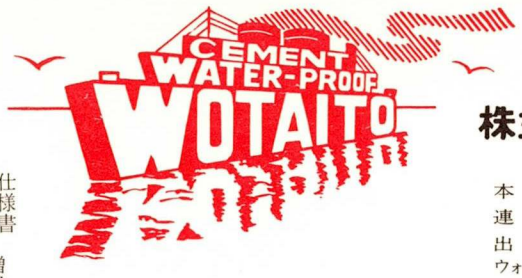
建築と社会
第48集
業種別
広告目次

昭和42年4月号

基礎 kk武智工務所 ……表3
日本コンクリート工業kk …… 1
コンクリートブロック シポレックス販売kk ……14
防水 奥山化工業kk ……78
柏原瀝青kk ……84
kk久保商店 ……78
合同特許建材工業kk ……82
内外工業kk ……83
kk日本セメント防水剤製造所 ……表3
西日本アスファルト事業協同組合……12
三星ベルトkk ……表2
kk油脂化工社 ……表3
タイル衛陶 kk川岸窯業商店 ……82
kk吉田芳雄商店 ……82
屋根壁葺張 オリエンタルメタル製造kk …82
金属 kk三幸商会 ……82
内外建材kk ……83
左官 サンエス石膏kk ……85
kk新興建材工業所 ……85
吉野石膏kk ……78
建具 小俣シャッター工業kk ……83
近畿工業kk ……20
日本エルミンサッシkk …… 2
日本建鉄kk ……表3
kk三高製作所 ……83
建具金物 kkゴール ……18
三栄建材工業kk ……10
内装壁・天井 室谷商事kk ……78
家具装飾 亀井kk ……82
設備機器 岩佐物産kk ……79
神鋼ファウドラーkk ……84
kk日立製作所 ……表4
kk平川鉄工所 ……表4
松下電器産業kk ……16
エレベーター 日本エレベータ工業kk ……82
空調・衛生設備 kk朝日工業社 ……79
kk栄興商会 ……79
kk大阪城口研究所 ……79
大阪電気暖房kk ……79
kk建材社 ……79
斎久工業kk ……79
kk斎藤省三商店 ……79
三機工業kk ……79
kk三晃商会 ……79
須賀工業kk ……79
第一企業kk ……79
第一工業kk ……80
高砂熱学工業kk ……80
東洋キャリア工業kk ……80
日本管工業kk ……80
日本熱学工業kk ……80
kk西原衛生工業所 ……80
平山工業kk ……80
山田工業kk ……80
理研鋼機kk ……80
電気設備 浅海電気kk ……80
工藤電気kk ……80
栗原工業kk ……81
kk三興社 …… 81
三宝電機kk ……81
中央電気工業kk ……81
朝陽電気kk ……81
東光電気工事kk ……81
中本電気kk ……81
富士電業kk ……81
森井電業kk ……81
kkヤマト電気商会 ……81
建設 kk竹中工務店 ……作品頁
kk松村組 …… 9
雑 フタバ黒板……82

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤



ウォータイトB号

仕様書型録贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626・2628
連　絡　所　宝塚市高台上の池　電話　宝塚（36）2153
出　張　所　電話　東京（431）8648・名古屋（321）1331・仙台㉓0721・札幌㊲1111
ウォータイト式防水工事代行店　電話　大三工業 高松（2）0016　安藤工事 福岡（28）5207　豊永建材広島（61）6371

新発売

エアーモルタル・コンクリート用起泡剤

エスコート



◆トンネル・シールドの裏込めに……
◆ビル鉄骨被覆・間仕切・軽量床に…

エスコートは、強力なる分散性と多量の気泡（空気量40±10%）を均一に連行するため、超貧配合のグラウトでも材料分離せず、流動性に優れ、安定した状態で圧送できます。

株式会社 油脂化工社

本　　社　東京都品川区大井1－15　電話(774)4111(代表)
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話(971)0063.4765～6



●基礎施工の悪條件を克服する

武智式 日信三角杭

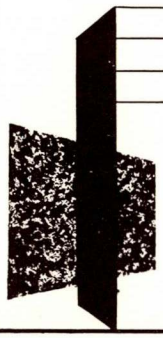
特　　許●第233744号
特　　許●第250108号
実用新案●第25－10942号
実用新案●第37－36106号

株式会社 武智工務所

本　　社　大阪市東区高麗橋2－20（高麗新ビル）
TEL 大阪（202）3233(代)・7501(代)
名古屋営業所　名古屋市中村区船入町1－12(服部ビル)
TEL 名古屋（582）3036(代)
大阪工場　大阪市住吉区北加賀屋町5－27
TEL 大阪（672）3223・3224
名古屋工場　愛知県海部郡弥富町佐古木
TEL 弥富（7）1191・1192

日本建鉄の

PS型レデイメードサッシ



アルミサッシドア

日本建鉄株式会社

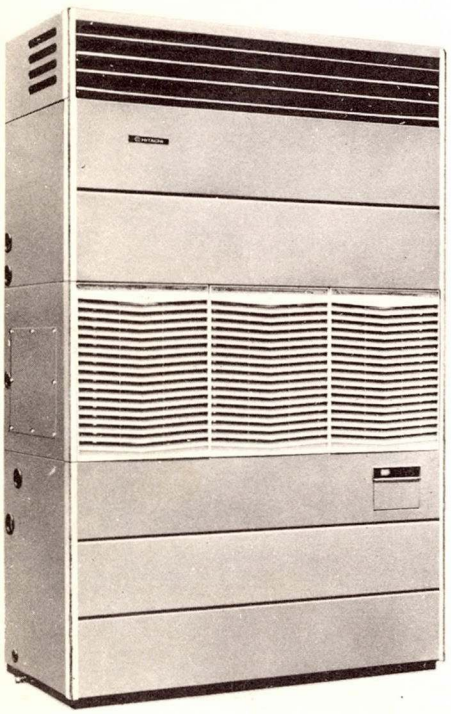
本　　社　東京都千代田区大手町2～8　TEL東京(270)6511(大代)
大阪支店　大阪市北区梅田町47(新阪神ビル)　TEL大阪（361）6758（代）

建築と社会

Vol.48
第4号

昭和二十四年三月十九日　昭和四十二年四月二十日印刷
第三種郵便物認可　昭和四十二年四月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

空気の調合ならおまかせ下さい



室内の環境を左右する大きな要素に、充満している空気の問題があります。温度湿度、新鮮な空気、これらを理想の状態に保つために設計されたのがパッケージ形エアーコンディショナーです

すぐれた主な特長

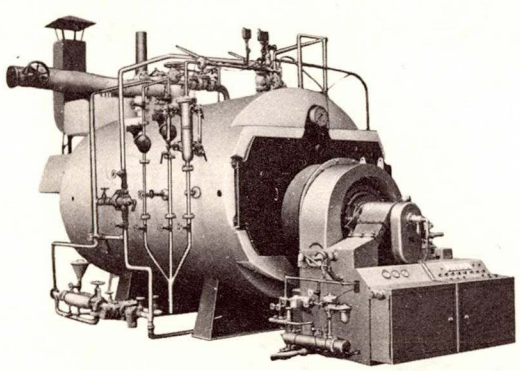
全密閉式圧縮機によるずばぬけた冷房力。感度のよい自動温度調節器の働きで健康冷房を、お約束できますボタンを押すだけで、完全自動運転がはじまります。

水冷式／RP—506/RP—756/RP—1006
どんなご希望にもお応えできる 理想的な 空気調和装置

日立パッケージ形
エアーコンディショナー

日立製作所大阪商品営業所 TEL(06)313—1401(大代表)

UR
MPボイラ



★特　長★

1. 1m²当り100kg／hも蒸気を発生
2. 50%も多く蒸気が出るので、数多くのボイラが不要
3. 3Tバーナの組合せで、燃焼負荷20%から100%まで、何れの負荷でも、ボイラ効率は、いつでも87%以上
4. ウーターバックですから、ボイラ背面からの熱の放散や後部鏡板の過熱はない。従って断熱材の脱落もなく、補修費も節約できる

《新開発》
■MPボイラ　UR型
1.5t/hから10.0t/hまで9機種
例えば
UR# 50……49.9m²で 5t/h
UR# 100……99.6m²で 10t/h

株式会社 平川鉄工所
本社・工場　大阪市大淀区大淀町北1の11　TEL(458)8681(代)
東京・名古屋・九州・滋賀工場

ご入会のお申込みは……「建築と社会」発行所
社団法人　日本建築協会　大阪市東区北浜三ノ壱
電話大阪(三三)九六四八・九六四九・九六四〇　振替口座大阪三九七五番

定価　一部　三〇〇円
（送料共）